

埼玉県  
芸術文化祭  
2019



2019

編集・発行

埼玉県芸術文化祭実行委員会

(埼玉県教育局市町村支援部文化資源課内)

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048-830-6921 (ダイヤルイン)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2216/geibunsai/index.html>

彩の国  
埼玉県

埼玉県芸術文化祭2019 記録集

祝 30周年

埼玉県  
芸術文化祭  
2019

記録集

感動満彩

730万人のおまつりだ

主催/埼玉県・埼玉県教育委員会・開催市町・開催市町教育委員会  
関係芸術文化団体・埼玉県芸術文化祭実行委員会  
埼玉県芸術文化祭開催市町実行委員会



埼玉県マスコット  
「コバトン」「さいたまっち」



# ごあいさつ

埼玉県芸術文化祭実行委員会会長

埼玉県知事 大野 元 裕



「埼玉県芸術文化祭 2019」が、多くの皆様に御参加いただき、県内各地で盛大に開催できましたことを主催者として大変うれしく思います。

埼玉県芸術文化祭は、平成元年度に開催された「第4回国民文化祭さいたま 89」の成果を継承し、地域に根ざす埼玉文化の創造を目指して平成2年度から開催しています。今年度で記念すべき30周年を迎えることができました。これもひとえに、多くの県民の皆様の御支援と御協力のたまものです。深く感謝申し上げます。

さて、令和2年度は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が県内4つの会場で開催されます。オリンピック・パラリンピックは「スポーツの祭典」であるとともに「文化の祭典」でもあります。

国内外から多くのお客様が本県を訪れるこの祭典を絶好のチャンスと捉え、本県のすばらしい伝統文化や芸術の魅力を発信するとともに、芸術文化の更なる振興につなげてまいりたいと考えております。

埼玉県芸術文化祭は「730万人のおまつりだ」がキャッチコピーとなっています。文字どおり全ての県民の皆様が芸術・文化に触れる機会や参加する機会をつくっていくことが、埼玉県芸術文化祭の重要な使命です。文化を通じて人々のつながりが広がり、文化の力によって多くの人々が生き生きとした人生を送るための環境づくりこそ、埼玉県芸術文化祭の役割であると考えておりますので、これからも皆様には御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、「埼玉県芸術文化祭 2019」の開催に当たり、格別のお力添えをいただいた市町村や関係文化芸術団体の皆様、並びに協賛いただいた企業や団体の皆様に深く感謝申し上げますとともに、この芸術文化祭がますます発展していくことを祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

令和2年3月

# 目次

■ 埼玉県芸術文化祭について	1
■ 街を彩ったポスター・チラシたち	2
<b>I 開催事業編</b>	
■ 埼玉県芸術文化祭 30 周年記念 芸術文化ふれあい交流フェア	8
■ 第 69 回埼玉県美術展覧会	17
■ 地域文化事業	22
■ 地域文化事業<市町事業>	
第 52 回上里町文化祭<上里町>	24
第 30 回こしがや薪能<越谷市>	25
東松山市文化祭<東松山市>	26
第 68 回川越市美術展覧会<川越市>	27
高田博厚展 2019<東松山市>	28
第 24 回美里町遺跡の森ピアノコンクール<美里町>	29
第 30 回人形げきと昔話のつどい<蓮田市>	30
第 16 回坂戸市芸術文化祭<坂戸市>	31
第 27 回ときがわもみじ太鼓まつり<ときがわ町>	32
フレサよしみミュージック&フラワーフェスタ<吉見町>	33
第 58 回朝霞市文化祭<朝霞市>	34
市制施行 70 周年記念事業第 71 回行田市文化祭<行田市>	35
第 41 回滑川町文化祭<滑川町>	36
第 56 回富士見市民文化祭<富士見市>	37
「音楽の街・久喜市」吹奏楽フェスティバル<久喜市>	38
第 30 回さやま大茶会<狭山市>	39
歌舞伎・郷土芸能祭（第 49 回小鹿野町郷土芸能祭）<小鹿野町>	40
第 12 回地域伝統芸能今昔物語<熊谷市>	41
第 18 回竹間沢車人形公演<三芳町>	42
■ 地域文化事業<文化団体事業>	
第 51 回交通安全祈願蘭生書道展<蘭生書道会>	43
第 33 回埼玉創元展<創元会埼玉支部>	44
第 63 回埼玉書道展<埼玉県書道人連盟>	45
第 28 回埼玉県百人一首大会<埼玉県かるた協会>	46
第 23 回熊谷市民短歌大会と作品（色紙・短冊）展<熊谷短歌会>	47
第 49 回飯能市写真連盟展<飯能市写真連盟>	48
おけがわ市民芸術文化祭 2019<おけがわ市民芸術文化祭実行委員会>	49
第 19 回ちちぶ民謡・民舞の祭典<秩父民謡団体連合会>	50
秋の茶会<埼玉県茶道協会>	51
折り紙夢工房作品展<折り紙夢工房>	52
第 39 回武蔵野書展<武蔵野書人会>	53
第 52 回第一美術協会埼玉支部展<第一美術協会埼玉支部>	54
熊谷市文化祭第 69 回公募洗風会書道展<洗風会>	55
第 37 回邦楽（箏、三絃、尺八）のつどい<川越市三曲会>	56
アミーゴ秋まつり vol.12 いるまクラフトフェア<特定非営利活動法人人間市文化創造ネットワーク>	57

さきたま連句大会<埼玉県連句協会>.....	58
第73回秩父写真友会秋季展<秩父写真友会>.....	59
第40回太平洋埼玉展<太平洋美術会埼玉支部>.....	60
第29回全国平成水墨画展<全国平成水墨画協会>.....	61
第27回埼玉読売写真クラブ総合写真展<埼玉読売写真クラブ>.....	62
第35回上尾市文化芸術祭<上尾市文化団体連合会>.....	63
第13回こどもライブフェスタ2019<特定非営利活動法人子ども劇場おやこ劇場埼玉センター>...	64
第12回熊谷ひばりピアノコンクール<熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会>.....	65
第45回埼玉県西部地区合唱祭<埼玉県西部地区合唱連盟>.....	66
第27回埼玉県三曲協会定期演奏会<埼玉県三曲協会>.....	67
第54回「郷土を描く児童生徒美術展」<一般社団法人埼玉県校外教育協会>..	68
新創 彩西美術展'19<彩西美術会>.....	69
第62回埼玉県北美術展<埼玉県北美術家協会>.....	70
第31回サンシティ市民合唱団定期演奏会「忘れられた少年」<サンシティ市民合唱団>.....	71
第53回全日本書道芸術展<全日本書道芸術院実行委員会>.....	72
オペラ彩第36回定期公演オペラ「ナブッコ」<特定非営利活動法人オペラ彩>.....	73
■芸術文化ふれあい事業.....	74
■埼玉県芸術文化祭2019協賛事業一覧.....	87
■埼玉県芸術文化祭30周年記念シンポジウム.....	91

## II 資料編

■埼玉県芸術文化祭開催要綱・埼玉県芸術文化祭実行委員会会則.....	126
■埼玉県芸術文化祭協賛事業実施要項.....	128
■埼玉県芸術文化祭実行委員会委員等名簿.....	129

## III 集計表

■埼玉県芸術文化祭2019参加者数一覧.....	130
■出演・協力団体(者)一覧.....	133
■後援・協賛団体.....	136



埼玉県芸術文化祭は  
beyond2020 認証事業です。

beyond2020 プログラムは日本文化の魅力を発信するとともに、2020年以降を見据えたレガシー創出のための文化プログラムです。



# 埼玉県芸術文化祭について

埼玉県芸術文化祭は、平成元年度に開催された「第4回国民文化祭さいたま89」の成果を継承するとともに、多くの県民に発表と交流の場を提供することにより、県民の芸術文化活動への参加意欲を喚起し、地域文化の振興に寄与することを目的として平成2年度から開催しています。

30回目となる令和元年度は、埼玉県芸術文化祭30周年記念「芸術文化ふれあい交流フェア」をソニックシティ（さいたま市大宮区）で行いました。「芸術文化ふれあい交流フェア」では、県内の文化団体等が実施する様々なステージやワークショップ等を来場者の皆様にお楽しみいただいた他、芸術文化の社会的役割について考える埼玉県芸術文化祭30周年記念シンポジウムを実施しました。

## ＜埼玉県芸術文化祭2019の各事業＞

### 地域文化事業

8月から12月にかけて18市町と31文化団体が主となり、伝統芸能、音楽コンサート、美術展覧会など多彩なイベントを県内各地で開催。

### 埼玉県美術展覧会（県展）

出品数、観覧者数で全国最大規模の自治体主催公募美術展。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門の作品を公募した。

### 芸術文化ふれあい事業

「芸術文化ふれあい事業バンク」に登録した文化団体を学校、幼稚園、公民館などに派遣して演奏、演技、創作等の指導を行う事業。

### 芸術文化ふれあい交流フェア

11月に芸術文化祭30周年事業として実施。

この他、芸術文化祭の趣旨に賛同する県内文化イベント100事業を「協賛事業」として承認。

## ＜埼玉県芸術文化祭のあゆみ＞

- 平成2年度 第1回 さいたま芸術文化祭 開催  
キャッチフレーズは「おまつり序曲 さいたま さちあり」
- 平成6年度 彩の国さいたま県民芸術文化祭 に名称を改め開催
- 平成7年度 彩の国県民芸術文化祭 に名称を改め開催
- 平成16年度 埼玉県民芸術文化祭 に名称を改め開催
- 平成21年度 埼玉県芸術文化祭 に名称を改め開催  
平成21年10月31日に、埼玉県芸術文化祭20周年記念事業として、記念式典及び舞台公演「新さいたま さちあり」をさいたまスーパーアリーナにて開催
- 平成22年度 新たなキャッチフレーズ「感動満彩 700万人のおまつりだ」を導入  
(以降、県民人口の増加にあわせて数字を変えながらキャッチフレーズとして使われる。)
- 令和元年度 令和元年11月24日に、埼玉県芸術文化祭30周年記念「芸術文化ふれあい交流フェア」をソニックシティにて開催

# 街を彩ったポスター・チラシたち

## 総合ポスター



芸術文化ふれあい交流フェア



## デザインについて

中央に配しているキャラクターは、埼玉の県章である勾玉をモチーフに創られています。

筆先のように見えることから芸術文化祭であることを表現しています。また、情熱の炎も表現しています。

さらに、今年は埼玉県芸術文化祭が30周年を迎え、多くの県民に御参加いただいた感謝を込めて、花束のイメージで、背景を花柄としました。

埼玉県芸術文化祭30周年記念シンポジウム



第69回

2019  
5月28日(木)ー6月19日(木)

月曜休館

入場無料

埼玉県立近代美術館

■日本画  
■洋画  
■彫刻  
■工芸  
■書  
■写真

開催期間  
10月27日(日)～  
12月15日(日)まで

会場  
中央公民館・  
コミュニティセンター  
よみばれす (西馬場駅)

朝霞市内のアーティストが一堂に会する秋の祭典

第58回 朝霞市文化祭

発表名	日程
町民舞臺大会	10月27日(日) 午前9時～
芸術作品展	11月 2日(土)～3日(日) 午前10時～午後5時 (3日(日)は午後4時終了)
水産博覧会	12月 5日(木)～8日(日) 午前10時～午後5時
朝日歌謡	12月13日(水)～15日(金) 午前10時～午後5時
民族大会	12月 1日(日) 午前10時30分～

発表イベント！  
14時～16時 朝霞市公民館地下1階 オープンロード  
16時～18時 朝霞市公民館地下1階 オープンロード  
18時～20時 朝霞市公民館地下1階 オープンロード

朝霞市

埼玉県芸術文化祭

郷土芸能祭

11月16日(土) 17日(日)

発表団体

上里町文化祭

小鹿野町

発表部門 第52回 展示部門

11月3日 9月5日  
11月28日

発表団体

上里町文化祭

発表日程

上里町



川越市



行田市



久喜市



熊谷市





埼玉県芸術文化祭 2019 地域文化事業

# 第56回 富士見市 市民文化祭

2019 mixed Chorus



会場 富士見市民文化会館  
キラリ☆ふじみ 他

将棋大会 11月10日(日)	市民音楽祭 11月17日(日)	市民美術展 11月12日(火)~17日(日)	民謡大会 11月4日(日)	芸能発表 11月3日(日)	展示発表 11月2日(土)~4日(日)
-------------------	--------------------	---------------------------	------------------	------------------	------------------------

主催/富士見市民文化祭実行委員会・埼玉県・埼玉県教育委員会・埼玉県庁文化芸術推進委員会  
共催/CSB1キッズクラブ 協賛/市・市教育委員会 問合せ/地域文化課(TEL:049-251-2711)

富士見市

埼玉県芸術文化祭 2019 地域文化事業

## 第24回 美里町遺跡の森 ピアノコンクール

出場者募集 料無料

美里町遺跡の森ピアノコンクール

10月12日 A・D部門  
13日 B・E部門  
14日 F・S・C部門

会場: 美里町遺跡の森ホール

詳細は美里町教育委員会ホームページをご覧ください。

お問い合わせ: 美里町教育委員会 電話: 049-251-2711

美里町

埼玉県芸術文化祭 2019 地域文化事業

## 第18回 竹間沢 車人形公演

2019年12月8日(日) 開演13時30分(開場13時)

コピエみよし(三芳町文化会館)

【主役】加賀見尚道(藤原)・其五郎のむすめ (以上三芳町立竹間沢小学校)

【出演】人形劇「竹間沢車人形」出演者、加賀見尚道(藤原) 藤原 其五郎(其五郎) 藤原 其五郎(其五郎)

【観覧料】 ¥1,800 ¥900 公演日 9月1日(日) 10:00~

お問い合わせ: 三芳町文化会館 TEL: 049-259-3211

The 18th Chikumazawa Kuruma Ningyo performance  
Sun 8, Dec. 2019, start 13:30 Coppelio Miyoshi (Miyeshimachi Cultural Center)  
Kuruma Ningyo is a form of puppet theater, which has appeared often in a rural area with other traditional festivals, and operates the puppeteers. This kind of art is inherited by only a few in Japan. We hope Miyoshi team

三芳町

埼玉県芸術文化祭 2019 地域文化事業

## FRESA YOSHIMI MUSIC & FLOWER FESTA

Flower Festa 2019/10/22(土) ~ 11/10(日)

Music Festa 2019/11/16(日)

会場: 吉見町民会館

お問い合わせ: 吉見町民会館 TEL: 0493-53-1331

吉見町

# 芸術文化 ふれあい 交流フェア

埼玉県芸術文化祭30周年記念



埼玉県芸術文化祭30周年を記念して、様々な芸術文化を1日で楽しめるイベントを開催しました。

県内の文化団体、国際交流団体、学生団体、県立博物館・美術館が、ステージや体験・ワークショップを実施した他、現代社会に求められる芸術文化の役割について考えるシンポジウムも実施しました。

また、古典の日記念事業「ふれあい短歌賞」の表彰式もあわせて行いました。

屋外には、国際色豊かな外国料理や雑貨などを販売する屋台も並び、午前中の雨にも関わらず、子供から大人まで大勢の方が来場されました。

○ 参加者数 8,009人（出演者等27団体343人を含む。）

## <ステージ出演団体>

◆口笛カルテット（口笛 柴田晶子、ピアノ 藤野恵美、バイオリン 草野美香、ファゴット 牧野裕美）

◆埼玉県三曲協会（安島瑤山、沖田千織、箏ガール）

◆埼玉県舞踊協会 ◆県立伊奈学園総合高等学校音楽部 ◆県立浦和高等学校グリークラブ

◆フィエスタラティーナ ◆マトリョーシカ ◆「華～Let's party～」に参加した学生団体の皆さん



令和元年11月24日(日)

10:00~16:00

ソニックシティ展示場、  
イベント広場、鐘塚公園

<古典の日記念事業「ふれあい短歌賞」協力>

◆埼玉県歌人会(沖ななも、金子貞雄、下村すみよ)

<体験・ワークショップ参加団体>

◆NPO法人子ども文化ステーション ◆NPO法人入間市文化創造ネットワーク ◆折り紙夢工房  
◆埼玉県かるた協会 ◆埼玉県茶道協会 ◆埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±0  
◆埼玉県美術家協会 ◆細川紙技術者協会・小川町・東秩父村  
◆埼玉県オリンピック・パラリンピック課 ◆埼玉県立歴史と民俗の博物館  
◆埼玉県立さきたま史跡の博物館 ◆埼玉県立近代美術館 ◆埼玉県立自然の博物館

<埼玉県芸術文化祭30周年記念シンポジウム>

◆パネリスト(衛紀生、古賀弥生、小松弥生、平野到、堀貴雄)

★イベントの運営にあたり、大勢の大学生、高校生ボランティアの皆さんに御協力いただきました。

## オープニングセレモニー（主催者挨拶、口笛カルテット）

国際的な口笛コンテストで  
数回優勝している  
口笛奏者の  
柴田晶子さん



口笛カルテット（左から、ファゴット牧野裕美さん、バイオリン  
草野美香さん、柴田晶子さん、ピアノ藤野恵美さん）



埼玉県芸術文化祭実行委員会事務局長（関口睦  
埼玉県教育局市町村支援部長）による主催者挨拶



## 古典の日記念事業「ふれあい短歌賞」表彰式 ワークショップ 「短歌であそびましょう」

短歌によるワークショップ  
「短歌であそびましょう」をあわせて行いました。



「ふれあい短歌賞」について  
家族や友人など2人1組で作った短歌を  
募集し、704組1,408首の応募があり  
ました。審査の結果、大賞21組、準賞  
81組が選ばれ、表彰を行いました。

表彰のようす



ふれあい短歌賞選考委員（左から、沖ななも先生、  
金子貞雄先生、下村すみよ先生）



ストリンググラフィ、手回しオルゴール  
【コンサートとワークショップ】  
(NPO法人子ども文化ステーション)

ストリンググラフィ（左）は、糸電話の原理を応用した世界で唯一の楽器です。



手回しオルゴールのシート作りと演奏のワークショップ。



県内の競技かるた選手による交流試合

百人一首かるた大会（埼玉県かるた協会）



試合の間には、観戦者や来場者を交えたミニゲーム「ちらし取り」を行いました。（上）



スマホアプリ「まいたま」  
によるゲーム



ゲームに正解して  
コバトンと記念写真

埼玉県芸術文化祭30周年記念シンポジウム「未来へ種をまく。ー芸術文化の役割を考えるー」



芸術文化の社会的役割を考えるシンポジウムを行いました。基調講演は、文化行政のアドバイザーとして、全国的に活躍されている衛紀生（えいきせい）さんにお話をいただきました。パネルディスカッションでは有識者のほか、埼玉県教育委員会の小松弥生教育長も登壇しました。

## 体験・ワークショップ



折り紙で作られたフラワーアーチ

### 折り紙でアニメーション（作品展示）、折り紙体験（折り紙夢工房）



スポーツの動きなどをテーマにした折り紙作品を展示した他、コバトンやねずみなどを折る折り紙体験を行いました。

（折り紙夢工房には会場内のフラワーアーチや各ブース受付の装飾なども制作していただきました。）



### 錦秋の茶会（茶道体験） （埼玉県茶道協会）



気軽に茶道を体験できる茶席を設け、抹茶と和菓子を提供しました。来場者の皆さんは、くつろいだ雰囲気に参加されていました。



### ユネスコ無形文化遺産「細川紙」手漉き和紙体験（細川紙技術者協会、小川町、東秩父村）

国指定重要文化財・ユネスコ無形文化遺産の「細川紙」と同じ原料を使った手漉き和紙体験です。体験の他、会場では細川紙の製造過程パネル展示や工芸技術記録映画の上映なども行い、埼玉県の誇る「細川紙」をPRしました。





さきたま史跡の博物館

まが玉づくり



昔の遊び体験

歴史と民俗の博物館



自然の博物館

ミクロの世界をのぞいてみよう!



洗濯ばさみで絵を描こう!

近代美術館

県立博物館・美術館による体験・ワークショップ

銅板をたたいてペンダントをつくろう  
(埼玉県美術家協会)



古くから日本に伝わる金属工芸の伝統工芸技法「鍛金(たんきん)」でペンダントを作りました。



ペンダント作りとクラフト体験は鐘塚公園で実施しました。

チームKIKORI クラフト体験  
(NPO法人人間市文化創造ネットワーク)



昔遊びの定番の「コマ」と「キツキおもちゃ」を作りました。

障害者アート展  
(埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±0)



展示の他、障害者アートグッズを販売しました。

埼玉で開催！東京2020  
(埼玉県オリンピック・パラリンピック課)



SAITAMA PRIDE  
アンバサダー認定コーナー

## 尺八独奏、箏・尺八の二重奏（埼玉県三曲協会）



「春の海」や「懐月調」などの伝統的な曲から、「パプリカ」や「大きな古時計」など親しみやすい曲まで幅広く演奏されました。

左は、尺八の安島瑤山（あじまようざん）さん、右は、箏の沖田千織さん、下は、箏ガールの皆さん



## 民族舞踊（ペルー、ロシア）

左は、フィエスタラティーナによるペルーの民族舞踊、右は、マトリョーシカによるロシアの民族舞踊です。



屋外には、国際色豊かな各国料理や雑貨などを販売する屋台も出店されました。



# 「華～Let's party～」 (学生団体による屋外ライブ)



<参加団体>

- 埼玉工業大学フレアバーテンディング部
- 目白大学吹奏楽部
- 立正大学グリークラブ
- ものづくり大学軽音楽部
- 東京家政大学 Entertainment Willers

学生の皆さんは、ライブを自主的に運営した他、ボランティアとして会場の運営にも協力していただきました。

## フィナーレ

埼玉県舞踊協会  
口笛カルテット

県立伊奈学園総合高等学校音楽部  
県立浦和高等学校グリークラブ



はじめに口笛カルテットが再登場しました。続いて、埼玉県舞踊協会による舞踊「足袋nce体操」「錯覚」の後、伊奈学園総合高校音楽部と浦和高校グリークラブが加わり、舞踊と合唱のコラボレーションによる「さいたまさちあり」「ふるさと」が演じられ、イベントの終幕にふさわしい感動的なフィナーレとなりました。



長年にわたり埼玉県芸術文化祭に  
関わられ、さいごまで今回の交流  
フェアの企画に心を砕かれた、  
故 松木 晴信先生(埼玉県芸術文  
化祭企画委員長)に感謝と哀悼の  
意を捧げます。

# 会場案内図

### タイムテーブル

時間	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30
第1展示場	オープニングセレモニー	オープニングセレモニー	オープニングセレモニー	オープニングセレモニー	オープニングセレモニー	オープニングセレモニー
第2展示場	...	...	...	...	...	...
第3展示場	...	...	...	...	...	...
第4展示場	...	...	...	...	...	...
第5展示場	...	...	...	...	...	...
イベント広場	...	...	...	...	...	...
雑学公園	...	...	...	...	...	...
屋台	...	...	...	...	...	...

## 埼玉県芸術文化祭

# 芸術文化ふれあい交流フェア

— 子供から大人まで、1日楽しめる芸術文化のおまつり —

開催日 **11/24** ソニックシティ展示場、イベント広場、雑学公園  
10:00~18:00

#### ステージA 第1展示場内

10:00-10:20 オープニングセレモニー  
10:20-10:30 埼玉県芸術文化祭 実行委員会挨拶

10:30-11:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

11:30-12:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

12:00-12:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

12:30-13:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

13:00-13:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

13:30-14:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

14:00-14:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

14:30-15:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

#### ステージB イベント広場

10:00-11:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

11:00-11:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

11:30-12:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

12:00-12:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

12:30-13:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

13:00-13:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

13:30-14:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

14:00-14:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

14:30-15:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

### 会場案内図

### 体験・ワークショップ

<p>10:00-11:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>11:00-11:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>11:30-12:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>12:00-12:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>12:30-13:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>13:00-13:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>13:30-14:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>14:00-14:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>14:30-15:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p>	<p>10:00-11:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>11:00-11:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>11:30-12:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>12:00-12:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>12:30-13:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>13:00-13:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>13:30-14:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>14:00-14:30 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p> <p>14:30-15:00 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回</p>
--	--

### 屋台 料理・雑貨

- 1 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 2 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 3 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 4 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 5 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 6 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 7 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 8 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 9 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 10 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 11 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 12 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 13 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 14 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 15 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回
- 16 埼玉県立芸術文化センター 展示場内巡回

# 第 69 回埼玉県美術展覧会

5 月 28 日（火）～6 月 19 日（水）

県立近代美術館

## 企画運営

県展の運営は、埼玉県美術家協会及び関係機関等の選出委員からなる運営委員並びに出品作品の鑑審査を行う審査員により行われ、運営委員会で企画が検討された。

## 総括

作品の募集の対象は、15 歳以上の県内在住、在勤、在学者（中学生を除く）で、部門は日本画（水墨画含む）、洋画（版画含む）、彫刻、工芸、書（篆刻・刻字含む）、写真の 6 部門。

5 月 9 日から 12 日まで作品の搬入を受け付け、招待作品等を含めた出品総数は 3,861 点、出品者数は 3,201 人で、東秩父村を除く県内 62 市町から出品があった。

一般・会員の出品 3,455 点の中から、厳正な審査の結果、1,582 点が入選した。入選率は 45.8%とハイレベルな美術展となった。

第 69 回展においても約 4,000 点の出品点数と 30,000 人近い観覧者数を記録し、自治体主催の公募美術展としては引き続き全国トップレベルの規模であった。また、今回は 15 歳から 101 歳までの幅広い年代から出品があった。さらに、入賞者も 17 歳から 96 歳までと広範にわたり、記録の残る 52 回展以降の最高齢入賞者の記録を更新した。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県美術家協会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会

### <公園入口>



### <搬入会場>



### <鑑審査>



## 会期中の状況

5月28日から6月19日まで20日間にわたって開催された。陳列総数は、招待・委嘱作品等を含め1,988点であった。

公開期間中、観覧者は延べ28,726人に達し、多彩で迫力ある展示は好評を博した。

会期中、観覧者に対しアンケートを実施したところ回答者のうち8割以上は満足という結果が得られ、会場案内図を配布したことも好評であった。さらに、「とてもすばらしく感動しました。芸術は人の心を温かくし、大きな心してくれます。」「すばらしい作品をたくさん見ることが出来て、楽しく学ばせていただきました。」「とてもレベルの高いものばかりで大変満足でした。」「毎年、楽しみのひとつです。又、作品を描く上でとてもよい刺激になっています。」などの感想も寄せられた。

6月15日には、授賞式・懇親会を浦和コルソで行い、受賞者・関係者約130人が集まる盛大な式典となった。

## 各部の特徴など

### 第1部（日本画）（審査主任：内藤 五瑠）

日本画の技法は、絵具ニカワ等、習得するのに時間がかかる。皆さん粘り強く制作を続けて出品されており、作品の傾向も幅広く意欲的なものが多いと感じた。

### 第2部（洋画）（審査主任：木村 浩）

堅実な描写が多かったが、時代性を加味した深味のある作品も増しており嬉しく感じた。なお、作品の中には色彩の鈍いものが少なからず有り、気になった。

### 第3部（彫刻）（審査主任：堀尾 秀樹）

搬入された作品は、具象作品、抽象作品、どちらとも判断が難しいものなど様々であった。近年の幅広い年齢層からの挑戦的な応募に期待を膨らませている。組み立て・設置・鑑賞に際し著しい困難や危険を伴わないよう、関係者や鑑賞者の安全に配慮の上、応募をお願いしたい。

### <第1部 日本画>



### <第2部 洋画>



### <第3部 彫刻>



## <第4部 工芸>

### 第4部（工 芸）（審査主任：花輪 滋實）

全体的な傾向としてそれぞれが個性を發揮しており変化に富んだ作品があった。自分の個性を大切に、作りたいものを作るという方向を大切に、これからも進んでほしい。



## <第5部 書 >

### 第5部（書）（審査主任：栗崎 浩一路）

出品数の減少は残念なことだが、出品者が県全域に亘っており、その年齢層が幅広いこと（高校生から101歳まで）など、この県展が多くの県民に支えられて開催されていることに喜びと希望を感じた。

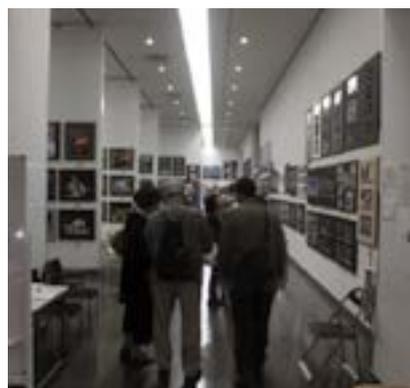


### 第6部（写 真）（審査主任：佐藤 親正）

近年は、デジタル編集の普及によりA3ノビのプリントでの応募が多くなっている。

撮ってから作品制作まで自分で行う事が主流となる時代がいよいよ来たことを実感した。

## <第6部 写真>



## 運営委員顧問

川村 親光

## 運営委員長兼審査員長

松岡 滋

## 運営委員

大野 逸男	岡田 忠明	塩原 康正	白幡 明	町田 景雲	林 喜一	浅見 嘉正
小川 游	高野 譲	守屋 順吉	齋藤 馨	細野 稔人	麦倉 忠彦	勝 正弘
増村紀一郎	紫藤 筑峰	樽田 激水	天野 行男	笠原 将	坂卷 高次	深井 勝己
増田 明弘	奥本 千絵	蓬田 潔	杉野 勝也	松本 浩		

## 運営委員兼審査員

〔日本画〕	内藤 五琅	亀山 祐介	黒澤 正	〔洋画〕	木村 浩	井上 政好	星川登美子
〔彫刻〕	高橋 勝	高橋千代子	西村 祐一	〔工芸〕	花輪 滋實	大島 律子	田島 榮悦
〔書〕	栗崎浩一路	奈良 紅雨	本橋 清流	〔写真〕	高野 隆一	佐藤 親正	加藤 俊一

## 審査員

〔日本画〕	風間さかえ	杉浦 左知	野邊ひろみ	湊田 邦明	増田 皓子
〔洋画〕	新井 隆	海沼 隼子	金森 良泰	中島 伸一	日吉 充
	山下 英夫	・田 武功			深井 米勝
〔彫刻〕	堀尾 秀樹	市之瀬宜久	長谷川倫子	原田 治展	
〔工芸〕	安藤タヅ子	坂田 裕紀	萩野 紀子	松永 慶	森田 高正
〔書〕	岩田 蕙雨	尾崎 花苑	清水 澄江	高橋 観水	平野 青苔
〔写真〕	市ノ川定男	荻原 光治	齋藤 英雄	白鳥 正一	関根 治郎
					根本美津江

# 第 69 回埼玉県美術展覧会

## 埼玉県知事賞受賞作品

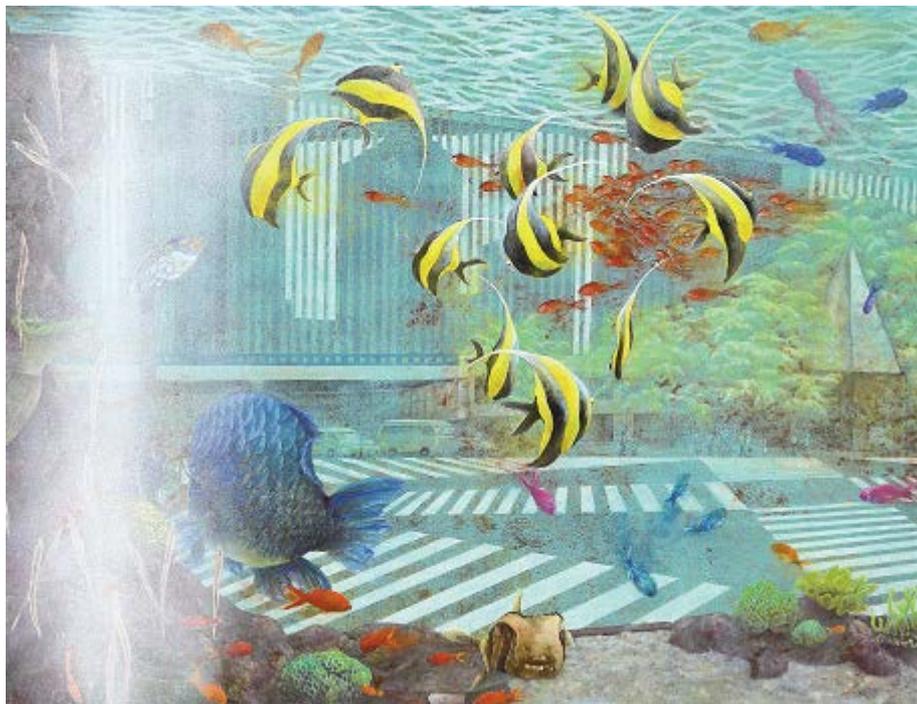
---



『ききたい・くない』志田 翼 (洋画)



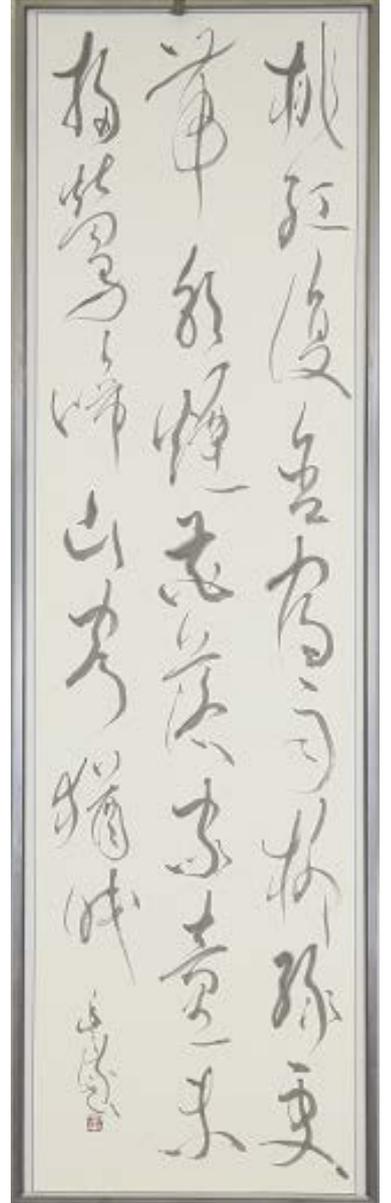
『ゲート (gate)』荒木 実 (彫刻)



『街角の水槽』平野 民子 (日本画)



『櫻拭漆十二角盛器』丸岡 重信（工芸）



『王維詩』高岡 豊流（書）



『春美景』柴田 昌彦（写真）

# 地域文化事業

## 目的

市町村や芸術文化団体が、芸術文化に関する行事全般にわたり、創造性や独自性あふれる文化事業を発表するとともに、参加者相互の交流を深める場として開催している。

## 運営

市町村事業では開催市町村が、文化団体事業では文化団体がそれぞれ主体となって、開催のために必要な企画、運営を行っている。県実行委員会は、埼玉県芸術文化祭の総合ポスター、総合リーフレットの作成や記者発表など、主に広報面での支援を行う。

## 実施事業

### <市町事業>

1 上里町	第 52 回上里町文化祭
2 越谷市	第 30 回こしがや薪能
3 東松山市	東松山市文化祭
4 川越市	第 68 回川越市美術展覧会
5 東松山市	高田博厚展 2019
6 美里町	第 24 回美里町遺跡の森ピアノコンクール
7 蓮田市	第 30 回人形げきと昔話のつどい
8 坂戸市	第 16 回坂戸市芸術文化祭
9 ときがわ町	第 27 回ときがわもみじ太鼓まつり
10 吉見町	フレサよしみミュージック&フラワーフェスタ
11 朝霞市	第 58 回朝霞市文化祭
12 行田市	市制施行 70 周年記念事業第 71 回行田市文化祭
13 滑川町	第 41 回滑川町文化祭
14 富士見市	第 56 回富士見市民文化祭
15 久喜市	『音楽の街・久喜市』吹奏楽フェスティバル
16 狭山市	第 30 回さやま大茶会
17 小鹿野町	歌舞伎・郷土芸能祭（第 49 回小鹿野町郷土芸能祭）
18 熊谷市	第 12 回地域伝統芸能今昔物語
19 三芳町	第 18 回竹間沢車人形公演



<文化団体事業>

1 蘭生書道会	第 51 回交通安全祈願蘭生書道展
2 創元会埼玉支部	第 33 回埼玉創元展
3 埼玉県書道人連盟	第 63 回埼玉書道展
4 埼玉県かるた協会	第 28 回埼玉県百人一首大会
5 熊谷短歌会	第 23 回熊谷市民短歌大会と作品(色紙・短冊)展
6 飯能市写真連盟	第 49 回飯能市写真連盟展
7 おけがわ市民芸術文化祭 実行委員会	おけがわ市民芸術文化祭 2019
8 秩父民謡団体連合会	第 19 回ちちぶ民謡・民舞の祭典
9 埼玉県茶道協会	秋の茶会
10 折り紙夢工房	折り紙夢工房作品展
11 武蔵野書人会	第 39 回武蔵野書展
12 第一美術協会埼玉支部	第 52 回第一美術協会埼玉支部展
13 洗風会	熊谷市文化祭 第 69 回公募洗風会書道展
14 川越市三曲会	第 37 回邦楽(箏、三絃、尺八)のつどい
15 特定非営利活動法人 入間市文化創造ネットワーク	アミーゴ秋まつり vol.12 いるまクラフトフェア
16 埼玉県連句協会	さきたま連句大会
17 秩父写友会	第 73 回秩父写友会秋季展
18 太平洋美術会埼玉支部	第 40 回太平洋埼玉展
19 全国平成水墨画協会	第 29 回全国平成水墨画展
20 埼玉読売写真クラブ	第 27 回埼玉読売写真クラブ総合写真展
21 上尾市文化団体連合会	第 35 回上尾市文化芸術祭
22 特定非営利活動法人子ども劇場 おやこ劇場埼玉センター	第 13 回こどもライブフェスタ 2019
23 熊谷ひばりピアノコンクール 実行委員会	第 12 回熊谷ひばりピアノコンクール
24 埼玉県西部地区合唱連盟	第 45 回埼玉県西部地区合唱祭
25 埼玉県三曲協会	第 27 回埼玉県三曲協会定期演奏会
26 一般社団法人埼玉県校外教育協会	第 54 回「郷土を描く児童生徒美術展」
27 彩西美術会	新創 彩西美術展'19
28 埼玉県北美術家協会	第 62 回埼玉県北美術展
29 サンシティ市民合唱団	第 31 回サンシティ市民合唱団定期演奏会 「忘れられた少年」
30 全日本書道芸術展実行委員会	第 53 回全日本書道芸術展
31 特定非営利活動法人オペラ彩	オペラ彩第 36 回定期公演オペラ「ナブッコ」

## 第 52 回上里町文化祭

【上里町】

展示部門：9月5日（木）～11月28日（木）9：00～16：00

芸術部門：11月3日（日）10：00～16：00

上里町役場 イオン上里みらいホール ワープ上里

### 当日の状況

#### ・展示部門

本年から、イオン上里みらいホールにて展示をする団体があり、買い物に来た方にも作品を見てもらうことができ、よいPRの機会となった。

#### ・芸能部門

毎年、文化の日に芸能部門の発表及び開会式典を開催している。どの団体も、日頃の成果を発揮し、発表の場として定着している。



### 成果

#### ・展示部門

地元企業から協力を得て展示（発表）する場所ができて、新しい形ができた。

上里町文化協会、地元企業（イオン上里）がWIN・WINの形を継続していきたい。

#### ・芸能部門

芸能団体には、この文化祭が発表の場として定着している。長年の課題となっている一般来場者をどのようにして増やしていくか、引き続き検討していきたい。



### 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会

上里町 上里町教育委員会

上里町文化協会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第 30 回こしがや薪能

【越谷市】

9月8日（日） 17:20~19:20

越谷市日本文化伝承の館こしがや能楽堂

### 当日の状況

「こしがや薪能」は、越谷市日本文化伝承の館こしがや能楽堂にて毎年開催されており、今年度で 30 回目を迎えた。

県内唯一の屋外能舞台で行う薪能に、来場者の方々は幻想的な雰囲気の中、幽玄の美を堪能されているようだった。

また、開演前に行った、観世流能楽師の関根知孝師<sup>せきねともたか</sup>による「能楽講座」では、能楽の歴史や番組の解説をすることにより、能楽の世界を身近に楽しんでもらうことができた。

当日は台風の影響により、屋外席の販売中止や番組を変更しての開催となったが、能『土蜘蛛』<sup>つちぐも</sup>では、蜘蛛の糸に見立てた大量の紙を投げかける演出があり、大変見ごたえのある演目となった。



### 成果

台風の影響により例年とは異なる公演となってしまったため、アンケートでは残念がる声をいただいた。

しかし、9割以上の方に次回も鑑賞したいと御回答をいただき、来年こそは天候に恵まれた中で鑑賞できるよう期待しているとの声も寄せられた。

### 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会

越谷市 越谷市教育委員会

公益財団法人越谷市施設管理公社

埼玉県芸術文化祭実行委員会

# 東松山市文化祭

【東松山市】

9月15日（日）～2月9日（日）

東松山市松山市民活動センター他

## 日 時

9/15	第11回定期演奏会 (ハワイアンバンド)	11/17	文化祭民謡発表会
9/29	第15回定期演奏会 (交響楽団)	11/23, 24	いけばな展 添釜(午前10時から午後3時)
	第26回東松山川柳大会		
10/2～6	第34回東松山陶芸展	11/24	邦楽三曲会演奏会
11/10	一芸のつどい ～古典舞踊と近代箏曲～		第35回発表会&ダンスパーティ
11/12～17	第119回紅陽社絵画展	12/1	市民コーラス・市民ギター合同発表会
11/14～19	第11回比企現代写真研究会定例会 第2回子どもフォトコンテスト	12/15	アマチュア無線局公開運用

## 当日の状況

市内19団体それぞれの発表の場として開催した。

## 成 果

10月12日に発生した台風19号の影響により中止や延期となってしまった団体もあったが、日頃の成果発表のために各団体が力を合わせ、事業の成功につながった。

団体間の連携を図りながら、広報活動等で各事業の集客をあげるため尽力した。結果的には前年度より少ない人数となったため来年度に向けて更なる努力が必要と考える。

## 主 催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
東松山市文化団体協議会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 68 回川越市美術展覧会

【川越市】

第Ⅰ期（洋画・彫塑、工芸）9月25日（水）～9月29日（日）9:00～17:00（最終日 16:00 まで）

第Ⅱ期（日本画、書、写真）10月2日（水）～6日（日）9:00～17:00（最終日 16:00 まで）

川越市立美術館

## 当日の状況

今回の展覧会は、多少の出品数の減少があり総出品数は633点となったものの、学生からの出品数が増加した。学校単位でのまとまった応募がみられ、学生賞以外の上位の賞を受賞した作品もあった。徐々にではあるが若い世代にも浸透しつつあると言える。

また、各会期最終日に行なった講評に関しては、部門ごとに工夫をこらし、参加者が大幅に増加した。

## 成果

今年で第68回を数える歴史と伝統ある美術展覧会。アンケートの結果では、出品者以外の来場者も多く、「家族や友人の作品を見に来たが、来年度はぜひ自分も出品してみたい」、「感動させられる作品が多かった」、「若い方の作品が素晴らしく、活力をもらった」等の声をいただいた。

今後は、さらなる若い世代の参加促進にむけて、各学校等への広報活動により力をいれていきたい。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会

川越市 川越市教育委員会

川越美術協会

埼玉県芸術文化祭実行委員会

埼玉県芸術文化祭川越市実行委員会



# 高田博厚展 2019

【東松山市】

10月4日（金）～11月4日（月・祝）

東松山市総合会館

## 当日の状況

市に所縁のある彫刻家高田博厚氏の彫刻作品等さまざまな芸術作品を1ヶ月間展示した。受付業務は東松山市美術協会に協力いただいた。

## 成果

台風19号発生後に来場者が激減し、前年度を大きく下回った。（前年度1812人、今年度1002人）

期間中予定していた特別講演会は台風19号の影響により中止となった。

今後は更なる集客のため広報活動等に変化を加えたい。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
東松山市 東松山市教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第24回美里町遺跡の森ピアノコンクール

【美里町】

10月14日（月・祝）

美里町遺跡の森館ホール

## 当日の状況

出場者は、S部門（幼児の部）からC部門（小学生の部）の2部門に分かれ、県内を中心に合計41名の青少年が出場した。

会場には、出場者の保護者や家族、音楽関係者、地域の住民や一般の方々が視聴に訪れていた。演奏は、緊張感が漂う中で部門別に行われた。部門が上がるにつれて、ピアノの演奏技術や表現力が素晴らしく、出場者は日頃の練習の成果を思う存分に発揮していた。

連日、会場内には、元気いっぱい若さにあふれたピアノの音色が響き渡っていた。

※本来は3日間行われる予定だったが、10月12日（土）・13日（日）は、台風19号の影響で中止となった。



## 成果

コンクール出場者は、他の出場者の演奏を聴くことで自分のレベルアップを図る機会が得られた。アンケートにも「緊張したけど楽しかったです。」「来年もピアノコンクールに参加したいです。」などの感想が寄せられ、本コンクールの趣旨である「音楽文化の向上に寄与する」目的を十分に果たせた。

また、音楽を通じて次世代を担う児童・生徒同士が刺激しあいながら、相互の交流を図ることができた事業であった。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会

美里町 美里町教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会

美里町遺跡の森ピアノコンクール実行委員会

# 第30回人形げきと昔話のつどい

【蓮田市】

10月19日(土)～12月1日(日)

蓮田市図書館他

## 日時

開催日	時間	演目	会場
10月19日(土)	10:30～11:30	子どものための音楽とおはなしの会 絵本「はなのあなのはなし」、 「おんがくとあそぼう おんがくをみよう おんがくをかこう」他	蓮田市中央公民館 2階第3会議室・研修室
10月20日(日)	10:30～11:30	人形劇「おおかみと7ひきの子やぎ」、ペープサート「こぶとりじいさん」他	蓮田市図書館 2階視聴覚ホール
10月27日(日)	13:30～15:30	ブックカフェ ムーミン谷へ行こう! アドバイザー:市川久美子さん	蓮田市図書館 2階視聴覚ホール
11月9日(土)	13:30～14:30	朗読劇「もたろう」他	蓮田市環境学習館 集会室
11月16日(土)	14:00～15:00	おはなし会 おはなしでてこーい! おはなし「世界でいちばんきれいな声」、絵本「つきよのおんがくかい」他	蓮田市図書館 2階視聴覚ホール
11月17日(日)	10:30～11:30	人形劇「へっこきよめさま」、「どうぞのいす」他	児童センター 2階集会室
11月24日(日)	10:30～11:30	人形劇「だいくとおにろく」、「うずらちゃんのかくれんぼ」他	蓮田市中央公民館 3階集会室
11月24日(日)	13:30～15:30	朗読 古事記「やまたのおろち」、是枝裕和「歩いて歩いて」他	蓮田市図書館 2階視聴覚ホール
12月1日(日)	13:30～15:00	講演会「絵本とわらべうたで、ゆたかな子育て!」 講師 落合美知子さん(「おはなしとおんがくのちいさいうち」主宰)	蓮田市図書館 2階視聴覚ホール

## 当日の状況

「第30回人形げきと昔話のつどい」と題し、10月19日から12月1日まで9回にわたり、市内4会場で「ブックカフェ」、「人形げき」、「講演会」、「朗読げき」、「おはなし会(昔話)」及び「朗読」を行った。

参加者も乳幼児から高齢者まで年齢層も幅広く、357名の参加者数となり、盛況の内に全イベントを実施した。



## 成果

どの公演も楽しく元気で盛況に行われ、アンケートには、「ピアノの音と共に絵本を聞くことがはじめてだったので、子供たちも興味深く聞いていました。」、「目の前で子供が人形げきを見れて貴重な体験でした。」、「人の心を豊かにする良い企画だと思います。今後とも続けてください。毎年楽しみにしています。」、「朗読を久しぶりに聴き、物語に引き込まれました。楽しかったです。」等の声をいただいた。また、子供たちが出演していた公演では、「子供達の頑張っている姿は見ていてとてもほほえましいです。」など喜びの声がたくさん寄せられ、大きな成果が得られた。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会 蓮田市  
蓮田市教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会  
埼玉県芸術文化祭蓮田市実行委員会

# 第16回坂戸市芸術文化祭

【坂戸市】

10月20日(日)～12月14日(土)

坂戸市文化会館他

## 開催日程

開催日	時間	演目	会場
10月20日(日)	12:00～16:10	三曲会定期演奏会	坂戸市入西地域交流センター
11月3日(日)	12:30～17:10	坂戸市音楽コミュニティフェスタ	坂戸市文化会館
11月15日(金) ～17日(日)	10:00～17:00 (最終日は16:30まで)	作品展示(絵画・工芸・花・書・写真・ 年中行事)	坂戸市文化会館
11月16日(土)	12:00～16:30	芸能(唄と舞)	坂戸市文化会館
11月17日(日)	14:00～17:00	さかど音楽祭	坂戸市文化会館
11月17日(日)	10:00～先着100名	茶席	坂戸市文化会館
12月14日(土)	16:00～19:15	ウインターコンサートさかど音楽祭	坂戸市入西地域交流センター

## 当日の状況

11月15日～17日の坂戸市芸術文化祭は、絵画・工芸・花・書・写真・年中行事の作品展示の他に、民謡や舞踊などの芸能ステージ発表、バンドや声楽、トランペット演奏などの音楽ステージ発表、呈茶席の発表を行なった。

また、10月20日に尺八や琴による「三曲会定期演奏会」、11月3日に「坂戸市音楽コミュニティフェスタ」、12月14日に「ウインターコンサートさかど音楽祭」を行い、各会場には坂戸市内及び近隣の市町村等から併せて約3,500人が訪れ、多彩なステージや魅力的な芸術作品を鑑賞した。



## 成果

作品展示では、絵画・書・工芸・写真・花の5部門で298点の出品があったほか、市内の年中行事を紹介し、芸術文化に対する市民の関心を高めることに貢献できた。

また、ステージ発表等では、各団体の特色を生かした発表を行い、文化の振興に大きく寄与することができた。

アンケートの感想には「皆さんの作品がすばらしいので感動しました。」「坂戸市の文化の発展につながる、素敵な行事であると思います。」等好意的な感想が多く寄せられた。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
坂戸市 坂戸市教育委員会  
坂戸市文化団体連合会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会  
坂戸市芸術文化祭実行委員会



# 第 27 回ときがわもみじ太鼓まつり

【ときがわ町】

10月20日（日）12：00～15：00

ときがわ町玉川トレーニングセンター

## 当日の状況

今年度もときがわ町玉川トレーニングセンターにおいて開催。ときがわもみじ太鼓まつりを盛り上げるために、商工会による「ときがわ盛り盛りマルシェ」などの模擬店が、会場に隣接する役場駐車場において同時開催された。

秋晴れの下、会場周辺は大勢の来場者で賑わった。ときがわもみじ太鼓まつりも開場前から多くの観客に御来場いただいた。

会場の玉川トレーニングセンターアリーナでの演奏は、太鼓の響きを全身で感じることができ、迫力ある演奏を楽しむことができた。県内から選抜された和太鼓やお囃子の7団体の皆さんの力強く息の合った素晴らしい演奏に大勢の観客から歓声と惜しめない拍手が送られた。



## 成果

玉川トレーニングセンターアリーナで開催することにより、天候に左右されず開催することができた。また、来場者の入場制限を行うことなく演奏を快適に観覧することができるようになった。

本事業は、第27回を迎え地域に定着しており、出演団体の演奏技術も年々レベルが上がっている。出演者は子供や若者を中心に幅広い年齢層で構成されており芸能文化の次世代育成と振興に寄与することができた。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
ときがわ町 ときがわ町教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会  
埼玉県芸術文化祭ときがわ町実行委員会

# フレサよしみミュージック&フラワーフェスタ 【吉見町】

ミュージックフェスタ 11月16日(土)13:00~16:10 吉見町民会館(フレサよしみ)大ホール

フラワーフェスタ 10月22日(火)~11月16日(土)9:00~17:00

吉見町民会館(フレサよしみ)芝生広場他

## 当日の状況

ミュージックフェスタは、県内の中学校、高校、大学、一般の吹奏楽団、合計6団体により盛大かつ華やかに開催された。各団体ともレベルが高く、躍動感あふれる演奏会となった。

今年も、一般吹奏楽団と中学生の共演による演奏を披露した。

フラワーフェスタは、芝生広場が県内外からよせられたフラワーアレンジメントや、寄せ植え、ハンギングバスケットなどで美しく彩られた。館内には、生け花や「花」をテーマとした絵画、写真等の作品が飾られた。また、来場者参加型企画として花のワークショップ「手づくりマーケット」を開催し、子供から大人まで多くの方がブローチやハーバリウムなどを制作し、会場が大いに賑わっていた。期間中は、質の高い音楽と素敵な作品で来場した方を魅了していた。



## 成果

期間中、約8,500名の方に来場していただいた。また、会場の舞台設営、司会、花苗の管理等を、フレサよしみサポーター委員会の皆さんや吉見中学校吹奏楽部の生徒の皆さんが、会館スタッフと協力して行うことにより、ボランティア精神を養うことができた。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
吉見町 吉見町教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会  
埼玉県芸術文化祭吉見町実行委員会

# 第 58 回朝霞市文化祭

【朝霞市】

10月27日（日）～12月15日（日）

朝霞市民会館（ゆめばれす）

朝霞市中央公民館・コミュニティセンター

## 当日の状況

「第 58 回朝霞市文化祭」を朝霞市文化協会との共催で、10月27日（日）から12月15日（日）までの期間、中央公民館・コミュニティセンター及びゆめばれす（市民会館）で開催した。

「展示部門」では、10種目・329点（うち公募出展：22点）の作品を展示した。さらに、地域のつながりから文化の振興を図る目的で、県立朝霞高等学校及び朝霞西高等学校の写真部と文化協会写真連盟との共同による作品展示を開催した。

このほか、文化祭特別事業として、朝霞西高校書道部によるパフォーマンス書道や、NPO 法人いろはリズムによる特別演奏会、障害福祉施設（7施設）による自主製作品の展示販売会、あさか野農業協同組合による地場野菜等の販売、青少年相談員朝霞市協議会によるカップケーキの販売、「芸術文化体験事業」を実施した。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にちなんだ射的コーナーも設け、来場した皆様に好評を博していた。

ゆめばれすで行われた「芸能のつどい」では、69組426名が出演し、伝統芸能からヒップホップダンスやピアノ独奏まで、様々なジャンルの演目が披露された。なお、式典では長年にわたり本市の芸術文化活動の発展に貢献のあった皆様（教育長賞1人、文化協会長賞11人）に対して、文化功労顕彰として表彰を行った。

文化祭期間中には、朝霞市文化協会に加盟している団体による発表会や展覧会が開かれ、芸術・文化を鑑賞する機会を広く供せたものと考えている。

## 成 果

今年度は、「芸術文化体験事業」や高校生による作品展示などに、子供達の参加が多く見られ、次の世代への文化継承に寄与できたものとする。

一方で、昨年に比べ総参加者数が約500人減少しており、その要因としては各連盟個別大会の入場者数減少が考えられる。事務局として、個別大会も含めた広報の徹底を今後の課題とし、より多くの市民の方が芸術・文化を楽しめるよう朝霞市文化協会と連携しながら創意工夫してまいりたい。

## 主 催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
朝霞市 朝霞市教育委員会  
朝霞市文化協会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 市制施行 70 周年記念事業第 71 回行田市文化祭

【行田市】

・【展示会/大会】10月31日(木)～11月4日(月)9:00～17:00(4日は16:00まで)

・【ステージ発表会】11月23日(土)開演13:00

行田市産業文化会館 他

### 当日の状況

行田市文化祭は、行田市文化団体連合会に加盟している団体のうち展示部門に15団体、大会・発表部門に6団体に参加し、10月31日から11月4日、11月23日に行田市産業文化会館を中心に開催され、約6,500名の来場をいただいた。

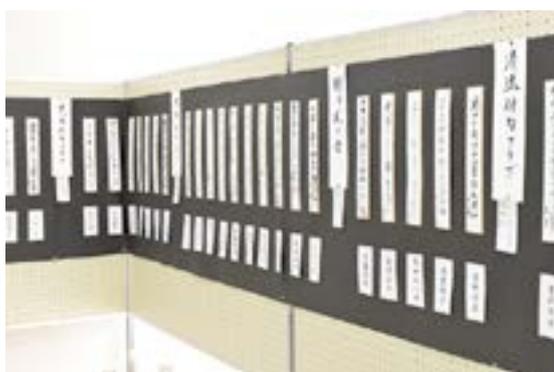
今年度は特に市制施行70周年の記念事業として開催し、芸術性豊かな作品の展示と参加型の文化祭として創作体験などが来場者の方々を楽しませていた。



### 成果

今回は埼玉県芸術文化祭事業への参加で、早い時期からポスター・チラシの配布や増刷など広報に力を入れた。行田市菊花展では会場の郷土博物館の企画展との同時期開催ということもあり、来場者が倍増した。

アンケートでは、「素敵な作品があり感動しました」、「行田市の魅力が作品から伝わりました」、「芸術を志す人の多さに驚き、また多くの芸術家が市内にいることに驚き、テレビで毎日が過ぎる者にとって刺激的でした」など多くの称賛の声をいただいた。一方、「絵画の出品数が少ない」、「展示会場が分散しており見学しにくい」、「来場者が少なく、周知の工夫が必要ではないか」など会場や広報についての御意見をいただいたので、次回以降の課題にしたい。



### 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会

行田市 行田市教育委員会

行田市文化団体連合会

公益財団法人行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

埼玉県芸術文化祭実行委員会

# 第41回滑川町文化祭

【滑川町】

11月1日（金）～11月3日（日・祝）9：00～16：00（最終日は15：30終了）

滑川町コミュニティセンター

## 当日の状況

第41回を迎えた滑川町文化祭は、文化芸術の振興と文化資質の向上を図る事を目的とし、今年度も盛大に開催された。

天候にも恵まれ、多くの来場者で賑やかな文化祭となった。

出展は小学生の作品や各サークルから書、俳句、短歌、川柳、写真、絵画、工芸作品等、数多くの力作が展示された。

最終日の3日には、恒例の茶道クラブによる野点が行われ、参加者はお手前を頂きながら、和の心のおもてなしに、優雅なひと時を過ごすことができた。

各団体から選出された実行委員が、会場の設営から運営まで担い、開催中は会場整理を担当して円滑な事業運営となった。



## 成果

幅広い分野から1,728点の作品が出展された。

日頃の活動の成果を広く知ってもらえる場であり、多くの来場者から作品の素晴らしさに感動や感心の声が寄せられた。

出展者にとってもジャンルを越えてコミュニケーションが図れ、お互いに刺激を受けて、励みとなり、今後の活動へと繋がる良い機会となっている。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
滑川町 滑川町教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会  
埼玉県芸術文化祭滑川町実行委員会

# 第 56 回富士見市民文化祭

【富士見市】

11月2日(土)～17日(日)

キラリ☆ふじみ(将棋大会のみ鶴瀬西交流センター)

## 当日の状況

11月2日の展示発表(4日まで開催)、3日の芸能発表を皮切りに約2週間の開催期間中、多くの来場者の方に足を運んでいただいた。

展示発表内の将棋コーナーでは、地元のプロ棋士の方がゲストとして来ていただき盛況であった。

4日の民謡大会、12日からの市民美術展では一般の方も多く御参加いただいた。

最終日である17日の市民音楽祭では、幅広い世代の参加や、様々な分野の音楽の発表があり、市民にとって文化芸術にふれる機会となった。



## 成果

毎年、市民を主体に実施されているこの市民文化祭は、各分野に分かれ、日頃の練習の成果を発揮できる場となっている。

市民にとって多様な文化に触れる機会となり、この取り組みは市民にも根付いており、今回延べ6,666人の市民の参加・来場があった。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
富士見市 富士見市教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会  
富士見市民文化祭実行委員会

# 「音楽の街・久喜市」吹奏楽フェスティバル

【久喜市】

11月10日（日） 10：20～16：20

久喜総合文化会館 大ホール

## 当日の状況

吹奏楽フェスティバルが行われるこの時期は、中学校・高等学校ともに1・2年生だけでの初めての演奏会になり、完璧な状態ではないにもかかわらず、いずれの学校もそのような状況を全く感じさせないほど、堂々とレベルの高い演奏を披露した。

今年も、各出演団体の演出に工夫が見られ、会場全体が大いに盛り上がりを見せた。

また、初めての試みとして、昼の休憩時間中に、会場屋外の広場で少人数のアンサンブル演奏を行った。計4バンドによる演奏は、大変好評を得た。



## 成果

出演者には、発表の機会及び日頃の活動に対する目標を提供することができ、モチベーション及び演奏技術の向上、吹奏楽文化の醸成に貢献することができた。

特に、中学生・高等学校生にとっては、校外の生徒との合同演奏により、普段の部活動では得られない刺激と研鑽を積む機会を提供することができた。

一方で、来場者には、質の高い、音楽性の優れた吹奏楽鑑賞の機会を提供することにより、感動と潤いを与えることができた。

また、多くの来場者から「毎年楽しみにしている。」「元気をもらえる。」「ずっと続けてほしい。」との声が聞かれるなど、本事業が、出演関係者だけでなく、多くの一般市民の間に定着していることが改めて確認できた。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会

久喜市 久喜市教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会

埼玉県芸術文化祭久喜市実行委員会

# 第 30 回 さやま大茶会

【狭山市】

11月10日（日） 10:00～15:00

県営狭山稲荷山公園

## 当日の状況

団体・個人・学校茶道部などの14席(抹茶12・煎茶2)による第30回さやま大茶会が開催された。野点の茶会としては全国最大規模で、秋空の下、芝生や松の緑に赤い野点傘が映える県営狭山稲荷山公園で、約5千人の来場者が各席の工夫を凝らしたおもてなしを楽しんだ。

お茶は狭山でつくられた抹茶「明松」と玉露「伊利麻路」、水は当日の朝3時に汲まれた狭山市の友好交流都市・新潟県津南町の新鮮な「竜ヶ窪の水」を使用した。

催し物として俳句・いけばなの展示、狭山茶や和菓子、お茶を使った洋菓子の販売、手揉み茶の実演、津南町の物産展なども開催された。また、博物館会場で、邦楽演奏も同時開催された。



## 成果

さやま大茶会は、難しい作法や服装を気にすることなく、気軽に1席600円で参加できる。

当日は津南町民訪問団をはじめ、姉妹都市のワージントン市や統営市の訪問団やベトナムなどの大使館関係者等、多くの外国人も来場した。また、今年は、外国人向けの英語点茶体験ブースを初出店した。友好交流都市の杭州市の茶文化研究会を招待し、茶芸公演も行われた。

今後も、日本の伝統文化を継承するとともに、内外にPRし「茶どころさやま」のイメージアップを図り、さらには、国際文化交流の場としても充実させていきたい。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
狭山市 狭山市教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会  
さやま大茶会実行委員会

# 歌舞伎・郷土芸能祭（第49回小鹿野町郷土芸能祭） 【小鹿野町】

11月16日（土） 10:15～16:15

11月17日（日） 10:15～15:35

小鹿野文化センター

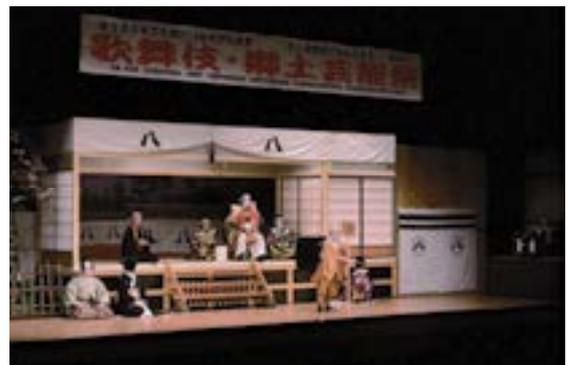
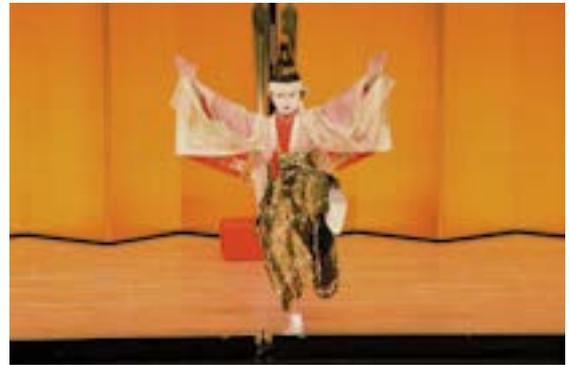
## 当日の状況

2日間にわたり「歌舞伎・郷土芸能祭」が、小鹿野文化センター・ホールで盛大に開催された。

小鹿野中学校の「総合的な学習の時間」歌舞伎班による歌舞伎が本年度も継承されるとともに、「町じゅうが役者」といわれるように町内の芸能団体から小鹿野歌舞伎保存会や小鹿野子ども歌舞伎などによる歌舞伎5幕と、秩父囃子、神楽等の郷土芸能が賑やかに上演された。

好天に恵まれ、小鹿野歌舞伎ファンをはじめ約1,000人が訪れ、両日とも賑わいを見せたほか、各出演団体とも稽古を重ねた熱演に会場からは惜しめない拍手が送られた。

また、ボランティア・商工・観光13団体による観光物産展「歌舞伎横丁」が2日間とも同時開催され、来場者に好評であった。



## 成果

埼玉県芸術文化祭として開催することにより、多くの来場者を得て、盛大な公演となり、「花と歌舞伎と名水のまち・おがの」を全国にアピールすることができた。

また、子供からベテランまで幅広い町民が歌舞伎や伝統芸能に関わり、町じゅうで支える姿を披露し、地域文化の振興に対して励ましの声がアンケートで多く寄せられ、伝統文化の継承意欲を高める上で大きな支援となった。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
小鹿野町 小鹿野町教育委員会  
小鹿野文化団体連合会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会  
埼玉県芸術文化祭小鹿野町実行委員会

# 第12回地域伝統芸能今昔物語

【熊谷市】

11月23日（土・祝） 12:30～16:15

熊谷文化創造館さくらめいと「太陽のホール」

## 当日の状況

市指定無形民俗文化財保持団体の6団体・一般芸能6団体、賛助出演1団体（熊谷祇園囃子）の、計13団体による共演を約650名の来場者が鑑賞した。

伝統芸能を次世代に継承することを目的に、児童生徒を始めとした多くの若手の出演があった。

また、今昔物語に併せて、同会場ロビーにおいて無形民俗文化財パネル展及び東別府祭ばやし保存会による「お囃子ワークショップ」を開催し、市内の伝統芸能や無形文化遺産についての啓発を行った。

最終演目には、出演者及び観客含めての「直実節」輪踊りを企画し、好評を得た。



箏曲雅会・箏和くわく塾「祝典協奏曲」

## 成果

各地区に継承・保持されている無形の文化財と芸能団体の発表の場を提供することにより、各地区の歴史や文化に対する理解を深めることができた。

また、郷土の伝統文化を次世代へ継承する意義を多くの児童生徒・若手に対して啓発することで、無形の文化遺産の更なる保護や情報発信を行うことができた。



熊谷山車屋台祭研究会・彩鼓連「熊谷祇園囃子」

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
熊谷市 熊谷市教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会  
埼玉県芸術文化祭熊谷市実行委員会



池上獅子舞保存会「池上獅子舞」

# 第 18 回竹間沢車人形公演

【三芳町】

12月8日（日） 13：30～16：00

コピスみよし（三芳町文化会館）

## 当日の状況

18 回目を迎えた「竹間沢車人形公演」は、約 5 ヶ月の稽古を経て開催された。演目は、竹間沢車人形の家元である前田益夫が演じる「寿式三番叟」に始まり、江戸時代初期に活躍した伝説的な大工、左甚五郎の逸話をもとにした「甚五郎のねずみ」、説経節の代表作であり加賀藩の加賀騒動を題材とした「加賀見山旧錦絵」を上演した。また、その場で体験者を集う「車人形教室」も実施し、車人形の構造や操り方を来場者に解説した。来場者は昨年を上回る 334 人。三芳町民や埼玉県民のほか、遠方の県からの来場者もあり、多くの来場者で賑わった。会場のロビーでは車人形の実物や稽古の様子を撮影した写真を展示し、本公演に至るまでの過程に来場者は大きな関心を抱いていた。



## 成果

次代の車人形の操り手や支援者を発掘するため、人形遣い及びサポーターを一般公募したところ町内外から 11 人集まった。車人形保存会の指導を交えながら 6 月末から「甚五郎のねずみ」の稽古を全 20 回行い、本番を迎えた。稽古を通じて応募参加者たちは車人形を演じる楽しさや、伝統芸能を次世代へ継承することの大切さを感じているようだった。



告知活動については、近隣自治体の公共施設等にチラシ設置を協力いただいたほか、竹間沢車人形保存会が町内の全小中学校に出向いての車人形体験教室を実施し、また、「よみ愛・読書のまち」推進と町の文化の活性を目的として制作した絵本「かえってきた竹間沢車人形」による周知など、様々な告知展開によって他地域からの来場者が全体の 6 割を占めるなど、大きな成果へとつながった。三芳町に継承される伝統芸能の存在を広く知ってもらうことができた。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
三芳町 三芳町教育委員会  
コピスみよし（三芳町文化会館）  
埼玉県芸術文化祭実行委員会  
埼玉県芸術文化祭三芳町実行委員会

# 第 51 回交通安全祈願蘭生書道展

【蘭生書道会】

8月30日(金) 9:30 ~ 19:00 31日(土) 9:30 ~ 16:00

展示：川口総合文化センターリリア 授賞式：リリア音楽ホール

## 当日の状況

今回は2日間の開催となった。展示ホールには鑑賞部とアート部作品、催し広場には一般部164点・教育部1562点の交通標語を課題とした半紙・硬筆・ペン字の作品を展示。

30日の授賞式では多くの来賓の方々と受賞者303名とその御家族で音楽ホールは埋め尽くされた。

展示会場には交通遺児の為の募金箱も設置し、御来場の皆様に協力を仰いだ。



## 成果

県内外からも多くの出品及び展示観覧により、事故撲滅をスローガンとした当会書道展の取り組みを広く知らしめた。

1件でも事故を減らし、なおかつ出品者の書に取り組む姿勢を称え、交通安全を推進できた。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
蘭生書道会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 33 回埼玉創元展

【創元会埼玉支部】

9月3日（火）～9月8日（日）

県立近代美術館

## 当日の状況

9月3日～9月8日の6日間油彩を中心とした洋画を展示発表した。

## 成果

期間中 1,200 名の来場があり、さまざまな表現の作品群の展示で大変好評であった。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
創元会埼玉支部  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 63 回埼玉書道展

【埼玉県書道人連盟】

9月12日(木)～15日(日) 10:00～17:30(15日は16:00迄)

埼玉県立近代美術館 一般展示室1・2・3・4

## 当日の状況

63回展では、最年少15歳の高校生から最高齢94歳まで出品者の年齢層も幅広く、788点の作品を展示、対前年比73点増であった。また、県内60市町村(県内在住、在勤、団体加盟者)からの出品があった。本年は、『特別企画』として、「触ればわかる拓本の魅力」と題して、会員が所蔵する中国の拓本94点を展示し、その中の30点を手で触れることができた。

13日(金)ギャラリートークでは、連盟役員が展示された拓本の解説を午前、午後の2回行い、300名の参加を得て大変好評であった。

また、今回展より「高等学校臨書の部」を開催し、95点の優秀な作品が集まり展示された。

15日(日)浦和ワシントンホテルにおいて授賞式が行われた。その後、同ホテルで祝賀会が行われ大盛況であった。参観者総数は昨年より増加し、1,546名であった。



## 成果

「素晴らしい見応えのある作品に感動しました。書の芸術文化に触れ、感性を高めることができた。特別企画が良かった。中国の拓本の展示とギャラリートークが勉強になった。高等学校臨書の部が良かった。高校生の作品参加は大賛成です。令和の新時代にふさわしい。」などの声や、「作品に釈文を付けてほしい。最終日の終了時間が早すぎる。」等の要望があった。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県書道人連盟  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 28 回埼玉県百人一首大会

【埼玉県かるた協会】

9月22日（日）9:00～21:00

戸田市スポーツセンター

## 当日の状況

埼玉県内に在住、在学又は在勤をしている方及び県内で競技かるたの活動をしている方を対象として行われた本大会であるが、今年度は特に初心者を対象として開催した。

今大会が初めての大会参加となる初心者がこの大会を通して、競技技術の向上や、ルール及びマナーの習得ができるようスタッフが運営の傍ら、参加者の質問に答えたり、ルールの説明等を行ったりした。



## 成果

近年、競技かるたがマンガ、アニメ、映画等の様々な媒体で取り上げられることで、県内の競技人口は着実に増加を続けている。特に初心者の増加が顕著であるが、その一方で、大会に参加する機会が少ないことから、全国大会においてはマナーやルールの理解が不十分な様子も多分に見られている。

本大会では、参加者が今後の全国大会に参加するに当たって必要となるルールやマナーを習得し、ステップアップするための大会とするように運営に注意を払った。

今後も初心者を中心とした競技人口の増加が予想されるため、本大会への参加を通じて県内競技者の競技技術の向上に努めてまいりたい。

また例年、大会開催中に同施設内で初心者向けの体験コーナーを開催し、競技かるたの説明や取り札を使ったミニゲームを行なっているが、大会同様、多くの方に競技かるたに親しんでいただくためにも、今後も、引き続き開催していきたい。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県かるた協会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第23回熊谷市民短歌大会と作品(色紙・短冊)展

## 【熊谷短歌会】

短歌大会 9月29日(日) 作品展 9月25日(水)～29日(日)

熊谷市立市民ホール

### 当日の状況

当日のアンケートは、できなかったが6月に当短歌会が独自に実施したアンケートでは、市民短歌大会に寄せる期待が大きく、回答者のほぼ全員より継続を強く要望された。

大会終了後、当日来場者と選者等と30分の座談会を実施したが、出席者全員の発言があり、熱のこもった質疑応答がなされた。

作品展では、パネルごとに会員が作った青竹の一輪挿しが置かれ、会員の持ち寄った季節の草花等が飾られ、来場者を引き付けた。期間中は常時2名の役員が会場に常駐し、来場者の質問や感想などの和やか交歓があった。



### 成果

「市報 くまがや」での募集広告掲載などの協力もあり、熊谷短歌大会応募者は、93名・186首。これは本事業開始以来の最高記録となった。

作品(色紙・短冊)展の参加者は、42名・64点で平年並みだった。

短歌大会作品集 350冊制作及び作品展出展目録 400部印刷し、参加者・来場者等に配布した。



### 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
熊谷短歌会 熊谷市文化連合  
埼玉県芸術文化祭実行委員会

# 第 49 回飯能市写真連盟展

【飯能市写真連盟】

9月25日(水)～10月1日(火) 10:00～18:00(最終日15:00)

飯能市市民活動センターギャラリー

## 当日の状況

飯能市写真連盟加盟の9団体の会員(134名)による作品が116点、市内の高校生(3校)の作品が31点の合計147点の写真を会場に展示し、期間中508名の市民が観覧した。

## 成果

趣味を通じた仲間と協力して伝統ある展示会を行い、写真文化の発展や高校生及び市民とのふれあいを行うなど、文化交流の輪を深めることができた。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
飯能市写真連盟  
埼玉県芸術文化祭実行委員会  
(主管) 飯能市 飯能市教育委員会



# おけがわ市民芸術文化祭 2019

## 【おけがわ市民芸術文化祭実行委員会】

9月28日(土)～12月10日(火)

桶川市民ホール他

### 日時

- 総合アート展 会場：桶川市民ホール ギャラリー1・2
  - ・前期(写真・文芸・工芸・いけばな1期) 10月24日(木)～10月27日(日)
  - ・後期(絵画・書・立体・いけばな2期) 11月1日(金)～11月4日(月・祝)  
10:00～17:00(前後期とも最終日は16:00迄(いけばなは15:00迄))
  - ・桶川市内高等学校生徒作品展 10月24日(木)～11月4日(月・祝) 10:00～17:00(10月28日(月)は休館日)
  - ・菊花展 会場：桶川市べに花ふるさと館・桶川市民ホール ギャラリー2 11月1日(木)～11月17日(土)
- 器楽・邦楽の調 会場：桶川市民ホール ホール 10月26日(土) 11:00～15:50
- 合唱フェスタ 2019 会場：桶川市民ホール ホール 10月27日(日) 12:30～16:30
- 芸能の広場 会場：桶川市民ホール ホール 11月4日(月・祝) 10:30～16:05
- 公募事業 NEIGHBORHOOD CONCERT ～ご近所コンサート vol.18～  
会場：桶川市民ホール プチホール 9月28日(日) 13:00～16:20
- 公募事業 冬のほっこりコンサート No.3  
会場：桶川市民ホール プチホール 12月10日(火) 13:00～15:30

### 当日の状況

「総合アート展」では、市内高等学校生徒作品や、写真・文芸・工芸・絵画・書・立体・いけばな・菊花の展示をした。

「器楽・邦楽の調」は11組の団体が箏曲から吹奏楽まで様々な演奏を披露した。

「合唱フェスタ2019」は18組の合唱団体とゲスト1組を迎え開催した。

「芸能の広場」は13組の団体が、民謡・よさこいソーラン・万作・相撲甚句などの様々な芸能の発表を行った。



### 成果

作品展示では合計300点を超える作品が展示され、2,000名を超える方々に御来場いただき、芸術作品に対する市民の関心を高めることができた。

各舞台発表では多種多様なジャンルの団体が、日頃の練習の成果を発表することができ、市民の皆様楽しんでいただけたのと同時に参加意欲を刺激することができた。

また各部門においても、昨年より多数の観客に御来場いただいた。

アンケートでは、「皆さんの頑張りに勇気を頂きました。」「何でも真剣に取り組んでいることは素晴らしい事です。」「お互い頑張りたいと思います。」「日頃の成果をいかに発揮した文化祭だったと思います。」等の御意見をいただいた。



### 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会 おけがわ市民芸術文化祭実行委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第19回ちちぶ民謡・民舞の祭典

【秩父民謡団体連合会】

9月28日(土) 10:00 ~ 16:30

秩父市福祉女性会館ホール

## 当日の状況

9月28日(土) 午前10時開演、入場者：50人、参加会員：67人、手伝い：5人(前日27日(金)午後5時より音響、付舞台、客席の準備：20人)。

毎年、秩父地域で、敬老会、文化祭、スポーツイベント、祭り等の催しが多く行なわれる中での発表会となった。

当日、秩父市長が出席し、記念撮影や挨拶を行った後に各団体が発表し、日本全国の民謡の唄、三味線、踊りでそれぞれの技を競った。また、今回初めての発表曲も2曲あり大変にぎやかに開催することができた。



## 成果

今大会で19回。加盟4団体が連携を取り日本の民謡又民族芸能に取り組み、発掘も心掛けている。民俗文化伝承を合言葉に切磋琢磨し、民謡の発展に寄与することを誓い合った。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
秩父民謡団体連合会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 秋の茶会

9月29日(日) 10:00 ~ 15:00

【埼玉県茶道協会】

武蔵一の宮 大宮氷川神社内

## 当日の状況

創立63年目、令和元年の地域文化事業埼玉県茶道協会・秋茶会は、今回も格式ある武蔵一宮大宮氷川神社にて開催した。当日は天気も穏やかに、当協会顧問の皆様他、ご来賓や県内外から茶の湯を愛する各流派の方々約400名が訪れた。

茶席は表千家・裏千家・表千家不白流の先生方が各席を担当した。会場の混雑もなく順次、参会者は各席主の心入れの趣向に席中の秋を楽しみながらお菓子とお抹茶を味わい、席主と正客の会話に真剣に耳を傾けていた。また、休憩処の待合いテントで振る舞った香煎茶も好評だった。

会場は一期一会の時を満喫した笑顔の人々で終日賑わい、お蔭様にて無事、盛会に終了できた。



## 成果

埼玉県茶道協会々員相互の協調と親睦のみならず県民に広くアピールでき県内外から幅広い世代が多数訪れた。洋服での参会者も多くアンケートでは「各お席のお流儀の違うお点前を拝見でき、茶道具一つ一つの説明を聞いて良かった。季節を感じ和やかな時を過ごせた。とても楽しいひと時だった。各席とも心配りをされていて勉強させて頂いた。」等々、感謝のメッセージを多数いただいた。伝統文化茶の湯への理解と関心を高め、身近な生活文化の振興に貢献できた。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県茶道協会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会

# 折り紙夢工房作品展

## 【折り紙夢工房】

10月2日(水)～4日(金) 10:00～17:00

川口総合文化センターリリア 3Fギャラリー

### 当日の状況

今回のテーマは「折り紙でアニメーション」とし、東京2020オリンピックにちなみ陸上競技の「棒高跳び」、「砲丸投げ」、その他「水泳」、「フェンシング」など、アニメーションのように表情を変えて表現した。来場者からは、「動きがあってとても素晴らしいですね。」との励ましの声をいただいた。体験教室も大賑わいであった。

### 成果

今年は東京2020オリンピックをイメージしてさまざまな競技を作品で表現した。「折り紙とは思えない繊細な芸術品ですね。」など大勢の来場者からお声をいただきました。作品においては、アニメーションに表現するため、何段階にも表したので表情が豊かに出来た。600人以上の来場者があり、リピーターも多く、毎日多くの方が体験していただき、和やかな楽しい雰囲気であった。

### 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会

折り紙夢工房

埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 39 回武蔵野書展

【武蔵野書人会】

10月4日（金）13：00～18：00 10月5日（土）～7日（月）10：00～17：00

ウエスタ川越

## 当日の状況

初日、慌ただしく会場設営をして正午にはテープカットが行われ書展がスタートした。

好天の中来場者の出足も徐々に増えてきた。

色々な書体・作風で来場者を魅了した。

5日（日）に授賞式が行われ、その祝賀会では、喜びに満ちた出品者の姿が印象的であった。



## 成果

254点の入賞者が展示され、県内、近県だけでなく米国からの多くの出品者があり国際交流を一層深いものにした。

また、米壽以上の出品者をたたえる「壽章」も5人が受賞され授賞式に花を添えた。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会

武蔵野書人会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 52 回第一美術協会埼玉支部展 【第一美術協会埼玉支部】

10月8日(火)～10月11日(金) 10:00～17:30

県立近代美術館

## 当日の状況

今年の来場者は、861人であった。会期は4日間の開催になった。後半の2日間は、台風19号の影響で近代美術館が休館になってしまった。出品者は、会員53名、招待1名、一般43名、桜学園9名で計106名。出品点数は、169点になった。会期初日から3日間は天候が良く、大勢の観覧者に来館していただいととても好調であったが、後半の12日と13日は開催中止になり、残念ながら短い支部展となってしまった。



## 成果

埼玉支部の特長の一つに水彩画の出品者が油彩の人より多いことがあり、水彩画を描いている方達に親しみを持って身近に感じてもらえたと思う。

一般の方達には、大きいサイズなどは経験した事のない未知の部分で作品を見るだけでも参考になったと思う。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
第一美術協会埼玉支部  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 熊谷市文化祭 第 69 回公募洗風会書道展

【洗風会】

10月12日(土)～14日(月・祝) 9:00～17:00

熊谷市中央公民館大ホール

## 当日の状況

作品展示は、10月12日から14日まで3日間行い、約200人が来場した。作品出品点数は、第1部が19点、第2部が24点、学生部が56点、役員・招待が28点合計117点となった。

授賞式は、14日に衆議院議員の野中厚様、県議会議員の小林哲也様、熊谷市長の富岡清様を始め多くの御来賓の皆様にご出席いただきホテルマロウドイン熊谷で行った。

出席者は、招待者及び受賞者を含め140名ほどだった。

授賞式の後、祝賀会を行い、令和2年の第70回展に向けて、決意を新たに取り組むことを確認し終了した。



## 成果

地元熊谷市の方が多く来場した。その他市町村では、さいたま市、ふじみ野市、加須市、深谷市など県内各地から来ていただいた。

性別では、男性より女性が多めに来場した。年代別では、40代から70代が多く来場し、10代の小中学生も多く来場した。

授賞式を連休の最終日にしたことにより、一般部の受賞者をはじめ 学生部の小・中学生とその親御さん達も多く出席していただき、122名の出席となった。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
洗風会 熊谷市文化連合  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 37 回邦楽（箏、三絃、尺八）のつどい 【川越市三曲会】

10月13日（日）12：30～16：30

川越南文化会館

## 当日の状況

第37回を迎えた今年の定期演奏会は、日本列島を襲った19号台風のため、前夜遅くまで風雨がひどく停電にならないかなど案じられたが、当日は朝から晴天となり無事開催することができた。

大変な状況の中、お客様が来て下さるか心配したが、地域の皆さん、また邦楽のファンの方々が“楽しみにしていました”と御来場され、最後まで熱心に聴いていただいた。



## 成果

8歳から87歳までの幅広い年齢層の60人が出演し、13団体の各社中は、それぞれに古典曲・現代曲を交えてお客様に楽しんでいただけるプログラムを用意し、日頃の成果を十分に発揮した。

台風の影響を受けてお客様は例年の半数であったが、アンケートでは“感動しました、楽しかったです、心が穏やかになりました”など、嬉しい感想をいただいた。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
川越市三曲会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# アミーゴ秋まつり vol. 12 いるまクラフトフェア

【特定非営利活動法人入間市文化創造ネットワーク】

10月13日（日）、14日（月・祝）

入間市文化創造アトリエアミーゴ

## 当日の状況

台風19号により中止となった。

## 事業内容

クラフト作家の作品展示・販売、クラフト体験、野外ライブ、茶席などの文化芸術で地域コミュニティの場を創出する。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
特定非営利活動法人入間市文化創造ネットワーク  
埼玉県芸術文化祭実行委員会

※写真は昨年度のものを使用



# さきたま連句大会

【埼玉県連句協会】

10月14日（月・祝）11：00～16：00

そごう川口店

## 当日の状況

全国から参集した連衆の募吟表彰式と参加者による実作会が行われた。実作会では各結社ごとに連句に対する鍛錬と造詣の深さが競われ熱気に溢れた実作会となり各結社に新風を吹き込んだ。

## 成果

各結社に刺激を与え、連句の発展に寄与した。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県連句協会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 73 回秩父写友会秋季展

【秩父写友会】

10月17日(木)～21日(月) 10:00～17:00

秩父地場産センター 2階展示コーナー

## 当日の状況

当日は参加者の中から交替で2人ずつ来場者のチェック、来場者との写真の話、又参考意見等の聞き取りを行った。

## 成果

来場者より会員の参考になる貴重な意見など様々な御意見を拝聴できた。また「自分たちの故郷」の大樹を、全てモノクローム写真で表現できた。

第17回「秩父の大樹」写真集の発刊はテーマ別としては、36冊目になる。写真の持つ「多様な表現」の可能性を深く掘り下げ、近在の大樹、県指定、市指定の名木を撮影・発表した。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
秩父写友会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 40 回太平洋埼玉展

10月22日（火）～27日（日）10:00～17:00

# 【太平洋美術会埼玉支部】

埼玉県立近代美術館

## 当日の状況

審査対象となる20号以上の絵画が69点、支部同人の小品が37点、招待作品が4点、計110点が展示された。一般応募作品は17点、うち出品料無料の高校生の作品は7点が展示された。

## 成果

来観者は1,105人。「力作、大作が多い。」「毎年来ているが全体的にレベルが高く作品の質が向上している。」「いずれの作品も熱意のこもったもので親しみを感じた。」などの感想をいただき好評であった。

受賞者は15名で、高校生の作品はユニークなものが多く、2名が新人賞等を受賞した。また、昨年度より広い第一展示室を会場としており、ゆったりとしたスペースの中で見るのができたとの感想をいただいた。

太平洋埼玉展は、県内の美術愛好家が絵画鑑賞を楽しみ、また自ら作品を発表する場として開催されており、第40回展を充実した内容で実施することができた。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
太平洋美術会埼玉支部  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 29 回全国平成水墨画展

【全国平成水墨画協会】

10月23日（水）～10月27日（日）10:00～17:30

埼玉会館

## 当日の状況

会場の変更に伴い、入場者は減少してしまっ  
たが、展示が面白いと言いながら会場内で話し  
合う人が多かった。来年は必ず良くなるという  
確信を得た。

## 成 果

近代美術館から埼玉会館への会場変更は勇気  
のいる選択だった。しかし、今年から始めた現  
代アート展示によって若い入場者が増え、会  
場内に話の輪が出来たことは嬉しかった。

来年に向けて自信と勇気をもらった。

## 主 催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
全国平成水墨画協会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第27回埼玉読売写真クラブ総合写真展【埼玉読売写真クラブ】

11月1日（金）～11月6日（水）9：00～17：00（最終日は15：00終了） プラザノース

## 当日の状況

今回から過去に来場された方々に、案内状を送付したこともあり、また買い物帰りの人達も観覧され大変賑わった。

## 成果

来賓者総数 712 名と大勢の方々が来場され、貴重な御意見をいただき大いに参考になった。今後の会員の写真技術の向上につながると思う。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉読売写真クラブ  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 35 回上尾市文化芸術祭

11月2日(土)～4日(月・祝) 9:00～17:00

## 【上尾市文化団体連合会】

上尾市コミュニティセンター

### 当日の状況

2日、開会式を13時より実施後、地元の小学校の音楽クラブによるコーラスの演出があった。また、劇団がらがらどんによる「オズの魔法使い」が披露された。

公演部門では3日に吟剣詩舞道連盟による90種目の実技が披露された。4日には邦楽邦舞協会による16曲の和楽が演奏された。

展示部門では2日～4日にかけて、いけばな協会では47名の作品を展示し、美術家協会では31名の作品が出品され、俳句連盟では37名の俳句が展示された。

将棋連合会では2日に将棋入門教室を実施した。受講者は15名で、3日～4日には団体戦が行われ、1チーム3名で棋力別にA～Cクラスに分かれそれぞれ8チーム参加した。

囲碁連盟は2日にノーハンデ戦の上尾市アマ名人戦を実施し、14名参加した。同日男女ペア戦も実施し14チームが参加した。3日～4日には囲碁連盟加入のサークル団体戦が行われた。1チーム3名でAクラス14チーム、Bクラス12チーム参加した。

茶道連盟は10月20日に茶会を行った。来客者は30名余であった。2日の開会式の来賓の方々にお茶のおもてなしを行った。

### 成果

一般来客者は加盟8団体の1年間の成果を見たり聞いたりしていただいて、上尾の文化向上に改めて感心と感動を与えた。

### 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会 上尾市文化団体連合会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第13回こどもライブフェスタ 2019

## 【特定非営利活動法人 子ども劇場おやこ劇場埼玉センター】

11月3日(日)～11月30日(土)

プラザウエスト 他

### 当日の状況

13回目となったこどもライブフェスタ、11月3日(日)～30日(土)まで県内10地域で21企画を開催、延べ6,125人が遊びから舞台鑑賞まで、様々な文化体験を楽しんだ。プラザウエストで開催した『アート体験☆あそびの広場』は、今年もプロのアーティストによるワークショップ、舞台鑑賞、実行委員会への参加団体による体験コーナー、工作コーナーなど盛りだくさんの内容で、参加者はドキドキワクワクの1日を過ごすことができた。



### 成果

埼玉県民の日を中心に身近な地域で様々な文化体験の場をつくり、子供たちに遊びや、工作、プロのアーティストによるワークショップ及びいろいろなジャンルの舞台鑑賞を体験してもらうことができた。参加した子供たちからは「こんな体験は初めて!」、「うちでもやってみたい!」、「また来たい!」、「毎年楽しみにしている」…といった感想が寄せられ、一般参加者からも「子供たちがとても楽しんでいた」、「大人も楽しめた」との声があった。



当法人にとっても、地域文化事業として開催することで県内に広く広報ができ、各地で県民文化祭への関心も高まった。文化環境豊かな埼玉をめざして、今後とも活動を広げ「こどもライブフェスタ」への参加団体も増やしていきたい。



### 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会

特定非営利活動法人

子ども劇場おやこ劇場埼玉センター

埼玉県芸術文化祭実行委員会

# 第12回熊谷ひばりピアノコンクール

## 【熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会】

11月4日(月・祝) 10:00 ~ 20:00

熊谷文化創造館さくらめいと「太陽のホール」

### 当日の状況

第12回熊谷ひばりピアノコンクールは、快晴の中開催され、埼玉県民を中心に県外からの参加者も見られた。A部門の、幼児からG1部門の大学生一般部門、G2部門の愛好家の一般部門まで幅広い年齢層のコンクールとなった。

当日、コンクール参加者だけでなく、指導者、保護者、地域の方々も演奏を聴きにいられていた。後半に向かうごとに演奏のレベルが上がり、表現力、テクニック等、日頃の練習の成果をいかんなく発揮する場の提供となり、参加者は演奏する喜びに溢れていた。



### 成果

目的に「地域の芸術文化向上、生涯学習としてのピアノ演奏の理解を深め、音楽的情操教育の発展を目的とする。」とあるように「ピアノ演奏の場の提供」という面で、幼児から、ピアノ愛好者の部門まで幅広い年齢層の参加に、成果を感じた。

参加者の感想の中にも、「ピアノの音がとてもきれいだった」「演奏することがとても気持ちがよかった」など、「一流のホールで一流のピアノで演奏する」「緊張の中成果を出す」ということを通じて、情操教育、生涯学習という面でも参加者同士の刺激、経験になったと感じられた。



### 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 45 回埼玉県西部地区合唱祭

# 【埼玉県西部地区合唱連盟】

11月23日(土・祝) 10:00 ~ 17:00

坂戸市文化会館「ふれあ」

## 当日の状況

埼玉県西部地区合唱祭は今年で第 45 回を迎えた。

観客は会員を含め 1,100 人。出演は児童 (1 団体)、女声 (28 団体)、男声 (2 団体)、混声 (10 団体) の 41 団体。

年齢層の高い方々の魅力あふれる演奏に、講師からもお褒めの言葉をいただいた。

今後は課題である若い層の増員に力を入れていきたい。



## 成果

最初の一声から豊かな声とハーモニー、一人ひとりが納得のステージを演じ、時間の使い方を工夫し、団としてのアイデアと工夫が凝らされていて個性が見事に表現されていた。来年のステージでもその成果を期待したい。

課題：昨年と同様、高齢化してゆく会員、合唱祭の運営方法、問題点を真剣に取り組んでいく。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県西部地区合唱連盟  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 27 回埼玉県三曲協会定期演奏会

【埼玉県三曲協会】

11月24日（日）11：00～16：30

響の森桶川市民ホール

## 当日の状況

さいたま市内の会場確保が難しく、今年は、響の森桶川市民ホールでの開催であった。やはり中央から離れた市である理由からか、昨年より来場者が少なかった。

それぞれ1年間研鑽を積んだ内容のある演奏を今年は18曲披露した。

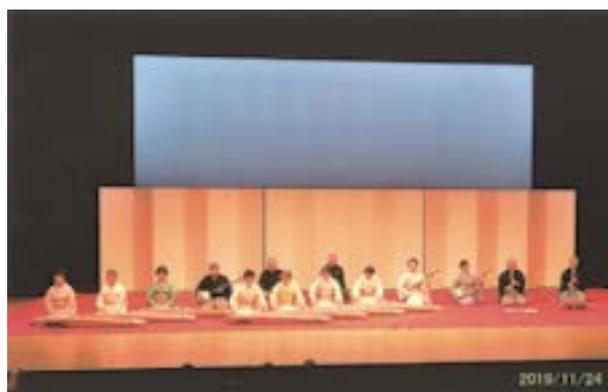


## 成果

音楽的技術は、昨年よりかなり向上している。聴衆の年齢は、60歳代25名、70歳以上が87名と、高い年齢の方々には、関心を持ってもらえるが、若い層が少ないのは残念である。さらなる技術の向上を図りたいと思う。

当協会では“子供のためのお箏教室”をさいたま市と桶川市で開講しているので、多くの子供たちが参加した。

来年のオリンピックを盛り上げるために、和楽器で演奏できるよう編曲し、よのコーラスの合唱団の協力を得て、ラストステージで演奏し、聴衆と一緒に大合唱をした。皆楽しそうで、大いに盛り上がった。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県三曲協会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 54 回「郷土を描く児童生徒美術展」

【(一社) 埼玉県校外教育協会】

11月30日(土)～12月1日(日) 9:00～16:30

本庄市立本庄東小学校

## 当日の状況

本庄市立本庄東小学校を会場に2日間の日程で開催し、中央審査会の審査を経て選ばれた知事賞120作品を含む特選約1,000作品を展示した。

県内各所から約3,000名もの方々に御来場いただき、会場内は大変な賑わいとなった。

会場では、展示された作品の前で記念撮影を行い、作品を通じて感じた子供の成長を喜ぶ家族の姿が印象的だった。



## 成果

本美術展は、児童生徒が郷土を描き、その作品による展覧会を実施することによって、郷土埼玉に対する理解と認識を深め、郷土愛の高揚を図ることを目的としている。

当日に行ったアンケートでは、「郷土をうまく描いている絵が多く、水面や、緑の影、人の様子、自分の町の特徴をうまく描けていて感動しました」などの声が寄せられ、本事業が郷土埼玉の魅力を再発見するきっかけとなり、子供たちの健全な育成に貢献することができたと考えている。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
(一社) 埼玉県校外教育協会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 新創 彩西美術展'19

【彩西美術会】

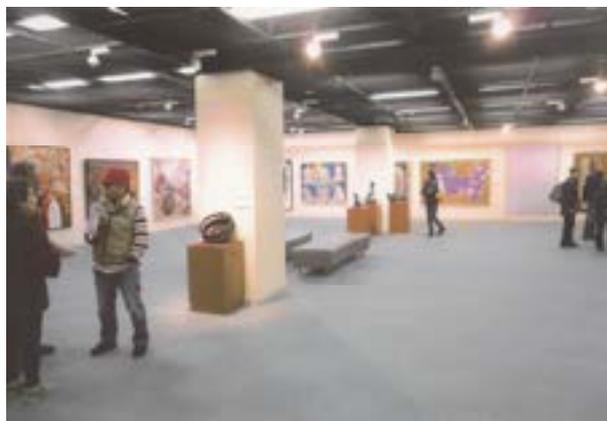
12月3日(火)～12月8日(日) 10:00～17:00

坂戸市文化会館「ふれあ」

## 当日の状況

県西部において、独創的で個性的な創作活動を展開する作家の作品を一堂に展示し、県西地域における美術理念の向上に資することを目的として、平成19年12月に「新創 彩西美術展」を開催。以来今回で13回目、県芸術文化祭地域文化事業としては9回目の開催となった。

今回も出展者61人の作品は、具象から抽象、立体作品までの幅広いジャンルに及び、89点の展示作品の傍らにメッセージ票を掲示、作者の制作意図や技法について解説。これにより鑑賞者から「作品の理解が深まった」「制作上の画法・技法の参考になった」と感謝の言辞も多々寄せられた。



## 成果

今回の来場者数は906名で、前回の13%減であった。従来11月開催が12月に変更、広報への掲載漏れPR不足などによるものと考えられる。

アンケート調査への回答は160件に及び、来場者総数の17.6%を占めるものであった。

その内の98件には記述による感想が寄せられ、「素晴らしい作品に感動」、「発想や技法・表現方法の幅広さに感銘」、「次回も楽しみ、これからも続けてほしい期待する」など高評価のものが85件も数えられた。

なお、会場受付では、先の台風被害支援のための募金を実施、坂戸市福祉総務課へ寄託した。



## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会

彩西美術会

埼玉県芸術文化祭実行委員会

# 第 62 回埼玉県北美術展

【埼玉県北美術家協会】

12月5日（木）～12月8日（日）10：00～17：00（最終日は15：00まで）

熊谷市スポーツ文化村「くまぴあ」体育館

## 当日の状況

天候にも恵まれ、4日間の観客数合計は4,008名となった。

## 成 果

779（一般500、会員279）作品を展示した。

県北美術文化の進展向上を図ると共に、美術活動をより一層高揚することができた。

各部の特徴

【絵画】大作が多く、内容も充実し、質の高い展示となった。特に、高校生4人の受賞が際立った。

【彫刻】会場も広くゆったりと陳列ができ、作品も木彫・石膏・テラコッタなどバラエティーに富んだ見応えのある展示となった。

【工芸】陶芸をはじめ、色々な分野からの出品があり、技術も向上し力作が並んだ。

【書】令和の幕開けにふさわしい、活力ある美術展になった。

【写真】全体的にバラエティーに富んだ作品が多く、写真に対する関心の強さと熱意が感じられた。



## 主 催

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県北美術家協会

埼玉県芸術文化祭実行委員会

# 第31回サンシティ市民合唱団定期演奏会「忘れられた少年」

【サンシティ市民合唱団】

12月8日（日） 14:00～16:45

サンシティ越谷市民ホール

## 当日の状況

開場を早め、オペラ「忘れられた少年」の台本制作者（石多エドワード氏）による作品解説を行い、作曲者と共にこの作品を創り上げた過程や聴き所などを話していただいた。又、子供を預けて鑑賞できるように保育室を設けた。

来場者約 600 名。

## 成果

今回は、オペラ「忘れられた少年—天正遣欧少年使節」をピアノとエレクトーンと共に演奏会形式で演奏した。演奏会形式のため、語りをいれることにより、内容をより理解していただけた。

アンケートにも「あの時代に、そのような命を受け、渡欧した少年達のことを知らなかった。」、「素晴らしい演奏！団員の精進の苦勞がしのばれる。複雑なストーリーとキャラクターを聴衆に分かり易いように工夫されている。解説によって物語の進行が助けられた。」、「病気を忘れて音楽を楽しんだ」等の声、次回演奏会への期待、励まし等を頂き大きな力となった。語りを入れたことにより、来場者はオペラの展開が分かりとても役立ったと感想を述べている。

保育室設置、障害を持っている方々、中・高校生の御招待、リハーサル公開等多方面の角度からの企画を取り入れ、幅広い層へ呼びかけをしてきなので、各層の方々に楽しんでいただき合唱音楽の裾野を広げることができた。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
サンシティ市民合唱団  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# 第 53 回全日本書道芸術展

【全日本書道芸術院実行委員会】

12月10日(火)～15日(日) 10:00～17:30

埼玉県立近代美術館

## 当日の状況

昨年より出品層が広がり、遠方からの来場者も多くなり一段と多彩になった。

## 成果

ゲスト出品の坂本冬美さんの書も好評で、「大作から墨アート作品まで幅広いので、参考になる」、「楽しい展覧会だ」との声をいただいた。

## 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会  
全日本書道芸術院実行委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# オペラ彩第 36 回定期公演オペラ「ナブッコ」

## 【特定非営利活動法人オペラ彩】

12月21日（土）、22日（日）14：00（開演）

和光市民文化センター大ホール

### 当日の状況

「バビロン捕囚」を題材にしたヴェルディの出世作、紀元前 580 年代のエルサレムとバビロニアを舞台にした壮大なオペラ「ナブッコ」を上演。日本オペラ界を代表するオペラ歌手陣に加え、ヨーロッパでオペラデビューを果たした期待の若手を主要キャストに据え、120 人の合唱、バンダ、ダンサー、俊英プロ奏者によるオーケストラと総勢 200 人を超える出演者が見事な舞台を構築した。

第 3 部で歌われるオペラ合唱の名曲、トリノ・オリンピックの前夜祭でも演奏された「行け、我が思いよ、黄金の翼に乗って」を、オペラ彩合唱団、東邦音楽大学・短期大学、放送大学埼玉学習センターコーラス部、高校生等 120 人が演奏。続いて、アンコールとして、イタリア人指揮者ヴィート・クレメンテの指揮で、来場者が出演者と共に「行け、我が思いよ、黄金の翼に乗って」を歌い、本邦初演とも言える斬新な企画が共感を呼んだ。



### 成果

稽古に次ぐ稽古を積んで臨んだ東邦音楽大学付属東邦第二高等学校、埼玉県立浦和高等高校等、埼玉県内の高校生 60 人の真摯な演奏が高い評価を得た。オペラの新しい方向性と可能性を示した公演と絶賛された。

### 主催

埼玉県 埼玉県教育委員会 和光市  
特定非営利活動法人オペラ彩  
(公財) 和光市文化振興公社  
埼玉県芸術文化祭実行委員会

# 芸術文化ふれあい事業

## 目的

学校や公民館などの身近な施設で、芸術文化団体による『体験型』の公演や実技指導等を実施し、児童生徒や地域住民と共に演じ、唄い、創るなどの交流を通して、鑑賞だけでは味わえない芸術文化活動の楽しさを実感してもらうことを目的としている。

また、こうした、ふれあい事業等を県内各地で数多く実施できる仕組みを整備することにより、文化団体と学校・地域との交流を促進し、文化団体の活性化と次代の文化の担い手の育成が図られている。

## 運営

芸術文化団体から申請のあった企画内容を、埼玉県芸術文化祭企画委員会で審査し、「芸術文化ふれあい事業バンク」メニューへの登録決定を行う。

埼玉県芸術文化祭実行委員会は、学校や公民館等と文化団体との日程調整を行うなどコーディネートする役割を担っている。

## 登録メニュー



分野	事業名	実施団体	実施地域	分野	事業名	実施団体	実施地域	
音楽	等の演奏	さくら会	さいたま市近郊	演劇・演芸	演劇	埼玉演劇クラブ 劇団 樺	県南・県北・県東地域	
	等の鑑賞会	さくら会	さいたま市近郊		和太鼓の演奏	埼玉県太鼓連盟	県内全域	
	琴と尺八の演奏	埼玉県邦楽舞踊協会	県南全域		楽しい紙芝居～つくってみよう、演じてみよう～	さいたま子ども文化研究所	県内全域	
	三曲(等、三絃、尺八)のふれあい演奏	埼玉県三曲協会	県南・県西・県東地域		伝統芸能「日本舞踊」	日本舞踊 花柳流紫女会	さいたま市近郊	
	三曲(等、三絃、尺八)のふれあい鑑賞会	埼玉県三曲協会	県南・県西・県東・県北地域		文芸	連句の実作(1)	埼玉県連句協会	県内全域
	等・三弦(三味線)の演奏	埼玉県等曲生田会	県南・県西・県北地域	連句の実作(2)		くさき	県南地域	
	等・三弦(三味線)の鑑賞会	埼玉県等曲生田会	県南・県西・県北地域	クイズ穴埋め短歌		熊谷短歌会	県内全域	
	等・尺八(いけばな等ふれあい体験)	上尾市文化団体連合会	上尾市近郊	親子でふれあい短歌作り		熊谷短歌会	県内全域	
	尺八の演奏	琴古流尺八藤寿会埼玉支部	県南・県東・県北地域	短歌		埼玉県歌人会	県内全域	
	楽しい合唱、美しい響(ハーモニイ)	埼玉県合唱連盟	県内全域	詩は若返りの妙薬です。詩で発見しましょう。		埼玉詩人会	県北地域	
	合唱、ピアノ、歌、リコーダーなど	(一社)全日本ピアノ指導者協会 Saitama虹ステーション	さいたま市近郊	生活文化		ゆかたの着装とマナー	(公社)全日本きものコンサルタント協会埼玉支部	県内全域
	ピアノ、歌、管楽器、弦楽器などの鑑賞	(一社)全日本ピアノ指導者協会 北埼玉どらみステーション	県北・県東、さいたま市			百人一首かるた	埼玉県かるた協会	県内全域
	ピアノ、歌、管楽器、弦楽器などの鑑賞	(一社)全日本ピアノ指導者協会 久喜イリスステーション	県北・県東、さいたま市			折り紙	折り紙工房	県内全域
	現代ピアノ/詩詠 朗読吟詠	玉龍吟道会	県内全域			楽しいフラワーケーキ作り	東武フラワーデザインアカデミー	県南・県東地域
	トイピアノふれあい体験	sound office 音旅舎	県内全域		楽しいコサージュ作り	東武フラワーデザインアカデミー	県南・県東地域	
	1年生 はじめての鍵盤ハーモニカ導入講座	アステリズムミュージック	県内全域		伝統文化 茶の湯	埼玉県茶道協会	県内全域	
	マイク作り(陶芸)	(公財)陶芸文化振興財団	陶芸会館(さいたま市北区)		華道	日本古流華泉会	さいたま市近郊	
	絵巻物をつくらう	さいたま子ども文化研究所	県内全域		日常生活での煎茶	埼玉県煎茶道連盟	県内全域	
美術	動くからだ・表現を楽しむ(モダンダンス・創作ダンス)	埼玉舞踊協会	県内全域	国際交流	ペルー文化を知ろう!(舞踊、あそびなど)	Fiesta Latina(フィエスタラティナ)	県北地域	
	動くからだ・表現を楽しむ(クラシックバレエ)	埼玉舞踊協会	県内全域		インドネシア民話を紙芝居で	さいたま子ども文化研究所	県内全域	
	日本舞踊	埼玉県邦楽舞踊協会	県内全域		ブラジルの伝統文化「カポエイラ(ユネスコ無形文化遺産)」をやってみよう!	Capoeira Araiye SAITAMA	県南・県西地域	
	やさしい日本舞踊	三穂の会	県内全域					
	新日本舞踊との出逢い	毛呂山芸術文化連盟	毛呂山町(毛呂山伝統文化連盟の稽古場)					
	ハワイアン フラ(フラダンス)	Na Mea Hula 'O Kamaleihulumamo	さいたま市近郊					
	ダンスで自分を表現してみよう!	川口ジャズダンス芸術教育プロジェクト	県南・県西地域					

# 芸術文化ふれあい事業バンクの活用

## 箏の鑑賞会 ／芳野保育園

- ・実施団体 さくら会
- ・実施月日 令和元年5月21日

- ・実施概要  
箏の鑑賞、演奏体験



### <体験参加者>

- 指導者 1人
- 参加者 72人
- 見学者 20人

### <参加者の感想>

ことがすごかった。えんそうもすごかった。

## ゆかたの着装とマナー ／松栄学園高等学校

- ・実施団体 (公社)全日本きもの  
コンサルタント協会埼玉支部
- ・実施月日 令和元年5月23日
- ・指導計画上の位置付け  
学校行事(日本文化)
- ・実施概要 ゆかたの着装体験と礼儀作法

### <体験参加者>

- 指導者 5人
- 参加者 10人
- 見学者 3人



### <参加者の感想>

ゆかたは着るだけではなく、姿勢やおじぎの仕方まで、気を付けなければならないことがたくさんあるんだと初めて知りました。

## 百人一首かるた ／川口市立芝樋ノ爪小学校

- ・実施団体 埼玉県かるた協会
- ・実施月日 令和元年6月14日
- ・指導計画上の位置付け  
学校行事
- ・実施概要  
百人一首かるたの体験

### <体験参加者>

- 指導者 2人
- 参加者 15人
- 見学者 8人



### <参加者の感想>

普通のかるたはやったことありましたが、百人一首かるたは初めてでした。どんどんやっていると集中してきて、楽しくなりました。次は家族とやりたいです。

## 楽しい合唱、美しい響(ハーモニー) ／川口市立芝樋ノ爪小学校

- ・実施団体 埼玉県合唱連盟
- ・実施月日 令和元年6月14日
- ・指導計画上の位置付け  
学校行事
- ・実施概要  
発声法の指導、みんなで合唱

### <体験参加者>

- 指導者 1人
- 参加者 18人
- 見学者 8人



### <参加者の感想>

色々ある歌い方を1つずつ丁寧に分かりやすく教えてくれました。手でたたくと「ラ」の音が出るおんさというものはとても不思議で貴重な体験でした。音楽会の練習でも使い、もっと上手になれるようにがんばります。

**ペルー文化を知ろう！（舞踊、あそびなど）**  
 ／行田市立北小学校放課後子ども教室地域実行委員会

- ・実施団体 Fiesta Latina
- ・実施月日 令和元年6月25日

・実施概要

ペルーの伝統音楽と舞踊の観賞、ゲーム

＜体験参加者＞

- 指導者 6人
- 参加者 60人
- 見学者 10人



＜参加者の感想＞

アンデスの風の曲はとてもきれいな曲でした。ペルーの動画をみて、山や川や動物がたくさんでした。日本の動物とちょっと違いました。ゲームも楽しかったです。

**ゆかたの着装とマナー**  
 ／県立鳩山高等学校

- ・実施団体 (公社)全日本きもの  
 コンサルタント協会埼玉支部

- ・実施月日 令和元年6月27日

・指導計画上の位置付け

授業（総合学習の時間）

・実施概要 ゆかたの着装体験と礼儀作法

＜体験参加者＞

- 指導者 6人
- 参加者 26人
- 見学者 2人



＜参加者の感想＞

礼の角度でそれぞれしっかり名前がついていることに驚き、とても勉強になりました。

いざ着てみると、思ったより難しかったけど、とても楽しかったです。

**箏の鑑賞会**  
 ／埼玉東萌保育園

- ・実施団体 さくら会
- ・実施月日 令和元年7月1日

・実施概要

箏の鑑賞

＜体験参加者＞

- 指導者 1人
- 参加者 157人
- 見学者 46人



＜参加者の感想＞

普段見られない楽器演奏で楽しませていただきました。馴染みのある曲だったのもよかったです。

素敵な演奏で癒されました。子供も楽しそうに聴いていました。

**折り紙**  
 ／行田市立太田東小学校放課後子ども教室地域実行委員会

- ・実施団体 折り紙夢工房
- ・実施月日 令和元年7月11日

・実施概要

折り紙の体験

＜体験参加者＞

- 指導者 3人
- 参加者 20人
- 見学者 8人



＜参加者の感想＞

色々な折り紙の折り方を教えてもらって楽しかったです。

外国人に「おりがみ」と言ったら本当に通じるか、実験してみたいです。

## 折り紙

### ／加須市田ヶ谷くすの木学童

- ・実施団体 折り紙夢工房
- ・実施月日 令和元年7月29日

#### ・実施概要

折り紙の体験

#### <体験参加者>

- 指導者 3人
- 参加者 25人
- 見学者 5人



#### <参加者の感想>

つるやいもむし、えんぴつなど折りました。難しいのもあったけど、先生たちが丁寧に教えてくれたので、上手にできました。

先生がつけていた折り紙のピアスや、持ってきてくれた作品は、とてもすごかったです。

## 百人一首かるた

### ／北斗キッズクラブ

- ・実施団体 埼玉県かるた協会
- ・実施月日 令和元年8月5日

#### ・実施概要

百人一首かるたの体験

#### <体験参加者>

- 指導者 2人
- 参加者 21人
- 見学者 3人



#### <参加者の感想>

はじめてやったけどたのしかったです。次はもっとたくさん取りたいです。また百人一首を教えてほしいです。

## 折り紙

### ／加須南小学校学童室

- ・実施団体 折り紙夢工房
- ・実施月日 令和元年8月9日

#### ・実施概要

折り紙の体験

#### <体験参加者>

- 指導者 4人
- 参加者 40人
- 見学者 9人



#### <参加者の感想>

羽ばたき鶴の折り方が分からなかったのですが、つくれてうれしかったです。

簡単にできて楽しい折り紙ができてうれしかったです。

## ペルー文化を知ろう！（舞踊、あそびなど）

### ／音羽の森第二保育園

- ・実施団体 Fiesta Latina
- ・実施月日 令和元年8月19日

#### ・実施概要

ペルーの伝統音楽と舞踊の観賞、ゲーム

#### <体験参加者>

- 指導者 6人
- 参加者 45人
- 見学者 10人



#### <参加者の感想>

ペルーにいる動物のことをたくさん教えてもらってよかったです。アナコンダのぬいぐるみが本物に見えました。ダンスをしたことが楽しかったです。

ペルーの民族衣装の紹介では、実際に着て見せてくれました。

## 折り紙

### ／高階西学童保育室

- ・実施団体 折り紙夢工房
- ・実施月日 令和元年 8 月 19 日

#### ・実施概要

折り紙の体験

#### <体験参加者>

- 指導者 4 人
- 参加者 51 人
- 見学者 7 人



#### <参加者の感想>

楽しく折り紙を作ることができました。折り紙はあまり得意でなかったけど、丁寧に説明してくれたおかげで上手に作れました。教えてもらった折り方をもっとたくさんの友達に教えてあげたいです。

## ペルー文化を知ろう！（舞踊、あそびなど） ／音羽の森保育園

- ・実施団体 Fiesta Latina
- ・実施月日 令和元年 8 月 22 日

#### ・実施概要

ペルーの伝統音楽と舞踊の観賞、ゲーム

#### <体験参加者>

- 指導者 6 人
- 参加者 81 人
- 見学者 17 人



#### <参加者の感想>

言葉や国の服装、動物などを教えてもらい、子供たちはとても嬉しそうでした。

日本の「ふくわらい」と同じような遊びをしたので、今度、幼児クラスで「ふくわらい」を試してみようかと思っています。

## 和太鼓の演奏

### ／高柳けやき学童クラブ

- ・実施団体 埼玉県太鼓連盟
- ・実施月日 令和元年 8 月 21 日

#### ・実施概要

和太鼓の演奏、体験

#### <体験参加者>

- 指導者 16 人
- 参加者 25 人
- 見学者 6 人



#### <参加者の感想>

初めは難しいと思っていたけど、リズムが分かったら楽しかったです。教えてくれた人たちの演奏も聴くことができ、とても迫力があってすごかったです。太鼓もいろいろな種類がこんなにもあるのを初めて知りました。

## インドネシア民話を紙芝居で ／川越西学童保育室

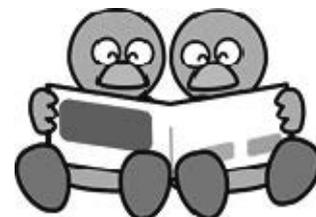
- ・実施団体 さいたま子ども文化研究所
- ・実施月日 令和元年 8 月 27 日

#### ・実施概要

インドネシア民話を紙芝居で体験

#### <体験参加者>

- 指導者 2 人
- 参加者 42 人
- 見学者 6 人



#### <参加者の感想>

トッケイの話が面白かった。トッケイを見たり、鳴き声を聞いてみたい。

インドネシアに行ってみたいと思った。

ブラジルの伝統文化「カポエイラ（ユネスコ無形文化遺産）」をやってみよう！  
／さいたま子ども食堂

- ・実施団体 Capoeira Araiye SAITAMA
- ・実施月日 令和元年9月7日

・実施概要

カポエイラの体験

＜体験参加者＞

- 指導者 17人
- 参加者 18人
- 見学者 20人



＜参加者の感想＞

初めて見て驚きました。僕と同じくらいの子  
どもでもあんなにジャンプしたりバク転したり  
できるんだな。

楽器が面白くて、音も大きくて驚いた。  
練習してみようと思った。

ペルー文化を知ろう！（舞踊、あそびなど）  
／行田市立南河原小学校放課後子ども教室地域実行委員会

- ・実施団体 Fiesta Latina
- ・実施月日 令和元年9月10日

・実施概要

ペルーの伝統音楽と舞踊の観賞、ゲーム

＜体験参加者＞

- 指導者 6人
- 参加者 22人
- 見学者 8人



＜参加者の感想＞

ペルーの踊りや映像が楽しかったです。動物  
に会いたくなりました。歌も楽しかったです。

文化を知れてよかったです。ペルーに行きた  
くなりました。

和太鼓の演奏  
／社会福祉法人 ゆたか会 ゆたか保育園

- ・実施団体 埼玉県太鼓連盟
- ・実施月日 令和元年9月19日

・実施概要

和太鼓の演奏、体験

＜体験参加者＞

- 指導者 5人
- 参加者 148人
- 見学者 25人



＜参加者の感想＞

すごかったよかったです。  
たのしかったです。  
またおしえてほしいです。

三曲（箏、三絃、尺八）のふれあい鑑賞会  
／熊谷市立男沼小学校

- ・実施団体 埼玉県三曲協会
- ・実施月日 令和元年9月26日
- ・指導上の位置づけ 教科の時間（音楽）

・実施概要

箏、三絃、尺八の鑑賞

＜体験参加者＞

- 指導者 1人
- 参加者 70人
- 見学者 11人



＜参加者の感想＞

日本の楽器はとても工夫されていると思い  
ました。どちらの楽器もとても古くから伝えら  
れたもので、いろいろな弾き方があるのにも驚  
きました。私も古くから伝わる楽器に伝統や良  
さを伝えていきたいなと思いました。

## やさしい日本舞踊

／新曽小学校放課後子ども教室（戸田市こども青少年部児童青少年課）

- ・実施団体 三穂の会
- ・実施月日 令和元年 10 月 7 日

### ・実施概要

日本舞踊の体験

#### <体験参加者>

- 指導者 3 人
- 参加者 44 人
- 見学者 4 人



#### <参加者の感想>

いっぱい踊ったり歌ったりして楽しかった。  
せんすに初めてさわって楽しかった。  
とても楽しかったのでまたやりたいです。

## 折り紙

／蕨市立北町公民館

- ・実施団体 折り紙夢工房
- ・実施月日 令和元年 10 月 16 日

### ・実施概要

折り紙の体験

#### <体験参加者>

- 指導者 3 人
- 参加者 26 人



#### <参加者の感想>

折り紙はこんなに難しく、また、こんなに素晴らしい作品ができるとは思っていませんでした。とても楽しい時間でした。

## 折り紙

／社会福祉法人 杏樹会 あずさ保育園

- ・実施団体 折り紙夢工房
- ・実施月日 令和元年 10 月 16 日

### ・実施概要

折り紙の体験

#### <体験参加者>

- 指導者 4 人
- 参加者 69 人
- 見学者 11 人



#### <参加者の感想>

年齢にあった内容で、3歳、4歳、5歳と折りやすいものを選んでもらい、子供達も楽しんで参加できていました。遊べるものを持ってきていただき、あっという間に過ぎました。

家に帰ってからも楽しそうに折り紙で遊んでいて、先生のように教えてくれました。

## ペルー文化を知ろう！（舞踊、あそびなど）

／三輪野江学童保育室

- ・実施団体 Fiesta Latina
- ・実施月日 令和元年 10 月 19 日

### ・実施概要

ペルーの伝統音楽と舞踊の観賞、ゲーム

#### <体験参加者>

- 指導者 5 人
- 参加者 25 人
- 見学者 20 人



#### <参加者の感想>

ペルーの遊びはとても難しかったけど、やってみると楽しくて何度もやりました。

ペルーの踊りは面白いステップで、試しに踊ったら楽しかったです。

ペルーの文化を知れて、自分の気持ちが元気になりました。

## クイズ穴埋め短歌

／行田市立南小学校放課後子ども教室地域実行委員会

- ・実施団体 熊谷短歌会
- ・実施月日 令和元年 10 月 21 日

### ・実施概要

短歌の体験、ゲーム

### <体験参加者>

- 指導者 1 人
- 参加者 38 人
- 見学者 8 人



### <参加者の感想>

初めて短歌をやって、最初はよくわからなかったけど、講師の先生に教わって楽しくできました。色々な短歌があって面白かったです。短歌のことが少し好きになりました。

## 楽しい合唱、美しい響（ハーモニー）

／越谷市立荻島小学校

- ・実施団体 埼玉県合唱連盟
- ・実施月日 令和元年 10 月 31 日
- ・指導上の位置づけ 教科の時間（音楽）

### ・実施概要

発声法の指導、みんなで合唱

### <体験参加者>

- 指導者 1 人
- 参加者 83 人
- 見学者 4 人



### <参加者の感想>

音楽のポイントなどを教えてもらいありがとうございました。

普段、気を付けないところを強化してくれたり、リズムの取り方を教えてもらい、うれしかったです。

## 和太鼓の演奏

／さいたま市立宮原中学校

- ・実施団体 埼玉県太鼓連盟
- ・実施月日 令和元年 10 月 29 日
- ・指導上の位置づけ

教科の時間

### ・実施概要

和太鼓の演奏、体験

### <体験参加者>

- 指導者 5 人
- 参加者 8 人
- 見学者 4 人



### <参加者の感想>

和太鼓の演奏がすごく楽しかったです。ふだん体験できない体験ができてうれしかったです。また、たたいてみたいです。叫び声がいい感じでした。

## 折り紙

／行田市立太田西小学校放課後子ども教室地域実行委員会

- ・実施団体 折り紙夢工房
- ・実施月日 令和元年 11 月 11 日

### ・実施概要

折り紙の体験

### <体験参加者>

- 指導者 2 人
- 参加者 39 人
- 見学者 11 人



### <参加者の感想>

もうすぐクリスマスだったから、プレゼントにできてうれしかったです。

折り紙は好きではなかったけど、これで折り紙が好きになって楽しかったです。また折り紙をしたいです。

## 動けるからだ・表現を楽しむ(モダンダンス・創作ダンス) ／行田市立東小学校放課後子ども教室地域実行委員会

- ・実施団体 埼玉県舞踊協会
- ・実施月日 令和元年 11 月 11 日

### ・実施概要

モダンダンス、創作ダンスの体験

#### <体験参加者>

- 指導者 3 人
- 参加者 40 人
- 見学者 8 人



#### <参加者の感想>

ダンスを練習して、色々なことができるようになりました。ダンスを発表する時はとても緊張したけど、発表したら、ダンスが上手にできたんだなと思いました。

## 短歌

### ／さいたま市立大宮図書館

- ・実施団体 埼玉県歌人会
- ・実施月日 令和元年 11 月 17 日

### ・実施概要

短歌の講義、体験

#### <体験参加者>

- 指導者 1 人
- 参加者 17 人



#### <参加者の感想>

いろいろな現代短歌に触れることができ、短歌を身近に感じることができて良かった。

短歌の学び方は、良い歌を沢山よむこととわかりました。

## ハワイアン フラ(フラダンス) ／さいたま子ども食堂

- ・実施団体 Na Mea Hula 'O Kamaleihulumamo
- ・実施月日 令和元年 11 月 16 日

### ・実施概要

フラダンスの鑑賞、体験

#### <体験参加者>

- 指導者 10 人
- 参加者 38 人
- 見学者 25 人



#### <参加者の感想>

子供もお父さんもお母さんも、みんなとても楽しく参加できました。途中、みんなで大笑いする場面もあり、すごく楽しかったです。

参加者と同じ年代の子供たちも指導に来てくれて、フラダンスへの姿勢に感動しました。

## トイピアノふれあい体験

### ／学校法人 多摩川学園 こすず幼稚園

- ・実施団体 sound office 音旅舎
- ・実施月日 令和元年 11 月 18 日

### ・実施概要

トイピアノの鑑賞、体験

#### <体験参加者>

- 指導者 1 人
- 参加者 124 人
- 見学者 11 人



#### <参加者の感想>

初めて聴くトイピアノの音色を興味深く聴く子供達でした。毎日聴くピアノの音色とは違い、自然に体を揺らしてみたり、頭を振ってみたり、聴き入っていたりと、反応も様々でした。

聴く体験と弾く体験ができ、より印象に残ったコンサートでした。

## 箏・三絃（三味線）の鑑賞会 ／入間市立東金子小学校

- ・実施団体 埼玉県箏曲生田会
- ・実施月日 令和元年 11 月 25 日
- ・指導上の位置づけ 教科の時間（音楽）
- ・実施概要  
箏・三絃の鑑賞体験

### <体験参加者>

指導者 3 人  
参加者 68 人  
見学者 4 人



### <参加者の感想>

最初はそこまで箏に興味はなかったけど、聞いていくうちに耳が癒されていき、箏って面白いなと感じました。テレビや CM よりもやっぱり生で見るほうが迫力があって聴くのが楽しくなってきます。

## 和太鼓の演奏 ／さいたま市大宮国際中等教育学校

- ・実施団体 埼玉県太鼓連盟
- ・実施月日 令和元年 11 月 30 日
- ・実施概要  
和太鼓の演奏、体験

### <体験参加者>

指導者 12 人  
参加者 18 人  
見学者 4 人



### <参加者の感想>

「体にも振動が伝わってくる」と言われ、本当なのかなと信じていない部分がありましたが、演奏が始まった瞬間に足元から頭まで全身に振動がきて想像以上に迫力を感じました。

## 楽しい紙芝居～つくってみよう、演じてみよう～ ／加須市立加須幼稚園

- ・実施団体 さいたま子ども文化研究所
- ・実施月日 令和元年 11 月 30 日
- ・指導上の位置づけ 園行事（親子ふれあいデー）
- ・実施概要  
紙芝居の読み聞かせ、作成、実演体験

### <体験参加者>

指導者 3 人  
参加者 62 人  
見学者 3 人



### <参加者の感想>

親子で紙芝居を作るという貴重な体験ができてよかった。

家庭で完成させて園で演じる時間を作ってもらい、親も子も満足であった。

表現活動のよいきっかけづくりとなった。

## 箏の鑑賞会 ／音羽の森新座保育園

- ・実施団体 さくら会
- ・実施月日 令和元年 12 月 3 日
- ・実施概要  
箏の鑑賞

### <体験参加者>

指導者 1 人  
参加者 14 人  
見学者 4 人



### <参加者の感想>

箏の弦はととてもとても硬かったです。音がとてもきれいでした。

箏という楽器を知ることが出来て、おもわず弾きたくなりました。

## 百人一首かるた

／行田市立南小学校放課後子ども教室地域実行委員会

- ・実施団体 埼玉県かるた協会
- ・実施月日 令和元年12月9日

### ・実施概要

百人一首のかるたの体験

#### <体験参加者>

- 指導者 1人
- 参加者 40人
- 見学者 9人



#### <参加者の感想>

はじめてやったので、きんちょうしたけど、もっといっぱいやってみたいきもちにもなったので、たのしかったです。

## 百人一首かるた

／熊谷市スポーツ・文化村くまびあ

- ・実施団体 埼玉県かるた協会
- ・実施月日 令和元年12月14日  
(くまびあまつりの体験教室)

### ・実施概要

百人一首のかるたの体験

#### <体験参加者>

- 指導者 3人
- 参加者 7人



#### <参加者の感想>

最初は子供だけで申し込んだのですが、親子で参加することが出来てとっても楽しかったです。

12月実施のお祭りだったので、お正月を意識した企画でよかった。

## 折り紙

／行田市立埼玉小学校放課後子ども教室地域実行委員会

- ・実施団体 折り紙夢工房
- ・実施月日 令和元年12月16日

### ・実施概要

折り紙の体験

#### <体験参加者>

- 指導者 3人
- 参加者 28人
- 見学者 8人



#### <参加者の感想>

難しいのと簡単なのがありました。ツリーが特に難しかったけど、またやりたいです。

折り紙を折ってたくさんの種類を作るのが楽しくなりました。

## 折り紙

／北川辺学童保育の会 げんきクラブ

- ・実施団体 折り紙夢工房
- ・実施月日 令和元年12月25日

### ・実施概要

折り紙の体験

#### <体験参加者>

- 指導者 3人
- 参加者 42人
- 見学者 7人



#### <参加者の感想>

最初は折り紙がきちんと折れるか心配でした。でも教えてもらったらきちんと折れました。

いろんな折り紙を教えてくれてありがとうございました。

## ピアノ、歌、管楽器、弦楽器などの鑑賞 ／しらおか虹保育園

- ・実施団体 (一社)全日本ピアノ指導者協会  
久喜イリスステーション
- ・実施月日 令和2年1月16日

### ・実施概要

ピアノや楽器演奏、歌唱やダンス

### ＜体験参加者＞

指導者 9人  
参加者 100人  
見学者 25人



### ＜参加者の感想＞

子供たちはとても楽しそうに見入っている子、一緒に口ずさんでいる子がいました。ペーパーサートを使用して、歌の内容も理解しやすく、乳児も飽きることなく参加できました。

## 箏の鑑賞会

／行田市立太田東小学校放課後子ども教室地域実行委員会

- ・実施団体 さくら会
- ・実施月日 令和2年1月23日

### ・実施概要

箏の鑑賞、演奏体験

### ＜体験参加者＞

指導者 2人  
参加者 20人  
見学者 7人



### ＜参加者の感想＞

箏に初めてさわりました。楽しかったです。ひけたのがよかったです。音がきれいでした。最初に上手と言われて嬉しかったです。今度やるときは今よりもっとうまくなりたいです。

## 和太鼓の演奏

／入間市児童センター

- ・実施団体 埼玉県太鼓連盟
- ・実施月日 令和2年1月19日

### ・実施概要

和太鼓の演奏、体験

### ＜体験参加者＞

指導者 15人  
参加者 12人  
見学者 21人



### ＜参加者の感想＞

間近で迫力のある演奏を聴けて、すごく感動しました。子供も体験できてとてもよかったです。

生の音を体感して、実際に自分も体験するのは大きいと思う。

## 箏の鑑賞会

／蕨市立北町公民館

- ・実施団体 さくら会
- ・実施月日 令和2年1月29日

### ・実施概要

箏とピアノの鑑賞

### ＜体験参加者＞

指導者 2人  
参加者 30人



### ＜参加者の感想＞

新春にふさわしい箏の演奏を聴けて大変良かったです。箏とピアノの素晴らしい響きの中で、こんなに歌ったのは初めてです。

## 箏の演奏

### ／加須市立加須北中学校

- ・実施団体 さくら会
- ・実施月日 令和2年2月6日
- ・指導上の位置づけ 教科の時間（音楽）
- ・実施概要 箏の演奏体験

#### <体験参加者>

指導者 1人  
参加者 33人  
見学者 8人



#### <参加者の感想>

箏に触れたり、体験したことがなかったので、とても新鮮な授業でした。箏の名称や弦の番号なども丁寧に教えてくださいました。最後の合奏ではあんなに上手にひけて、うれしかったです。

## 合唱、ピアノ、歌、リコーダーなど ／学校法人 南陵学園 旭幼稚園

- ・実施団体 (一社)全日本ピアノ指導者協会  
Saitama 虹ステーション
- ・実施月日 令和2年2月17日

#### ・実施概要

ピアノ、鍵盤ハーモニカのミニコンサート

#### <体験参加者>

指導者 4人  
参加者 213人  
見学者 35人



#### <参加者の感想>

園歌や季節の歌をはじめ、子ども達の親しみのある曲を楽しんでいました。大好きな曲の時は、子供たちが体を揺らしながら楽しんでいました。

## 動けるからだ・表現を楽しむ(モダンダンス・創作ダンス)

### ／行田市立南小学校放課後子ども教室地域実行委員会

- ・実施団体 埼玉県舞踊協会
- ・実施月日 令和2年2月10日

#### ・実施概要

モダンダンス、創作ダンスの体験

#### <体験参加者>

指導者 2人  
参加者 38人  
見学者 8人



#### <参加者の感想>

班に分かれて、みんなで作ったダンスを踊るのが楽しかったです。

小さいころからダンスは習っていましたが、このダンスは初めてでした。いろんな振り付けを考えて、みんなで楽しく踊れて楽しかった。

## 合唱、ピアノ、歌、リコーダーなど ／深谷市立上柴西幼稚園

- ・実施団体 (一社)全日本ピアノ指導者協会  
Saitama 虹ステーション
- ・実施月日 令和2年2月20日

#### ・実施概要

歌とピアノのコンサート

#### <体験参加者>

指導者 4人  
参加者 41人  
見学者 5人



#### <参加者の感想>

ピアノの手が早くて驚きました。歌も上手でした。一緒に歌えて嬉しかったです。真似してきれいに歌えたと思います。

ドレスもきれいでかっこよかったです。

# 埼玉県芸術文化祭 2019 協賛事業一覧

## 協賛事業とは

埼玉県芸術文化祭の期間中に県、市町村、企業、団体、学校等が行う各種芸術文化事業のうち、埼玉県芸術文化祭実行委員会会長が承認した事業である。

4月から12月にかけて、県内各地で繰り広げられた協賛事業は100事業に及んでいる。

番号	協賛事業名	主催者	開催期間	会場
1	浦和宿古本いち	浦和宿ふれあいひろば実行委員会	4月1日～12月31日	さくら車通り
2	2019年度 ピティナ・ピアノステップ	一般社団法人全日本ピアノ指導者協会	4月7日～12月24日	春日部市民文化会館 他
3	女声合唱団浦和リーダークライス 第4回定期演奏会	女声合唱団浦和リーダークライス	4月20日	影の国さいたま芸術劇場
4	ジョイフルフェスティバル2019	ジョイフルフェスティバル2019実行委員会	4月21日	武蔵野音楽大学
5	埼玉県歌人協会春季短歌大会	埼玉県歌人協会	4月21日	さいたま共済会館
6	第43回埼玉女流工芸展	埼玉県女流工芸作家協会	4月25日～28日	埼玉県立近代美術館
7	第4回関東工大クラシックカー・フェスティバル	第4回クラシックカーフェスティバル実行委員会	4月27日	関東工業自動車大学校
8	2019年度全国朗読詩舞コンクール埼玉県大会 吟詠詩舞選大会	埼玉県吟詠詩舞連盟	4月28日	久喜総合文化会館
9	埼玉県俳句連盟春季俳句大会	埼玉県俳句連盟	4月29日	さいたま文学館
10	第23回 埼玉二科展	二科埼玉支部	4月30日～5月5日	埼玉県立近代美術館
11	第19回第28回埼玉県ダンススポーツ競技大会	埼玉県ダンススポーツ連盟	5月3日	川越運動公園総合体育館
12	第36回埼玉県高等学校総合文化祭	埼玉県高等学校文化連盟	5月5日～12月22日	埼玉会館 他県内各文化施設等
13	国際書画交流展	九星書道会	5月10日～12日	ウェスタ川越
14	第17回日本春秋書院 埼玉書道展	日本春秋書院 埼玉書道団	5月10日～12日	埼玉会館
15	埼玉大学管弦楽団 第95回定期演奏会	埼玉大学管弦楽団	5月11日	埼玉会館
16	2019年度全国吟詠コンクール埼玉県決勝大会	埼玉県吟詠詩舞連盟	5月11日	川越南文化会館
17	埼玉ばら会 春のばら展	埼玉ばら会	5月18日、19日	埼玉県民活動総合センター
18	第15回影の国秋夕俳句大会	第15回影の国秋夕俳句大会実行委員会 実行委員会	5月25日	秩父神社
19	第17回 ジャパン・オカリナ・フェスティバル	ジャパン・オカリナ・フェスティバル運営委員会	5月25日	影の国さいたま芸術劇場
20	第23回合唱コンクール	賢智中学・高等学校	6月13日	春日部市民文化会館
21	第43回 一心書道会展	一心書道会	6月22日～23日	埼玉会館
22	坂園フォーラム2019和紙の星ひがしちち展	坂園フォーラム実行委員会	6月22日～29日	東秩父村和紙の星
23	第30回合唱フェスティバル	吉川市合唱連盟	6月23日	吉川市中央公民館
24	第23回 全国公募陶芸財団展	公益財団法人 陶芸文化振興財団	6月26日～7月7日	国立新美術館
25	第9回記念大会「星神楽を創し心会-ZERO」	武州星神楽「石山社中」	6月29日	ふるさと新産館
26	第41回埼玉俳句大会	埼玉県現代俳句協会	6月29日	川口総合文化センター・リリア
27	第16回埼玉工業大学CGコンテスト	埼玉工業大学	7月1日～9月6日	埼玉工業大学
28	第26回小中学生俳句コンクール	埼玉県俳句連盟	7月1日～9月20日 (表彰式 1月12日)	さいたま文学館
29	第2回埼玉・観光俳句作品募集(吟行句その他)	埼玉県俳句連盟	7月1日～9月30日	さいたま文学館
30	令和元年度埼玉県俳句連盟文化祭俳句大会	埼玉県俳句連盟	7月1日～11月23日	秩父神社

番号	協賛事業名	主催者	開催期間	会場
31	作新館行70周年記念事業 第22回 とぎの水レインボーフェスティバル	行田市教育委員会	7月7日	行田市産業文化会館
32	第26回二科会写真部埼玉支部展	二科会写真部埼玉支部	7月9日～8月16日	埼玉会館 他
33	第55回埼玉写壇展	埼玉写壇	7月10日～14日	埼玉会館
34	第32回奥西書展	奥西書人協会	7月12日～14日	坂戸市文化会館
35	公益社団法人日本尺八連盟埼玉支部 第40回定期演奏会	公益社団法人日本尺八連盟 埼玉支部	7月13日	プラザノース
36	第13回ベストブレイスダンスパフォーマンス「ゆる♥ダン」	ベストブレイス	7月13日	パストラルかぞ
37	第48回文化書道埼玉県連合会展	文化書道埼玉県連合会	7月19日～21日	埼玉会館
38	第18回さいたま市中学校演劇発表会	さいたま市中学校演劇連盟	7月23日～8月2日	プラザウエスト 他
39	第52回埼玉全国舞踊コンクール	埼玉県舞踊協会	7月26日～8月21日	埼玉会館
40	第26回彫の国ベガ俳句大会	第26回彫の国ベガ俳句大会実行委員会	7月27日	川口総合文化センター・リア
41	第45回日本フィル夏休みコンサート2019	公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	7月27日	ソニックシティ
42	第57回公募新構造埼玉展	一般社団法人 新構造社埼玉支部	7月30日～8月4日	県立近代美術館
43	第24回埼玉県書道芸術展	埼玉県書道芸術連盟	8月8日～11日	埼玉会館
44	令和元年度草加市県展作品展	草加市	8月9日～8月14日	草加市文化会館
45	夏休みSP！子どもも楽しむ「神楽盆」第16回「舞の会」	武州里神楽「石山社中」	8月11日	和光市民文化センター
46	第42回 墨展書展「墨の祭り」	墨展書道会	8月15日～19日	埼玉会館
47	第62回埼玉県合唱コンクール	埼玉県合唱連盟	8月17日、18日、31日	サンシティ越谷 ソニックシティ
48	第12回KLLNチャリティー「藍〇座」越谷公演-7	越谷市生涯学習民間ネットワーク協会	8月25日	越谷市中央市民会館
49	第4回草加和太鼓祭り	草加市	9月1日	草加市文化会館
50	朝霞市県展作品展	朝霞市博物館	9月7日～23日	朝霞市博物館
51	第17回先駆ける美術展	先駆ける美術の会	9月10日～15日	春日部市中央公民館
52	秋のとめきち芸術祭 ベビーカーコンサート	特定非営利活動法人 共同生活推進協議会	9月16日	戸田市新福祉センター
53	うどん香座イン清風	加須落語愛好会	9月21日	クレア清風
54	2019 生涯学習フェスタ ヴィーボク1Ⅱ	一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 Sazama紅ステーション	9月21日	彫の国さいたま芸術劇場
55	第16回児童・生徒書道展	埼玉県立大宮光陵高等学校	9月22日	埼玉県立大宮光陵高等学校
56	第45回マーチングバンド・バンドウォーリング埼玉県大会	マーチングバンド・バンドウォーリング埼玉県大会実行委員会	9月23日	さいたまスーパーアリーナ
57	秋のとめきち芸術祭 絵画展とベビーカーコンサート	特定非営利活動法人 共同生活推進協議会	9月23日～10月3日	ギャラリー桜光寺 調和コミュニティセンター
58	第56回飯能市文化祭	飯能市教育委員会	9月25日～11月30日	飯能市市民会館 他
59	彫の国プラチナフェスティバル 第30回いきいき創作展	公益財団法人いきいき埼玉	9月26日～29日	埼玉会館
60	アートフェスタ2019	アートフェスタ実行委員会	10月1日～12月28日	埼玉県こども動物自然公園
61	さいたま吹奏楽カーニバル2019	さいたま吹奏楽カーニバル2019実行委員会	10月5日	さいたま市民会館おおみや
62	第22回 羽生市 吹奏楽フェスティバル	羽生市教育委員会	10月5日	羽生市産業文化ホール
63	第14回「幼児絵画展」	国際学院埼玉短期大学	10月12日、11月9日～10日	国際学院埼玉短期大学
64	第56回草加市華道展	草加市	10月13日	アコスホール
65	みんようまつり2019	津軽三味線貫治会	10月14日	飯能市市民会館

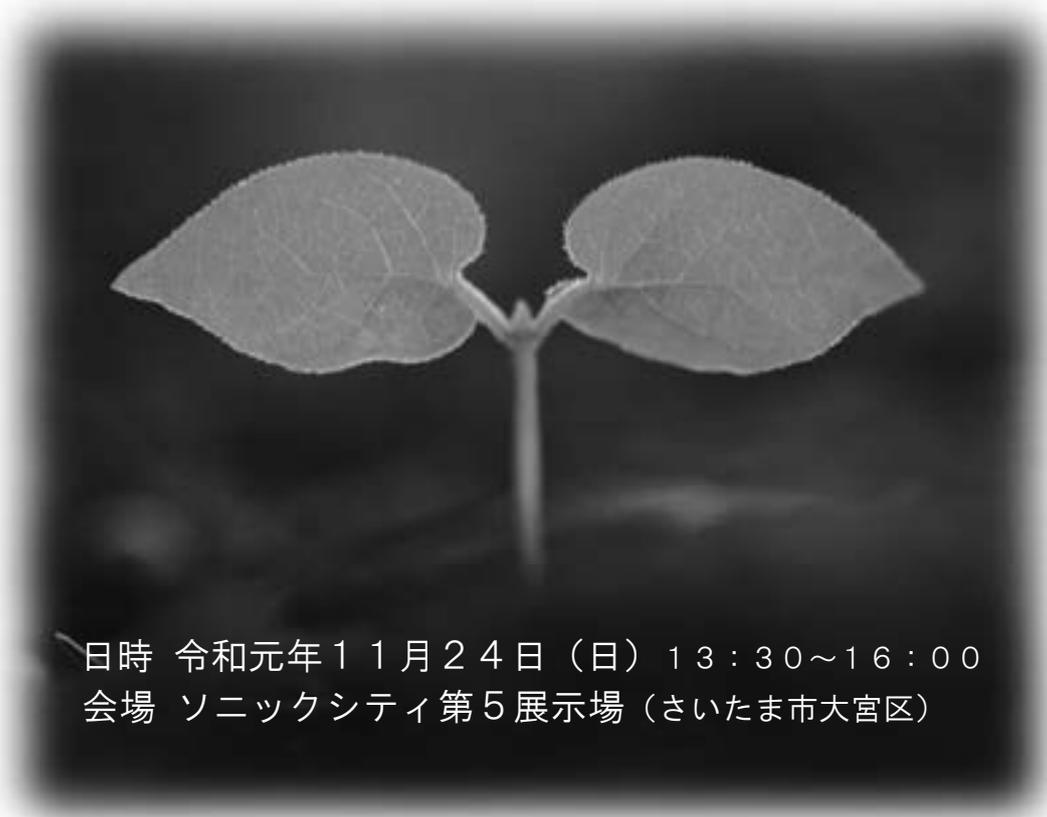
番号	協賛事業名	主催者	開催期間	会場
66	埼玉県邦楽舞踊協会 三曲・舞踊・公演	埼玉県邦楽舞踊協会	10月14日	越谷サンシティ
67	第49回 文化祭	埼玉県民謡協会	10月14日～27日	さいたま市プラザウエスト 他
68	第40回鶴ヶ島市文化祭	鶴ヶ島市文化団体連合会	10月15日～11月17日	鶴ヶ島市役所 他
69	第120回埼玉県歌人会秋季短歌大会 及び創立65周年「埼玉歌集」第12集刊行記念会	埼玉県歌人会	10月19日	さいたま共済会館
70	埼玉県書道芸術家連盟展	埼玉県書道芸術家連盟	10月19日～20日	春日部市中央公民館
71	第40回さいたま邦楽協会演奏会	さいたま邦楽協会	10月20日	ソニックシティ
72	第73回川口市文化祭 市民俳句大会	川口市俳句連盟	10月20日	川口総合文化センター・リリア
73	市制施行65周年記念 鴻巣市市民文化祭	鴻巣市・鴻巣市教育委員会	10月20日～11月10日	鴻巣市文化センター 他
74	第45回公募展 伊奈町美術展覧会	伊奈町教育委員会	10月22日～27日	伊奈町総合センター
75	第37回草加市美術展	草加市	10月25日～11月2日	アコスホール
76	令和元年度 詩吟・吟舞 泉心流 合同発表会	詩吟・吟舞 泉心流	10月27日	上尾市文化センター
77	中学生・高校生のための第10回日本管絃打楽器ソロコンテスト	東邦音楽大学	10月27日～1月19日	埼玉予備 東邦音楽大学 本通・文芸記念演奏会 東邦音楽大学
78	新産快速みらい都市市民まつり第55回文化祭	新産快速みらい都市市民まつり文化祭実行委員会	10月31日～11月17日	新産市民会館 他
79	第27回「映像コンテスト」	国際学院埼玉短期大学	11月9日～10日 (第2次審査会・表彰式11月1日)	国際学院埼玉短期大学
80	志木市民文化祭 志木菊花展	志木菊花会	11月2日～4日	志木市民会館
81	第6回JBA埼玉県都会アンサンブルコンテスト	公益社団法人 日本吹奏楽指導者協会 関東甲信越支部埼玉県支部	11月2日～4日	埼玉不動岡高校 プラザウエスト
82	ART・BLUE展	新産総合技術高等学校	11月3日～4日	さいたま市宇宙劇場
83	第48回私学文化祭	一般社団法人 埼玉県私立中学高等学校協会	11月3日～4日	埼玉会館
84	第34回久喜市芸術財文化祭	久喜市芸術財文化団体連合会	11月3日～10日	久喜市芸術文化会館
85	第6回クラシックバレエの夕べ	川口市クラシックバレエ連盟	11月4日	川口総合文化センター・リリア
86	第33回 現代書法芸術家連盟書道展覧会	現代書法芸術家連盟	11月7日～9日	サンシティ越谷
87	第54回マーチングバンド関東大会	日本マーチングバンド協会関東支部	11月9日、10日	さいたまスーパーアリーナ
88	第56回 文化の祭典	春日部市文化連合会	11月9日、10日	春日部市民文化会館 春日部市教育センター
89	第19回 羽生市文化祭	羽生市教育委員会	11月16日～17日	羽生市民プラザ
90	第7回 影の国埼玉 ジュニア杯の祭典	埼玉県太鼓連盟	11月23日	深谷市川本公民館
91	お華と一緒に歌いましょうin木庄市「はにぼんプラザ」	全国生涯学習音楽指導員協議会 埼玉支部	11月24日	はにぼんプラザ
92	第28回中学生作品コンクール	木庄第一高等学校	11月30日	木庄市民文化会館
93	絵本deオペラ カエルの玉様(グリム童話より)	るーぽ	12月1日	上戸地域交流センター
94	埼玉大学管弦楽団 第96回定期演奏会	埼玉大学管弦楽団	12月14日	埼玉会館
95	東京電機大学理工学部公開講座「オーケストラを聴こう！」	東京電機大学理工学部	12月14日	東京電機大学
96	図書館と市民のつどい埼玉2019	埼玉県図書館協会	12月15日	さいたま学芸館
97	浦和学院美術展2019	学校法人明星学園 浦和学院高等学校	12月22日～24日	埼玉会館
98	コンサートxおしばい「ベートーヴェン物語」	一般社団法人 みむみむの森芸術文化振興グループ	12月24日	影の国さいたま芸術劇場
99	2019 さいたまアンサンブルフェスタ	2019さいたまアンサンブルフェスタ実行委員会	12月25日、26日	影の国さいたま芸術劇場
100	令和元年度埼玉県立新産総合技術高等学校コーラスのなかまたち地域交流演奏会イベント	埼玉県立新産総合技術高等学校	12月27日	ふるさと新産館



# 未来へ種をまく。

## — 芸術文化の役割を考える —

< 報告 >



日時 令和元年11月24日(日) 13:30~16:00

会場 ソニックシティ第5展示場(さいたま市大宮区)

基調講演 「芸術文化の果たすべき社会的役割は何か」

パネルディスカッション

「若い世代の成長に芸術文化が寄与できること」

## 基調講演

# 「芸術文化の果たすべき社会的役割は何か」

### 講師 衛 紀生

(可児市文化創造センター館長兼  
劇場総監督)

文化庁、芸術文化振興基金運営委員会、  
財団法人地域創造などの委員を歴任。

平成28年度 芸術選奨文部科学大臣賞  
(芸術振興部門) 受賞。

平成20年に岐阜県の可児市文化創造セ  
ンター(愛称アーラ)の館長兼劇場総監  
督に就任。文化芸術が、様々な立場に  
ある人々に社会参加の機会をひらく社  
会包摂の機能を持つことを長年に渡り  
訴えている。



皆さん、こんにちは。今日お話ししようとするを以前、同志社大学の創造経済研究センターでしゃべった時は3時間かかりました。今日は時間が限られているので、かなり省略して話します。

今、実は2011年を契機に7年間かけて、文化政策が大きく180度変わりました。もっぱら「愛好者」を対象にしてきた文化政策が、もはやそのような場合ではない、ということになったのです。私共の劇場(可児市文化創造センター、愛称アーラ)は社会包摂(ソーシャル・インクルージョン)型劇場経営というのをやっていて、非常に短期間で来館者が50万人近くになってきました。それは別に「愛好者」が増えたわけではないという話をしようと思っています。

戦後、日本は文化政策に関して、戦意高揚に利用された戦中の反省から、ほとんど手を出さない状況で、当時の文部省なども、功労者を顕彰するという機能のみ特化してやってきました。その後1990年に芸術文化振興基金が創設されるなど、経済的な支援も始まりました。

しかし、2011年2月8日に閣議決定された「文化芸術の振興に関する基本的方針(第

3次基本方針)」を嚆矢として、大きく日本における文化政策が変わってきます。

この基本方針に、文化芸術の社会包摂機能も注目されつつある、という文言が入っています。従来、社会的費用（コストや重荷）として捉える傾向もあった文化芸術の公的支援に関する考え方を転換して、社会的必要に基づく戦略的な投資と捉え直す、という文言が出てきます。

「社会的必要」ということですが、これまではそうではなく、ウォンツ（「愛好者」の欲求）に基づいていました。つまり、これまでは、補助金を出した時などにアウトプットとして、「何日間やって何人動員しましたか」ということだけが問題になっていました。

今後は、ニーズ（社会的必要）に基づく戦略的な投資として、「何が変わったか、変化したか」というアウトカムをしっかりと求められるということになります。そのために税金を投入する、だから投資なのです。それによって社会を変える、あるいは社会で生きづらさ、生きにくさを感じている人たちの環境を変えなさい、でなければ公的な資金を出す意味がないということを言っているのです。

私は、1990年から始まったものは、文化芸術を保護するための政策として、**文化政策2.0**と呼んでいます。その後、一つの到達点として現在は、戦略的投資として変化とアウトカムを求める**文化政策3.0**の時代になっていると思います。

先ほど紹介した第3次基本方針に引き続いて、2012年いわゆる**劇場法**というものができて、その翌年、3月29日に閣議決定されたのが「**劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針**」です。この指針で注目していただきたいのは、「教育機関、福祉施設、医療機関等の関係機関と連携・協力しつつ、年齢や障害の有無等にかかわらず利用者等の社会参加の機会を拡充する観点からの様々な取組を進めること」という文言です。

2001年に**文化芸術振興基本法**ができた頃に、もしこれを言っていたら、文化団体からもすごいクレームが出たはずです。教育はまだ分かります。なぜ福祉施設、医療機関なのか。高齢者の健康寿命を延ばすことによって医療費が抑制されるからです。

そういう意味で、この文言が大臣指針に入ったということで、恐らくアーティストの方たちや文化団体は相当抵抗感を持ったはずです。今でもあります。私は日本劇団協議会の理事をしていますが、つい先日、日本オーケストラ連盟の事務局長さんとそんな話をしました。オーケストラも劇団も、20代30代のアーティストは全然抵抗ないのです。自分たちが蓄積してきたスキルはどのように社会に役に立つのかということに非常に興味があるのです。だけど、50代60代は全く駄目です。文化はそんなものに使われるものではない、自分の演奏技術がどれだけ役に立つのかという反論をする、全く無関心です。愚かとか言いようがないです。そんなことだけのために芸術をやっているならやめてしまえ、というのが私の考えです。

今なぜ、文化政策3.0なのかということですが、第3次基本方針から7年近くかかって「文化経済戦略」（2017年12月27日閣議決定）が出ました。

その後、昨年6月に文部科学省設置法の一部改正がありました。どういう改正かというと、「文化というのは各省庁にまたがるものであって、文化庁プロパーばかりで文化庁が機能するのはあまりふさわしくない、文化庁はあらゆる省庁にある文化に対するその事業を取りまとめて、事務局的な役割を果たしなさい」という趣旨を2017年11月に芸術文化振興議員連盟が提言しています（「文化行政の機能強化のための組織体制と文化予算の拡充に関する提言」）。そのとおり、文科省設置法が改正されました。

現実には、去年の10月から厚労省や外務省、経産省の、象徴的に言えば、机がどんどん文化庁に移動してきています。どういうことかということ、課長、室長クラスがどんどん外から文化庁に入ってきています。つまり、文化というのは、文化の「愛好家」のためだけにあるのではないということが、現実に国の組織として表れてきています。

私は、変わったときに、文化庁の中がどうなっているか分からなくなりました。どこに誰の机があるのか分かりません。今まで文化庁プロパーとしてやっていた方は、参事官などの名前で何となくまとめられてしまっていて、課長クラスと室長クラスは、結構、外の省庁の人間が多いです。



少し話を変えますが、G. エスピーアンデルセンは、戦後大いに進捗した工業化社会では、経済成長による企業内福祉と年功序列型の給与体系によって、若年労働者から教育費等がかさむ世代への所得移転が行われた、と言っています。家事労働と子育てや介護を担う UNPAID WORKER、すなわち女性によって「家族主義的社会主義」が堅持されたのです。

1年で10パーセント以上給与が伸びたような時期がありました。会社からもらう給料が多い、それから企業内福祉として社宅、保養所をやっている。その中で家族が抱えている問題は家族の中で解決できる余裕があったのです。これは日本独特の方法だということです。雇用調整助成金も元々終身雇用を守るための労働政策だったのです。

それが大きく変わりました。成果主義が、アメリカなど外国から入ってくることによって、人材の流動化が、さも良いことのようにいわれました。労働者派遣法の改正などを背景に、経済的な分断が起こると家族の機能が不全になってくる。起こるべくして福祉社会の機能不全、劣化、排除ということが起こってきて、今は大変不安定な社会になっています。

だからこそ、そこから、網の目から漏れた人たち、あるいは初めから漏れている子供たち、親の貧困などのために漏れている子供たちに対して、どのように文化が働きかけるかということが求められます。

私は、アンソニー・ギデンズの「ポジティブ・ウェルフェア (Positive Welfare)」という考え方を再評価すべきだと思います。アンソニー・ギデンズは終わった人のように思われていますが。ウェルフェアは日本語で「積極的福祉」と訳していますが、少し違います。日本で福祉というと、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉など弱者救済のためのものです。しかし、ウェルフェアの「フェア」とは旅のことなのです。生まれてから亡くなるまでの一生を「良き旅」にするための手当てのことをウェルフェアといっているのです。

ウェルフェアというのは、もともと経済的な概念ではない、満足すべき生活状態を表す心理的な概念である、ということをアンソニー・ギデンズは言っています。だから、経済的給付や優遇措置だけではウェルフェアは達成できない、福祉のための諸制度は、経済的ベネフィットだけではなくて、心理的なベネフィットを増進することも心がけねばならない、ということをギデンズは言っています。それが文化芸術の役割です。

自己肯定感を持っている、承認欲求を得ている、生きていていいのだ、自分を必要としてくれる誰かがいるのだ、という心理的なベネフィットを増進するのが、実は劇場の役割であり、文化芸術がやらなければいけないことです。

もちろん、ものすごくクラシックが好きで心が癒やされて、クラシックを聞くたびにとても生きる意欲が湧いてくる、それはOKです。でも、はなからクラシックに近寄れない、一種の心理的な壁を持っている人がいる。だとすれば、どうしたらいいのか。それも今日お話ししたいことです。

孤立しがちな人々の、生きる意欲を醸成して、そのポテンシャルを社会の発展に反映する仕組み、社会包摂による誰も排除しない全員参加の共生社会をつくることが重要です。

私が入っている「文化経済学会<日本>」の中では、ウェルフェアという言葉で日本

---

語にするとちょっとなあ、とっています。これは「エデュケーション」が日本語の「教育」と少しニュアンスが違うのと同じです。われわれは最近「ウェルビーイング (Well-Being)」という言葉を使っています。幸福・健康という意味です。このための総合政策として、あるいは総合政策拠点として、劇場・音楽堂を政策的に位置付けるということになります。劇場法より、もう少し先に行っている感じになります。

そのように、時代は今進んでいて、NPOなどはもうフットワークがいいですから、教育型NPO、福祉型NPO、保健医療型のNPO、共生社会・多文化型のNPO、みんな文化を活用し始めています。なぜなら、文化というのは人と人とのつながりをつくるからです。今の社会が駄目なのは、つながりが貧困だからなのです。つながりがないので孤立していくのです。

文化庁は、こうした広がり、実は困惑しています。2017年7月に「**「新・文化庁の組織体制の整備と本格移転に向けて」のポイント**」という文書が出ました。この中に国家行政組織としての文化庁の課題として次が挙げられています。

- 文化芸術概念の拡張への対応と、資源としての活用策が不十分
- 政策の基盤となる調査研究や効果分析が不十分

文化芸術概念の拡張、日々広がっていく社会包摂、そのようなものを活用しているのか。資源としての活用策が不十分すぎる、という自己批判です。追いついていませんということです。

また、政策基盤となる調査研究、その効果、アウトカムがどうだったのか、変化がどう起こったのかという効果分析が不十分である、これも実は自己批判です。つまり、文化庁自体が付いて行けなくなっているぐらいすごいです。

NPOの方がどんどん進んでいる一方、私共の劇場を含め、劇場・音楽堂ではあまり進んでいません。劇場は、いまだに鑑賞事業中心です。地方の劇場だと、東京から何かを買って、福祉配給的に鑑賞してもらおうというやり方では、動きが取れません。でも、地域の課題に向き合っている人たちがいないわけではありません。

積極的な福祉政策としての、あるいは総合政策としての文化行政とは何なのか。社会政策全般、それも予防社会政策として Well-Being のための文化政策であるということが出来ます。

つまり、事が起きてから動いたら、お金がかかるのです。病気でもそうでしょう。悪くなってから病院へ行ったらお金がかかるのです。そのために、文化による予防医療政策として、イギリスで「**社会的処方箋活動**」というものが行われています。

例えば、喘息にかかっている医者に行くと、少量の喘息治療薬を処方すると同時に、あそこのホールに行って合唱団に入りなさい、という処方箋が書かれます。それは、もっと悪くなる前に予防するためです。悪化するとその分医療費がかかりますから。

これは英国芸術評議会とナショナル・ヘルス・サービス（英国の国営医療サービス事

業)が提携して、もう既に20年ぐらいやっています。

私は、文化が持っている非常に多様な力を活用した予防的な社会政策として、保健医療だけではなく、教育・福祉・多文化という面でも、やるべきではないかと思います。事が起きてから動く、コストがかさむだけです。今は厚労省も国交省も受け身に出ています。

「社会疫学」の知見に基づく社会的処方箋の活用は、もうイギリスで始まっています。つまり、貧困、あるいは孤立、孤独というものが、病気を発生させ、寿命を短くするという社会傾向があるという視点から、社会的処方箋活動が行われているのです。

また、「社会貢献型マーケティング(CRM)」や「共創価値創造(CSV)」という方法があります。誰かと一緒に、例えば市民と私共の劇場と一緒に価値をつくることによって、社会的な機関としての責任を果たす、それによって鑑賞者開発と支持者開発、あるいは支援者開発、資金調達環境を改善するということを成立させるのが、私共アーラの経営です。昔は、このようなところに目が全然行っていませんでした。

この後のパネルディスカッションで堀貴雄先生(岐阜県教育委員会教育次長)がお話されると思うので簡単に触れますが、当時の岐阜県教育長から高校で演劇のワークショップを手伝ってくれと言われて、岐阜県立東濃高等学校に行きました。

行ってあ然となりました。荒れているのかと思ったら荒れていない、荒れる気力もない生徒たちの高校でした。1年生でワークショップをやった年の生徒から、実は退学者が極端に減りました。

日本財団が「子どもの貧困の社会的損失推計」というレポートをまとめています。40歳時点の就業率は、高校中退者を含む中卒者では76.6パーセント※1です。つまり4人に1人が無業者で、おそらく生活保護など社会保障の受給者です。

高校を卒業できると就業率は89.9パーセント※1になります。つまり無業者は10人に1人になります。あとの9人は納税者、社会保障の負担者になります。

このデータで見れば分かります。格差を問題にするのであれば、それをどうするのかということを考えなければいけません。

東濃高校でのワークショップでは、SROI(社会的投資収益率)※2による政策根拠の測定を、私共アーラと可児市、それから日本劇団協議会で始めました。

2年間で30人の高校中途退学を防いだことを短期的に(現在価値として)見ると、SROI値は初年度9.86でした。つまり、投じた予算100万円につき、986万円の行政コスト・社会コストを下げたことになります。具体的には、2016年の事業予算(インプット)が193万円で、1,902万7,394円の社会コスト削減効果(インパクト)が出たと算出しました。なお、次年度のSROI値は16.7でした。

中長期的にどうかということですが、中卒者と高卒者の生涯賃金の差が約1600万円だとすると、30人が高校を卒業することで、およそ4.8億円の経済損失を防いだこと

になります。個人の所得にとどまらず、社会的にも、租税の負担や社会保障の負担の点で影響します。

日本財団 子どもの貧困対策チームによると、今のゼロ歳から15歳の子供全員が、何も手を施されずにそのまま育っていくと、所得の減少額はおよそ42兆9,000億円※1になってしまいます。財政収入の減少額は15兆9,000億円※1に達します。

※1 日本財団 子どもの貧困対策チーム (2016) 『徹底調査 子どもの貧困が日本を滅ぼす 社会的損失 40兆円の衝撃』 文藝春秋 参照

※2 SROI (社会的投資収益率)

Social Return on Investment の略。米国の財団 REDF によって開発された定量的社会インパクト評価の仕組み。社会的な活動に対して投じられた資金やリソースによる事業実施の結果発生したアウトカムを社会的なインパクトとして捉え、定量的評価を行う。

アウトカムの貨幣価値換算価額の合計

$$\text{SROI 値} = \frac{\text{アウトカムの貨幣価値換算価額の合計}}{\text{インプットの貨幣価値換算価額の合計}}$$

(伊藤健・玉村雅敏 (2015) 「社会的投資収益率 (SROI) 法の発展過程と手法的特徴」 より)

だから、落ちこぼれなどという言葉はおかしい、僕ら劇場関係者、文化芸術関係者は決して言うてはいけない言葉です。

文化芸術が持っている社会包摂機能を使って彼らを何とかすることによって、仲間づくりや安心できる場所を見つけることに手助けする。この触媒の役割が文化芸術です。演劇やダンスや音楽そのものが、彼らに生きる意欲を生ませるわけです。「誰か」がその人間に生きる意欲をつくるのです。その「誰か」を見つけるための触媒として、文化芸術が機能するということです。これが文化芸術の社会包摂機能ということです。

可児市は、中学校で非常に陰湿ないじめ事件が起きて全国ニュースになったとき、自治体として初めて、子供のいじめ防止に特化した条例をつくりました。その頃、私共アークは小学校3～4年生を対象に、いじめ防止、仲間づくりのワークショップを行っていました。それによって、有意にいじめの認知件数が減ってくるという状況になりました。その後、「中学も落ち着いてきた」という話になって、調査をかけたところ2.31というSROI値が出ました。

ところが、誰とは言いませんが、ある芸能人が「いじめをやめましょう」と言って歌と踊りの舞台をやったら、わずか0.21というSROI値しか出ませんでした。単にいじめをやめようというだけでは、何の役にも立たないのです。それよりもクラスメート

の中で「誰か」を見つける、「誰か」と出会う機会をつくることで、承認欲求が充足して自己肯定感を持てるようになり、基本的にいじめは少なくなるのです。

私共の劇場（アーラ）が行っている他の事業としては、「ココロとカラダの健康ひろば」が、高齢者の健康寿命の延伸に対して 3.47 という SROI 値が出ました。確実に健康寿命が延びています。「親子 de 仲間づくりワークショップ」という事業では、乳幼児を育てている母親の孤立防止について効果を SROI 値で 1.46 と算出しました。地域の中で、ひとり親家庭が孤立しないよう、ひとり親家庭の家族同士で行うワークショップは、SROI 値が 1.76 です。

日本劇団協議会では、3年前から各地の文化芸術による社会包摂事業についてインパクト調査をしています。

東北大学医学部の佐々木英忠先生と藤井昌彦先生が、認知症患者に向精神薬が過剰に投与されることへの対策として、「演劇情動療法」というものを開発しました。演劇情動療法を行うと何が起こるのか。歓喜情動指数が 80 パーセント上昇して、有意に症状が軽減されます。

昨年藤井先生に電話して、藤井先生が院長をなさっている仙台富沢病院の入院患者さんを対象に、演劇情動療法による減薬・介護費抑制を数値化してくださいとお願いしました。

そうしたら、認知症患者 1 人につき 1 年で 3,200 円の減薬・介護費が抑制されると算出されました。たった 3,200 円とお思いでしょうが、もともと藤井先生がやっている病院ですから、薬は少ないのです。

もうすぐその 2025 年には、65 歳以上の認知症患者が 675 万人出るという予測があります。5 人に 1 人です。そうすると、高齢者の認知症を予防できれば、莫大な医療費が抑制できる可能性があります。当然、厚労省は関心を示します。

このようなエビデンスをつくっていくのが、私たちの仕事であると思っています。アーティストの仕事ではありません。少なくとも、マネジメントする側の、文化政策における文化予算を増やしていくための重要な仕事の一つだと、私は思っています。

アーティストの支え方が変わってくるということです。予算が減るようなエビデンスではなく、増えるエビデンスをとにかく出していくことによって、アーティストを支えます。

最近私は、就学前教育をやらなければいけないと思っています。東濃高校や小学校でのワークショップの話をしました。が、中学校でも、私共の劇場と提携しているリーズ・プレイハウス（英国リーズ市の劇場）の人間に入ってもらってワークショップをやっています。

一番大事な非認知能力の相続ということが、家族が機能しないと働かない。東濃高校

---

の先生たちは、問題のある生徒たちの家族は機能していないと言いました。家族が機能していないと、本来は家族や地域のコミュニティーによって相続されていた自制心、協調心、寛容性、利他的な心、やりきる力、つながる力、対人共感性、社会的規範、社会道徳等の自立するための非認知能力が相続されない、機能しないのです。

そうであれば何とかしなければいけないというのが、私共の考えです。実は、文化芸術で就学前教育をやりたいのです。2000年にノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・J・ヘックマンによると、就学前教育に社会的投資、教育投資をすることが、将来的な社会の健全さを担保するということです。

ヘックマンが引用しているのが、1962年から5年間米国のミシガン州で行われていた「ペリー就学前教育」という社会実験です。貧困層のアフリカ系未就学児を対象に教育プログラム（学習や家庭訪問での指導）を実施したところ、プログラムを受けていない者に比べ、学力、認知能力が上がって、将来的な所得も圧倒的に違ってくる、犯罪率も違ってくる、生活保護を受ける人も確実に減ってくるという結果（約40年に渡り追跡調査）が出ました。

つまり、家族が機能していないところで、その代わりに就学前教育をやることで、明らかに変わるということで、私共も館長グループで勉強しています。

ところが、残念ながら、私共の劇場の指定管理料はもういっぱい、これ以上増えません。市長のところへ伺ったら、それは大事なことだと。今まで、高校や中学、小学校、あるいは乳幼児にやってきたけれども、それは穴の開いた鍋に水を注いでいたのと同じではないかという言い方をされました。

鍋の穴をふさぎたい、そのためには就学前教育を絶対にやらなければならない、可児市の未来に種をまく、種をまかなければいけないと思ったのですが、予算が増えない、人も増やすことができません。専門の職員、保育士資格か幼稚園教諭の資格を持っている、しかも文化で働きたいと思っている人を1人張り付けると、およそ1,200万円は最低かかります。1,200万円出してくださいというわけにはいかないことになっていて、市長は「クラウドファンディングでやったらどうか」と言いました。クラウドファンディングは突然シャットダウンすることもあるので、これは5年、10年、15年、20年という追跡調査をしないと、エビデンスは出てこない事業なので不適であると思いました。平田オリザさんは、豊岡市の演劇のワークショップをクラウドファンディングでやるようですが。

では、もし可児市が税金でやったらどうなるか、これは公募しなければいけなくなります。恐らく就学前教育をやるに公募したら、教育ママたちがこぞって応募してくるでしょう。本当に来てほしい子供が来ません。本当に来てほしい子とはどういう子か。非課税世帯の子供です。この子たちを何とかしなければいけません。

大事なことは、一緒にものをつくること、それからルールを自分たちで決めることです。それで、調和して新しい価値をつくるということをやらなければいけません。それ

ほどやさしいことではありません。

このような非認知能力の相続を何とかしなければいけない。家族が機能しない以上、税金で設置運営する劇場でやりたいとは、今考えています。しかし、今は考えるしかことができていないので忸怩たる思いです。



次に、高齢化社会の財政、医療扶助の負担緩和についてです。イギリスも今同じ状況です。孤独と孤立が課題です。孤独担当大臣ができて、その下に**ジョー・コックス孤独問題対策委員会**というものができました。ジョー・コックスは、ブレグジットを巡りウェストヨークシャー州で暗殺された、労働党の女性議員の名前です。保守党の内閣がつくった委員会ですけれども、彼女は孤独と孤立の解消ということを一生懸命やったので、彼女の名前が付いたのです。

孤独と孤立によってもものすごい経済損失が生じます。孤独を防ぐことによって何が起るか。これは話のネタとして面白いと思うのですが、孤独と孤立は1日にたばこを15本吸ったのと同様の健康被害があるそうです。今、私どもは母子寡婦福祉連合会とのワークショップをやっています。孤立防止の活動です。

それから、私共の劇場（アーラ）では「**あしながおじさんプロジェクト for Family**」という事業を実施しています。家族が機能しない、親が忙しくてほとんど話す機会がない、という家族をアーラがやっている音楽、演劇に家族ぐるみで招待をして、家族で同じ体験をして、コミュニケーションをする機会を取り戻してもらおうという事業です。

その他、今、更生保護女性の会との薬事犯を中心とした保護対象者の再犯防止プログラムをやろうと進めています。

2008年からアーラの館長となり、客席稼働率も伸びているし、観客動員数も368パーセント伸びました。パッケージチケットに至っては8.75倍になりました。すぐ目の前でお客さん呼び込むのではなく、3年、5年、10年先を見据えることが必要なの

です。お客さんだけでなく、資金調達する環境も激変します。

つまり、ソーシャルブランディング、社会的ブランドをつくることです。愛好者を増やす活動ではないのです。支持者、支援者、擁護者をつくることです。これによって、全住民のうち2パーセントたらずの愛好者に寄って立っていた劇場が、地域を全て視野に入れたものになります。

例えば、ある息子さんが2年半かけてお母さんを説得して特養に入れました。でもお母さんは部屋から出てこないで、ふさぎこんでいる。そのお母さんが、アーラのワークショップに参加して笑顔を取り戻した。特養の職員が息子さんに「お母さん、笑ったよ、隣の何々さんとお友達になったみたいだよ」と報告をする。その息子さん自身は「クラシックは眠くなるし、芝居は理屈っぽくて嫌だ」と言ってアーラには行かないのです。けれども「アーラはあっていい」と言います。2次的な受益者になっているからです。何も本人が劇場に来なくてもいいのです。私共の劇場を支持してくれればいいのです。税金を使うことに賛意を示してくださればいいということが、私の考えている経営です。

私が、最初アーラに行ったとき、「芸術の殿堂ではなく、人間の家をつくります」ということを話しました。「創造的福祉社会への新しい社会モデルのデザインを可児市でつくる」ということを言って進めています。文化が好きな人は、あるいはアーティストは、演劇やクラシックの愛好者をつくろうとしています。けれども、もう時代は変わったのです。

日本オーケストラ連盟の事務局長さんと会ったときに「オーケストラはもう既に限界が来ている、本当に民間からの支援が出ない。」という話をされました。現在は、株主にいかに還元するかということが企業の重大な使命になっている。本来は株主のもとに行くべきお金を使って、なぜ文化などを支援するのかということで、株主総会で文化支援を提案しても否決されてしまう。だから、議題にも出せなかったと言うCEOが、「文化支援は出せないが、被災者支援なり被災地支援なら出します」と言います。

つまり、メセナは出せないけれどもフィランソロフィーなら出せるのです。ごもっともです。株主もそれは駄目だとは言えません。そういう状況が今起きています。だからこそ変わらなければいけません。自己防衛のためにも、今後の文化芸術が発展していくためにも、変わらなければいけないと思うのです。

これで終わります。どうもありがとうございました。

## パネルディスカッション



### パネリスト（五十音順）

**衛 紀生**（可児市文化創造センター館長兼劇場総監督）

**古賀 弥生**（九州産業大学教授、NPOアートサポートふくおか代表）

大学での所属は地域共創学部 地域づくり学科。代表を務めるNPOは「誰もが芸術文化を身近に楽しめる環境づくり」をミッションに掲げる。元福岡市職員。

**小松 弥生**（埼玉県教育委員会教育長）

昭和56年文部省入省。仙台市教育委員会教育長、文化庁文化部長、独立行政法人国立美術館理事、文部科学省研究振興局長などを経て平成29年に埼玉県教育委員会教育長就任。

**平野 到**（埼玉県立近代美術館学芸主幹）

平成4年より埼玉県立近代美術館に勤務。近年は「日本におけるキュビズム」（平成28年）、「デイエゴ・リベラの時代」（平成29年）などの展覧会に携わる。

**堀 貴雄**（岐阜県教育委員会教育次長）

岐阜県立不破高等学校校長などを経て現職。演劇のワークショップを通じて高校の中途退学者や問題行動を激減させたプロジェクト（「東濃方式」）を手がけた。

### コーディネーター

**案浦 久仁子**（埼玉県教育局市町村支援部文化資源課長）

### ○案浦

皆さん、こんにちは。本日のコーディネーターを務めます埼玉県教育局文化資源課長の案浦と申します。

ただ今、**衛紀生**先生から「芸術文化の果たすべき社会的役割は何か」というテーマで基調講演を頂戴したところです。

これから、「若い世代の成長に芸術文化が寄与できること」と題しまして、次代を担う若い世代が芸術文化に望むこと、参加することの意義は何なのか、また、芸術に携わる行政や文化団体、NPO、公共施設が果たすべき役割は何なのかということにつきまして、さまざまな分野で活躍していらっしゃる、5人のパネリストの皆様と、少し長い時間になるかもしれませんが、内容によっては充実した短い時間になるかもしれませんが、ディスカッションをしてみたいと思います。

本日の流れですが、最初に各パネリストの方に自己紹介を兼ねて、関わってきたお仕事や活動についてご紹介をいただきたいと思います。

続くディスカッションですが、始めに芸術文化の持つ力についてディスカッションをしていきたいと思います。次に議論を絞りまして、特に課題のある若い世代に芸術文化がどのように寄与できるのか、掘り下げていきたいと思います。最後にまとめとしまして、これから、美術館・博物館・劇場・行政などが、多くの関係者の理解を得ながら、芸術文化の力や効果をどのように広げていくのか議論をしてみたいと思います。

それでは、早速ですが、自己紹介を兼ねまして、パネリストの皆様にお仕事についてご紹介をいただきたいと思います。最初に、九州産業大学教授、NPO アートサポートふくおか代表でいらっしゃいます**古賀弥生**様です。古賀様、よろしくお願いいたします。

### ○古賀

皆さん、こんにちは。福岡から参りました古賀弥生と申します。ここでは、とても簡潔に、自己紹介ということで簡単にお話しさせていただきたいと思います。



先ほど御紹介がありましたように、私は、九州産業大学というところで教員をしています。同時に「アートサポートふくおか」という、NPOの運営も行っております。大学で研究や教育を行うのと同時に、NPOの活動をするというのが、私にとっては両輪になっておりまして、現在研究と実践と両方同じテーマでやっております。

いくつか御紹介させていただきますと、まず応用演劇による、ホームレス状態の方の就労支援です。ホームレスといわれるのは、仕事がなく、お金がなく、家賃が払えないからおうちがないという状態なのですけれども、別に再就職をされるための面接講座を演劇でやっているわけではなく、ホームレス状態の方というのは家がない、お金がないだけではなくて、人との関係性が切れているというところがあります。職場や近隣の方、あるいは御家族、親類との関係の間でも、割と早めに諦めてしまわれるところがあるような傾向が見られます。そういうところに、演劇の手法を使った研修、講座を実施させていただきまして、コミュニケーションについて一緒に考えていくというような講座を、もう4、5年やらせていただいております。

次に、パーキンソン病患者の方のダンス活動支援です。パーキンソン病というのは、どちらかというと高齢者の方に多いのですが、私の亡くなりました父も多分パーキンソン病だったのではないかという症状が、晩年ありました。パーキンソン病患者の方は、足が前に出にくくなるなどして、体がなかなか思うように動かなくなっていったりするので、コンテポラリーダンスの活動をやっていただいております。御病気でいらっしゃいますので、杖をついたり、歩行器を使われたりして会場に来られます。パーキンソン病の方は脳内物質ドーパミンが出にくくなるということがありますが、ダンスの活動で、ドーパミンかあるいはそれに代わる物質が出ているような感じがします。活動が終わってお帰りになるときは、スタスタ歩いて帰るので、よくつえを忘れて帰るということが、本当に起こります。もちろん病気が治るわけではないのですけれども、そういうことを重ねていったりしますと、クオリティー・オブ・ライフと申しますか、生きること、生活することの質が上がっていく、生き生きとした表情を取り戻されるということを見ているところです。

それから3番目として、フリースクールでの演劇、自己表現ワークショップを行っています。学校に行かないという選択をしているお子さんたちのところに、演劇のワークショップをさせていただきに伺っています。これは福岡市で行っています。あとは、認知症カフェでの音楽、演劇の活動などをやっております。現場でコーディネートをするというか、調整役をやるのと同時に、一応、研究者としましては、成果検証を行うということもやっております。

フリースクールの事例については、後の時間で少しお話しできればと思っているのですが、活動は、福岡市立の文化施設「なみきスクエア」の主催事業として、館内ではなくて、地域に出て行って、フリースクールにプロの演劇人を派遣して行われているものです。施設の設置者である福岡市と、指定管理者の企業さんの深い理解の下で実施され

ているものです。

大学教員としての研究事例としましては、福岡県子ども劇場連絡会（現特定非営利活動法人子ども劇場福岡県センター）が1996年から97年にかけて実施されたドラマスクール&ミュージカル「子どもの時間」という長期の演劇ワークショップについて御紹介します。これは子ども劇場さんがミュージカルの舞台までつくったという活動です。その参加者の子供さんたちに、十数年後、大人になった後に、あの経験は何だったのだろうということを振り返って、インタビューをさせていただきました。このようなことを経験した子供たちはどのように成長したのか、ということ、ちらっと垣間見るような研究結果になったかと思います。

私はこのような研究や活動をさせていただいております。今日は皆様と一緒にこのような経験を踏まえてお話しできればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

### ○案浦

ありがとうございます。続きまして、岐阜県の教育委員会教育次長でいらっしゃる堀貴雄様、よろしくお願いいたします。

### ○堀

こんにちは。岐阜県教育委員会の堀といいます。自己紹介ということですが、私は普通の高校の教員です。20年間教壇に立って、機会があって、平成17年度に教育委員会の事務局員として入って、いわゆる指導主事としての仕事をしたのですが、教科指導ではなくて、最初に携わった仕事は、学校の再編統合の仕事でした。そして、7年ほど教育委員会にいて、今日、御紹介するようなことに至ったわけです。



さて、今高校がどのような状況なのか。岐阜県の場合、これは全国的にそうだと思いますが、約99パーセントが高校等へ進学します。その数字を御覧になった多くの方々

---

は、全日制の学校を思い浮かべると思います。岐阜県の場合は、全日制への進学率は、この春 90 パーセントを切りました。残り 9 パーセントの子供たちはどのようなところへ行くかという、定時制であり、通信制であり、特別支援学校の高等部、そのようなところへ進学するわけです。今、高校ではそのような状況です。

衛先生のお話にもありました**岐阜県立東濃高等学校**は、全日制の県で 4 番目に古い 130 年を超える伝統校なのですが、その学校が近年、様々な困難さを抱える学校になっていました。

どのような状況かと言いますと、かつて学校が荒れていた、スクールウォーズというような時代があったと思います。今は、あの時代ほどのことはありません。どうなのかと言いますと、先ほど衛さんのお話の中にもありましたように、いじめる対象にもならない、気力がない、友達に振り返ってもらえない、そうした生徒たちが多くて、さらにはいろいろな面で支援が必要な生徒がいます。

高校全体の状況としては、まず片親のお子さんが約 3 割います。そして、この地区は外国人が多いところですので、外国人生徒が 2 割から 3 割いました。こうした学校において、さて、子供たちに何ができるのか。

私が県教委事務局に在籍していた 2012 年の 1 月に、こうした学校の課題をどうしようかということで、ある人の紹介で、衛館長にその学校へ行っていただきました。

そこで衛さんがおっしゃったのは、まず、子供と先生がコミュニケーション取れていない。十数人の少人数で授業をやっているのに、なぜ、あのように大きな声で、先生が声を張り上げて授業しないといけないのか。子供を見ていない。黒板ばかり向いて授業をしているではないか。これでは駄目ではないかということで、演劇のワークショップが始まりました。これをきっかけとして、その後、私も東濃高校の課題解決のために教頭として赴任しました。

そして学校にどのような変化が起こったのかについては、この後話が続きますので、そこでまた御紹介をしたいと思います。

### ○案浦

ありがとうございました。では続きまして、埼玉県教育委員会、小松弥生教育長よりしく願ひいたします。

### ○小松

皆さん、こんにちは。埼玉県教育長の小松と申します。今日は県教育委員会職員として他に平野さんと案浦さんが出ていますので、私は今まで他の職に就いていたときに関わったことについて話をしたいと思います。

私は、衛先生が先ほどの講演の中で批判されていた、自分で何もできなくなった文化庁が、まだ自分の殻に閉じこもっていた時代に通算 10 年ぐらい勤めていました。



私が文化庁で文化部長をやっていたときに、東日本大震災が起こりました。起こった直後のことを、皆さん覚えていらっしゃるでしょうか。東京や埼玉でも多くの方が電気を使えなくなり、このような非常時にコンサートとは何ごとか、というような雰囲気が日本中に広がっていた時期でしたが、仙台市の**仙台フィルハーモニー管弦楽団**は、震災から2週間後の3月26日に初めてのコンサートをやりました。

でも、あの状態の中で、どういう曲をどういう順番でやればよいのか、それからどういう語りかけを来場者に対してするかということについて、考えに考えた末、実施して成功したのです。皆の心がすごく慰められました。そこから現在に至るまで、900回近くの復興コンサートを続けています。

そのようなコンサートを続けるためには、仙台フィル自身が運営するのは難しいので、仙台フィル出身者と市民の有志が、**音楽の力による復興センター**という法人を新たに作りしました。このセンターが被災地のニーズをくみ取って、「こういうコンサートがいいです」ということを仙台フィルやウィーンフィルなど演奏する側にお伝えして、それで今日まで非常に親しまれる演奏活動を行ってきています。災害時における文化芸術の役割として、ぜひ今日お話ししたいと思って、事例として御紹介しました。

もうひとつの話は、私が独立行政法人国立美術館の理事をしていたときに、**大分県立美術館**の立ち上げに関わらせていただいて経験したものです。

平成27年に開館したのですが、その前から関わってまして、開館前から当然、職員はいろいろな準備をするのですけれども、採用された教育普及事業の担当者が県内をずっと歩き回って、たくさん石を拾ってきて、トンカチでガンガンたたいて、さらに乳鉢ですりつぶして、いわゆる顔料をつくって、それを水などで溶かして絵を描くという、そういうことが好きな人でした。

それはとても楽しそうだから、美術館のファンを開館前からつくっておく必要もある

ということで、アウトリーチ活動に活用することになりました。

参考にしたのは、佐渡裕さんが芸術監督を務めていた**兵庫県立芸術文化センター**です。兵庫県は、阪神淡路大震災の復興の意味も込めて音楽ホールを建てたのですが、やはり開館前から佐渡さんが地元でどんどん出て行って、アウトリーチ活動を行われて、そのおかげでとても県民から愛されるホールになったのです。

大分県立美術館もそのようになってほしいということで、会館前からアウトリーチ活動を行いました。開館してからも教育委員会と連携して、学校に出掛けて行って、その地域の色を発見する活動を行い、幼稚園であれば、体を使った活動を行って「その後美術館に来てね」ということにしました。そのような出前授業を受けた後に、実際に美術館に来た子供たちは、作品への接し方が格段に充実したものとなっていました。

全国学力・学習状況調査の順位が県内で一番低かった小学校が、この活動に参加して、次の年に1位になりました。そのようなこともあって、芸術文化の活動が子供たちに与える影響を、きちんと検証してほしいということで、大分大学にも入っていただいて、科学研究費補助金も取った調査研究をやっていただきました。

この経験を通じて、美術館などが学校や子供たちに関わることによって、能力を引き出すことができると感じました。

### ○案浦

ありがとうございました。続きまして、埼玉県立近代美術館、**平野到**学芸主幹、お願いします。

### ○平野

埼玉県立近代美術館の平野です。私は、25年以上、埼玉県立近代美術館の仕事をしているのですが、最初に衛さんからお話があったような、社会包摂に関わるプログラムに携わったことはないのですが、今日このシンポジウムに参加させていただいて、いろいろなことを学ばせていただきたいと思います。



自分自身の自己紹介というより、われわれの美術館の活動、主に普及事業に焦点を当ててお話しします。

**埼玉県立近代美術館**は1982年に開館しました。今年で37年目になります。会場には御来館いただいた方も多いかと思いますが、まだお越しでない方は、JR北浦和駅からも近い場所にありますので、ぜひいらしていただければと思っています。

活動としてやはり中心になるのは、収蔵品を紹介する常設展(「**MOMAS コレクション**」)や、年5回、他から作品を借用して展覧会を行う企画展です。

このような展示事業が中心ですが、開館当初から普及事業にも力を入れてきました。ただ、これは非常に大きな転換が90年代にあるのですが、80年代から90年代初頭までは、普及事業はほとんど大人を対象としたものでした。それが、92年から95年にかけて、学校の週5日制が導入されたことをきっかけに、もう少し子供に対してもプログラムを準備しようということで、土曜日あるいは夏休み向けのプログラムを始めるようになりました。

さらには、2000年代に入ってから、学校と美術館の距離をもっと縮めようということで、学校の先生と一緒に研究会を開いた他、美術館をどのように活用できるかについて、いろいろな人たちのアイデアを吸収して、ようやく本格的に子供向けの普及事業に取り組むようになってきました。

そういう蓄積があって、約20年たった今、ほぼ毎週土曜日に「**MOMASのとびら**」という子供向けの普及事業をやっています。MOMASというのは、われわれの美術館の略称です(Museum of Modern Art, Saitama)。

館内で普及事業を行うだけでなく、学校との連携の一環で、われわれの美術館からその学校に出向いて授業協力をしたり、あるいは埼玉県には、国際的にも活躍している非常に優秀な美術家がいるので、そういう美術家と一緒に学校に行って、一種の出前授業として、児童、生徒と何かをつくるということを行ったりもしています。

ただし、課題はいろいろあります。毎週土曜日に子供向けの普及事業をやっておりますから、スタッフが非常に大変です。アルバイトの人やボランティアの人が関わっていると同時に、埼玉大学と連携して、大学生が参加することによって、それが授業の一環として成立するようなかたちで運営していますけれども、人員が限られていますし、予算の問題も含めて、いろいろ課題があります。そのような中で普及事業を展開しています。

話したいことはたくさんありますが、時間もありますので、これで私の紹介とさせていただきます。

### ○案浦

ありがとうございました。最後になりますが、衛先生には、基調講演に引き続きましてよろしく願いいたします。

---

それでは、早速ディスカッションに移っていききたいと思います。まず一つ目のディスカッションといたしまして、芸術文化の持つ力ということについて議論していただきたいと思います。

今パネリストの皆様から、ダンス、音楽、絵などのお話がいろいろ話もありました。そういったわかりやすくカテゴライズされた美術、あるいは芸術のイメージがあらうかと思いますが、一方でそもそも芸術文化とは何なのかというところを皆様で共有したく思います。

この話を話し始めると、恐らく数時間必要かと思いますが、ここはざっくりと伺います。古賀弥生先生が著書（『芸術文化がまちをつくるⅡ 地域活性化と芸術文化』2011年、九州大学出版会）の中で芸術文化の定義を少しされていていらっしゃいますが、お話をいただければと思います。

### ○古賀

あくまで私が本を書くにあたって、私なりの考え方で定義したのですが、まず、アーティストが芸術や文化の活動を行って、作品などを生み出しています。

市民、県民などの方たちも、鑑賞者として享受するというだけの関係ではなく、いろいろな方が活動したり、文化的な価値のあるものをつくり出したりということもあります。アーティストと呼ばれるような方たちの活動だけがアートではない、プロのアーティストという方たちに限らず、さまざまな方との共同作業、コラボレーションでつくられる場合もいろいろあります。それからジャンルに分けられるものではないということも、今お話があったとおりです。

そういうことをいろいろ考え合わせまして、ざっくりとした芸術文化というのを私が考えるときにはキーワードとしては、「想像力（イマジネーション）」と「創造力（クリエイティビティー）」を駆使して行う活動として捉えたということ、本の中では書かせていただいております。私が書いたものをここで御紹介いただけたらと思わず、ありがとうございます。来年の春に新著も出ます。

### ○案浦

ありがとうございました。今、古賀先生から、「想像力」と「創造力」というお話がありました。

本日の話の中で、個別の芸術領域にふれることはあろうかと思いますが、基本的スタンスとして芸術文化全般を語るときは、このような共通認識の元で進めたいと思います。パネリストの皆様いかがでしょうか。

次に移らせていただきますが、芸術文化の持つ力は何かということで、ディスカッションを進めたいと思います。恐らく芸術文化の持つ力には、大きく分けて二つあるのではないかと私は考えております。一つは個人レベルの話です。美術を見て心が豊かにな

---

って柔らかくなったというようなことです。二つ目は、先ほど衛先生の基調講演の中でもありましたが、芸術文化と社会の関係性において、芸術文化の持つ力を発揮するということではないかと思います。

まず一つ目の個人レベルでの芸術文化、これから若い世代に芸術文化がどう寄与するか、特に、課題になる子供たちにどう寄与するかという議論を進めていこうと思っておりますので、個人レベルにおいて、どういったような効果があるのか、ということについて御意見を伺います。

学芸員として平野さん、芸術文化の持つ力について、いかがお考えでしょうか。

### ○平野

本日の大きなテーマになっている若い世代、特に情報や知識などにまだあまり毒されていない、そういう無垢な子供時代において、美術や芸術を経験することは、極めて重要なことだと思っています。

感覚が鋭敏な子供にとっては、その後の生き方を大きく左右することになるのではないかと思います。例えば、知識や情報、学問などいわゆる大文字の教育といったものは、言語化可能なものであり、統制されているもの、コントロールが効くものです。

そのようなものは、誤解を恐れず簡潔に言うと、組織化されて、最終的には何か閉じられていくものではないかと思います。それに対して、芸術的な経験、美的な経験、あるいはポエティックな経験、感性的な経験というのは、もっと衝動的で、例えば、いいね、変だね、すごいね、などという衝動的なものであって統制できないようなものです。

それはコントロール不能であるけれども、最終的には、何か自発的に、偶発的に何かを発生、発露させ、感覚や内面を開く方向に行くと思います。子供時代にそういった経験をさせることは、私は非常に重要ではないかと思っています。

逆に言うと、そういう感性というのは、頭と精神がスポンジのように柔らかい子供からティーンエイジャーぐらいまでに基盤がつくられるのではないかと、私は思っています。大人になってしまうと、どうしても知識が入ってきてしまって、なかなかそういうかたちにはならないと思います。

例えば今、サラリーマンなど大人に、教養主義的に美術鑑賞することなどが結構ブームになっています。いろいろな本も出ています。もちろん悪いことではないけれども、それは教養と知識としての芸術鑑賞であって、言ってみれば勉強であって、先ほど私が言った、子供の体験とやや次元が違うと思います。

ですから、やはりわれわれが注意しなくてはいけないのは、言葉や情報に左右されない直接的な芸術的経験を子供たちに提供する機会を、いかにうまくつくっていくかということではないかと、私は思っています。

### ○案浦

ありがとうございました。心と頭がスポンジのように柔らかいときに、しっかりとそのような素地のようなものを広げておくことが、今後の人生には大切である、ざっくり言うとそういう話だったかと思います。また後で御意見いただければと思います。

堀先生は、高校の先生として、いろいろ課題のある生徒が多くいらっしゃる高校を受け持たれたということですが、平野さんが言ったような感覚というのはどのようにお感じになりましたでしょうか。

### ○堀

平野さんがおっしゃったことは、先ほど衛さんの話の中にも出てきましたが、就学前の子供たちにとって非常に大切だと思います。しかし、先ほど「家族が機能していない」子供たちについて少し触れましたが、スポンジのような柔らかな時代に、普通の経験、普通の体験ができなかった子供たちもやはりいるわけです。

そして小学校、中学校に入って、さまざまな子供たちがいる集団の中で、さて高校ではどうなるかといったところを、お話をしたいと思います。

小学校、中学校というのは、私立の学校を選んだ場合を除いて、その地域に通う子供たちが全て入学します。その後の高校では、いい意味でも悪い意味でも、輪切りで子供たちは入っていきます。そうした中で課題になるのは、さまざまな支援が必要な子供たち、普通の経験を持っていない子供たちではないかと思います。そこで行ったのが、演劇のワークショップです。

衛さんから計画を聞いてびっくりしました。文学座のトップ演出家の西川信廣さん、そして俳優として活躍されている瀬戸口郁さんといった、本当に中央でも大活躍の方々を、300人にも満たないような学校に派遣すると。

そのときの条件ですが、子供たちに文学座がどのような劇団であるのか、こうした方々が今までどのような活動をしてきたのか、一切言うなと言うのです。文学座の方たちは、普通の状態の、そこにいる子供たちのままの彼らにぶつかっていってくれました。

最初はひどかったです。グループに分かれてワークショップをやるのですが、ある生徒が最初何をしだしたかという、この時間に持ってくるのが禁止されているはずの携帯電話をポケットからこっそり出していじりだします。どんな格好をしてもいいと言ったら、寝転がって横になりました。こちらはもう胃が痛くなって、本当にいいのかという思いで見っていました。

今になって文学座の西川さんと話をしますと、「最初、堀さんからちょっと覚悟してねと聞いたときは、まあこのくらいだろうと想像していたが、今だから言えるけれども、想像を絶するような状況だった」と言われました。

数字でいえば、300人に満たない学校で、遅刻の総数は年間6,000件を超えていました。学校の授業日は大体200日ですから、1日当たり20人を超える生徒たちが遅刻を

したことになると思います。退学者も、1学年100人くらい入学して、そこから30人から40人ドロップアウトしますので、卒業式にはいつも60、70人です。

そんな学校でしたが、ワークショップを実施して退学者が一桁になりました。そうしたエビデンスもあるのですが、簡単に言うと、学校が明るくなったのではないかと、今は思っているところです。

### ○案浦

ありがとうございます。就学前にしる、ティーンエイジャーにしる、成人する前に芸術文化に触れることが、その後の人生に大きな影響を与える、それもポジティブな影響を与えているということは言えるのではないかと思います。

芸術文化に関する個人レベルの経験について伺いましたが、次に、社会と芸術文化との関係や効果について話をしたいと思います。衛先生の講演でも、芸術文化にはつながりの貧困を解消する力があるというお話がありました。衛先生、具体的にアーラの取り組みなどでどのような効果があったか、お話いただけますでしょうか。

### ○衛

古賀先生もおっしゃっていた「想像力」と「創造力」の効用については、私もいつも言っています。**アラスデア・マッキンタイア**という人が「人間は、本質的に物語を語る動物」と言っています。物語として他者との関係を理解し、自分の役を見つけていくのです。

現実をどう理解して、どう物語をつくるかというのがアーティストの仕事です。自分の中にあるものを引き出して、それによって物語を構成することが、アーティストがものをつくることに結実していくのだらうと思います。

これはアーティストだけの話ではありません。対人関係でもそうです。私たちが誰かを理解する、例えば、子供たちの今を理解するということにも、やはり想像力と創造力が重要です。この子には何が必要か、この子は何を求めているかということを考えなければ、単なる施しになってしまいます。

「**障害者による文化芸術活動の推進に関する法律**」（平成30年6月13日公布）が施行されましたが、全国的に行われている多くが、施しのレベルです。ただ、文化に参加させてあげているだけでは、障害者の課題を解決しないのです。彼らが抱えている課題は、孤立、孤独、経済的な不安です。

だとすれば、どこかと手を組むかたちで、外部とのつながりをつくる。それは就労支援センターでもいいし、障害者がつくった作品やデザインをポシエットにするような工房さんでもいい。つまり、つながりの貧困の、少なくとも解消、回復に向かっていく。

障害者が、作品を媒体として誰かとつながっていく、作品をポシエットや絵葉書にすることでわずかでも経済的なフィードバックを得る、作品活動に対する報酬を得る、こ

こまでやらないと、あの法律は意味がありません。

ところが、あの法律にはそこまでやると書かれていないので、施しレベルしか行われ  
ないです。NPO などには、もう少し深く理解してほしいのですが、現場を見ると、ダン  
スに参加させてあげている、絵を描くのに参加させてあげている、というレベルにとど  
まっていることも多いのです。これでは問題を解決できません。

文化で解決できるような道筋を付けるべきなのに、きちんと法律の設計ができていま  
せん。とても困ります。



私たちアキラでやっていることは、つながりをつくろうということです。本当にいろ  
いろな意味でつながりをつくろうと。皆さん、自立しようと言います。自立する能力を  
身に付けてもらおうという言い方をします。自立するということは、自分の足で立つこ  
とではなく、依存する先がたくさんある、つまり、つながりがたくさんあるというこ  
とです。つながりがたくさんある人間ほど、自立するのです。つながりがないのは、孤立  
です。だから、つながりをつくることは本当に大事です。今孤立、孤独の中にいる人た  
ち、子供たちがどれだけ多いか。

僕は、非認知能力に関しては、30歳でも40歳でも身に付くと思うのです。つながり  
の中で身に付くのです。芸術は子供の頃というけれども、そのようなことはないです。  
芸術を通して誰かと出会うことによって、何かを身に付けることはできます。

発達障害に関しては、四国に子供と大人の診療所、アートをもものすごく大胆に導入し  
た国立の医療機関があります。善通寺市にあります。この先生は薬を使いません。発  
達障害は親との関係の問題だという見方をして、親との関係をワークショップで変えて  
いきます。

それで、子供と殴り合いの関係だった親、殺してやりたいと思っていた親と子供の関  
係が劇的に変わっていきます。今は普通の親子になっています。発達障害でも何でもな  
くなっていきます。だから、ある意味では、親子あるいは社会というものが、実は、発  
達障害というものをつくり出している、発達障害という病名が付くことによって、排除

をしていくというような社会、同調性の強い社会が今進んでしまっているのではないかと、とても感じます。そのことに早くきちんと手を付けて、文化芸術の力を使って何とかすれば、少なくとも、社会を担う人たちは、まだまだ増えるはずです。

本当にいろいろな意味で、教育投資というものがしっかり行われることによって、非認知能力を持った大人ができてくるだろうし、それから発達障害から免れて、社会を担う子供ができてくるということがあるのではないかと思います。とにかくつながりをたくさんつくることをもう一度考えないといけない時期にきています。網の目の向こうの奥が見えないぐらいにつながりができれば、見えない社会保障となります。これは、基本的にはお金がかかりません。社会保障は大変、お金がかかるので、厚労省などはそういう社会をつくらうというような言い方をしています。文化にはそういうインフォーマル・セキュリティをつくる力があります。

私共のアーラが事業を行っている可児市では、そういう社会ができつつあって、去年900人ぐらい人口が増えています。いろいろな要件で増えているのですが、まだまだ人口は増えていくみたいです。それは別に、芸術が好きな人たちを集めているのではなく、少なくとも、安全と安心の未来が感じられるから人が寄ってきている。また、フィリピン系の方が最近非常に多いのですが、フィリピン系の方にとっては住みやすい町です。もちろん、ケアはきちんとしています。日本語教育もきちんとしています。アーラの周りの地区に、外国人の方がたくさん入っています。私の住んでいる周りは、まだ土地が安いので、子供を連れた若い夫婦が家を建てて移住して、田んぼが一つもなくなりました。周りが田んぼだらけだったのが、カエルがうるさいぐらいだったのですが、今は子供の声がうるさいぐらいです。そのようなことが起こっています。

### ○案浦

ありがとうございます。アーラのパンフレットには、まさに今、衛先生がおっしゃったような、いろいろな人とのつながりを推し進めるために事業が記載されています。いろいろな観点から取り組みをなさっていると、あらためて思いました。

### ○衛

文化芸術は心を癒やします。音楽を聞いて、元気になって明日頑張ろうと思う。演劇を見て心が安らぐ。でも、それはある意味では一時的な癒やしです。存在そのものを癒す、生きづらさや息苦しさそのものを癒す、つまり子供から高齢者まで、孤立させないという意味で存在を癒すということは、文化芸術のもう一つの大きな力です。

そのことに、今まで誰も顧みず来てしまったのではないかと私は考えます。とにかく、昼間の空に星はない、見えないけれどもあるというのを、うちの職員によく言います。昼の空に星を見るぐらいの目を見ないと、劇場では仕事をするなということです。文化芸術で存在を癒す可能性を追求するのが、劇場の仕事だろうと思います。

### ○案浦

ありがとうございます。続きまして、古賀さん、いかがでしょうか。芸術文化は様々な力を持っていると思いますが、社会との関係において、例えば、課題を持っている子供だけに限らず、どのような力を文化芸術は発揮することができると思われますか。

### ○古賀

冒頭に、福岡県子ども劇場連絡会が1996年から実施したドラマスクール&ミュージカル「子どもの時間」というワークショップを御紹介しました。1年3カ月から4カ月くらいかけた、長期の演劇のワークショップで、子供たちがワークショップで出した言葉を、プロの脚本家が脚本にし、それをプロの演出家の方が子供たちと一緒に作品化して、「子どもの時間」というステージができ上がったものです。

それを体験して今は大人になっている9人の方に、当時の体験を振り返ってもらいました。9人の方全員から出てきた言葉というのが、主体性・想像力・発想力というキーワードです。「何を得られましたか」と尋ねたときに、この言葉は全員の方から出てきました。

それ以外のさまざまな気付きという点では、まず、演劇による表現活動から具体的に何を得たのかということを探りました。このワークショップは、公募型で50人から100人の集団によって行われ、いろいろな子供たちがいろいろなところから集まっていました。自分はこのようにつくったほうがいいと思っても、そうではないという子供もいるわけです。あつれきを体験するのです。この中で、何とかして作品をまとめていくためには、誰か折れなければいけないかもしれないし、いや、徹底討論だという話になるかもしれません。こういう集団の中で、自分と違う価値観に出会っていったり、今まで学校や家庭の中で出していた自分ではない自分というものを、自分自身で発見したりということがあった、というように言ってくれていました。

参加当時、小学生から高校生という年齢の方たちでしたが、お話を伺った頃は、二十代～三十歳ぐらいまでになっていました。進学の見路選択、あるいは職業選択の時期に、子供のときに体験した演劇ワークショップがどう影響したかということを探りました。

「自分自身は一体何ができるのか、何が好きなのか、ということを知る機会になったと思う」という答えがありました。ほとんど9人が共通して答えたのが「自分は人が好きだなあと思った」ということでした。人が好きだから、対人関係のサービス業などになろうかなどというように、全員が一回は思っているらしいです。実際その職業に就かなかった方もいらっしゃいますが、例えば、保育士や介護福祉士のような対人サービスの仕事、教員になることを検討され、実際になった方もいらっしゃるということです。

介護福祉士になられた方は、認知症の方をお世話していて毎日お会いしているけれども、会うたびに、自分のことを誰だと思っているらしいのか変わるらしいのです。例

例えば、今日は奥さんだと思われている、あるいは、今日は娘さんだと思われている、微妙な違いですが、今日は誰だと思っているのかというのが、その方はすぐ分かってしまうとおっしゃっていました。その人になりきって相手をするので、お互いにいらいせずに会話ができるそうです。同僚の介護福祉士には、それが非常に不思議に見えるらしくて、なぜ誰だと思っているのが分かるのかと聞かれるそうです。誰だか分かるのは、演劇の影響かもしれない、ということをおっしゃっていました。

あとは、人生にとって、とても大きな、チームだけではなくて社会に対する関わり方についても、大きなきっかけになったという方もいらっしゃいまして、このドラマスクールというワークショップがたくさんの大人に支えられていたということ、きちんと見ていたお子さんがいらっしゃいます。演劇が楽しかったというだけではなくて、それを陰で支えていた大人のスタッフやプロの方たちの様子を見ていて、しかもそこにお金を調達してくるために、企業さんを回ったりした方たちもおられるわけです。子ども劇場のスタッフの方々です。お金もどこかからから持ってきてくれたのだということは分かっていて、そうやって地域に支えられてこういう活動が成り立っていて、自分たちはこのような経験ができたというところまで理解をされている方がおられまして、きちんと自分は恩返しをしていかなければいけない、こうやって生きる大人になりたい、というように語ってくれた方もいらっしゃいました。

これは、一つの事業の例ですが、こういう経験が個人にとっての、その方のパワーといますか、力を得て、生きる力になっていくということになるのだという一例として、御紹介させていただきました。

### ○案浦

ありがとうございました。社会と芸術文化とのつながりということで小松教育長に伺いますが、子供たちが個人レベルで体験することで、芸術文化がどういう効果を発揮できるかお話しいただければと思います。



### ○小松

先ほど東日本大震災復興の話を御紹介したところですが、いろいろな活動をするために、事業費が必要です。それで、文化庁もいくつかそのための事業を行っています。もともと文化庁は、本物の芸術を子供たちにということで、アーティストを学校に派遣して実演してもらう事業をやっていたのですが、東日本大震災の被災地域に特別枠を設けて、いまだにそれが続いています。

仙台で、子供のための芸術派遣事業の演劇部門を取りまとめてくれた **ARC>T** (アルクト) という集団が書いた報告書を読みました。

その報告書によると、東日本大震災から8年目となる今年、宮城県内の復興の進捗は、地域によって非常に差があり、震災前と変わらぬ環境となっている地域がある一方、やっと復興住宅が建設され、復興に向けた地域づくりが始まった地域があります。そこでは、学校の統合や再編成が起こり、地域コミュニティーをどう再生していくか課題になっているそうです。被災地に住む子供たちにとって、芸術の持つ多様性や寛容性に触れることは、心が開放され、無意識に緊張している心がほぐれるのではないかと。子供がのびのびと楽しむことで、その様子を見た周囲の大人も楽しむことができる、ということが報告書に書いてありました。

被災地という、他の地域とは別の事情を持っている中で、地域コミュニティーを再生する際に、文化芸術が持つ力が役に立つのではないかと考えています。

もう一つ私が関わったのは、民俗芸能です。東北では民俗芸能が盛んです。

福島県では原発事故により、町全体、村全体で移転しなければいけなくて、ばらばらになってしまった自治体があります。今は別々の地域に住んでいるそうした人たちが、再び集まったときに、核になるのは民俗芸能です。昔一緒にやっていたお祭りの体験などが生きてきて、その中には子供たちも入っていきます。そのような力もあります。

それから、芸術文化が子供に与える影響ですが、先ほどからお話が出ているとおりでと思うのですけれども、私は別の角度からも見えています。

確かに、美術館で鑑賞などの機会があると、普段からとてもやんちゃな子が手を上げて、こう見えるなど発言しますが、逆に、学校の中ではお勉強がとてもよくできる子が発言しない、つまり普段お勉強がよくできている子が心を開放していないことがあります。それはそれで問題だと思います。

芸術文化の社会包摂という機能について話がありましたが、社会包摂する側の社会を構成している大多数のよくできる人たち、普通の人たちの側が、芸術文化によって心を解き放されていないと、やはり駄目なのではないかと考えています。そういう人たちに対しても、何らかの働きかけをどんどんやっていかなければいけないと思います。子供で言えば、受験秀才のような子たちにも、問題があるのではないかと私は考えています。

○衛

正解をきちんと覚える子たちは、文化芸術に関して、そういうことは発言できません。正解はないのですから。イギリスで美術館のキュレーターが、ムンクの絵（「叫び」）を子供たちに見せた。子供たちには、ムンクが何者か絶対に教えない、とにかく絵を見せて、何を感じるか。「第3次世界大戦が起こった」、「夫婦げんかした後のお父さん」とか、何を言っても正解なのです。まさに想像力と創造力が試されます。

ところが、正解を覚えることに長けていても、想像力を働かせて、一つの物語をつくるということができない人間がいます。だから、そのような人間が、将来東大に入って、官僚になっても、とても国を任せられないと思います。



○平野

芸術に正解がないというのは、私も本当にそう思います。県立近代美術館では、小学校、中学校、高校、それから特別支援学校の生徒たちを対象に、いわゆるコンクールを行うプロジェクトをやっています。それは昨年から美術館の作品、5点こちらで挙げたものを1点選んでもらって、それからインスピレーションを得たものをグループで身体を使って表現してもらい、その映像を送ってもらうというコンクールをやっています。

私はこれを極めて重要なプログラムだと思っています。通常であれば、言葉で解釈しようとはしますが、そうではなく、直接的なインスピレーションを、身体という言葉ではないもので返すというプログラムです。

その中で、今年応募されてきたものに、学芸員がびっくりするようなものが一つありました。元になった作品は、われわれの美術館を代表するクロード・モネの作品（「ジヴェルニーの積みわら、夕日」）です。川口市のある中学校の生徒たちは、この積みわらをドングリに見立てて、そのドングリが海を悲しく漂っていく、そういう印象を表現しました。



クロード・モネ

《ジヴェルニーの積みわら、夕日》

1888-89年、埼玉県立近代美術館蔵

学芸員や普通の大人は、モネは印象派の巨匠、そうすると色彩がどうだとか、連作の中でこの絵が描かれているなどという知識が入ってしまうわけです。彼らにはそういうのは全くないわけです。まずこれを見てドングリだと。それから、海を漂って、この海というのは、恐らく背景にある青い色からです。寂しいというのは多分、夕日について中学生が持っている独特な感覚（クラブ活動が終わった後の寂しさ）で、それを表現したのでしょう。これは極めて重要な芸術体験だと思っています。知識ではなく、何かその先にある根源的なものを経験していると思います。

もう少しお話しさせていただくと、20世紀の重要な画家の一人で、ロシア人のワシリー・カンディンスキーという人がいます。この人は、抽象絵画の可能性について多角的に考えた人でした。実はこの画家は、モネの積みわらの作品を画家になる前にモスクワで見て、最初何が描いてあるのか分からなかった、分からなかったけれども、この絵に興味を持ったと語っています。なぜ分からなかったかという、当時の一般的な絵画というのは、写真のように写実的に絵を描く、そういうものが主流でした。漠然と描かれた画面を、積みわらにあまりなじみがない人が見たら、これは何を描いているか分からないわけです。でもこれに興味を持った。今回の中学生の体験は、恐らくそういうところに通じているものがあると思います。応募された作品を見て、私は非常に衝撃を受けました。

今、この作品を含めて、公募展の受賞作のビデオを、われわれの美術館のエントランスで2020年3月まで流していますので、ぜひ御覧ください。

## ○衛

僕はそういう機会にしょっちゅう出会います。そのときにとにかく「すごいな、君」とひとこと言うだけで、彼らは変わります。

子供・若者白書などを読むと、男の子も女の子も、小学生より中学生の方が、「自分が嫌いだ、好きではない」という子供が、どんどん多くなります。自分が好きになる機会を与える、君はすごいよと、彼らが自己肯定感を持てるような機会をつくるというのは、実は、文化芸術の力でもあります。正解がないからです。

例えば、僕の常識を越えたら、もうすごいと言います。すごいと言うしかありません。それは正直に言う、僕らがこれを言ってしまうと負けたようだ、ではなくて、もう素直に「すごいな、君」ということを言ってあげることが、大事ではないかと思います。

それで、子供はがらっと変わります。小松さんが紹介された調査研究と同じような結果を、その瞬間が生み出していくのではないかという気がとてもします。

### ○案浦

ありがとうございます。AI や IoT などと言っている時代ではありますけれども、人間は面白いと思います。最後に、課題を抱える若い世代について少し深く、古賀先生と堀先生にお話を伺いたいと思います。まず古賀さん、フリースクールでの取り組みについて、よろしくをお願いします。

### ○古賀

フリースクールの事例のことを少しだけお話ししたいのですが、冒頭に申し上げました、福岡市のなみきスクエアという文化施設が、社会包摂文化事業をやりたいということで、館外に演劇関係者を派遣する事業始められました。

フリースクールに通うAさんは、中学1年生の女の子ですが、活動を開始する前は、顔の表情がなくて、彼女の声を聞くことがほぼないというような感じの子でした。学校に行かなくなった理由は、私どもには分かりません。こちらのフリースクールは、無理やりそういうことを聞いたりもされていないので、フリースクールの先生方に聞いてもよく分かりません。また、学校に行けるようになるということ、このフリースクールでは目的とはされていません。ご本人さんたちが生きやすくすることをサポートするという趣旨で活動されていて、私どもの演劇のワークショップも、その一助になればということで実施していただいています。

Aさんは、表情が非常に乏しくて、声を出して返事が返ってくることはほぼない状態でした。それが、ワークショップを10回やる中で、彼女は7回参加してくれました。

3回目のワークショップのときに一回泣かせてしまっています。彼女から、なかなか声が出てこないでファシリテーターの方が、「今日はやめておこうか」と言ったら、顔を手で覆って泣きだしたのです。

もう来なくなるかと思ったのですが、休み休みですが続けて来てくれまして、だんだんと笑顔が出てくるようになりました。笑顔といってもワハハと笑ったりしないで、手の甲で口を覆った笑い方です。またゲームの中で、目の前にいる人には聞こえるような声で、きちんと人の名前を呼んだり、自分なりの言葉を発したりすることができるようになっていきました。

これはあくまでワークショップの中での変化ですが、この時期、彼女は日常の生活、フリースクールの別の時間にもいろいろな変化が起こっていて、先生方もびっくり

---

していらっしやいました。「鼻歌を歌っているところを見たよ」と言う先生もあり、以前の状況からは考えられないような変化です。カメラを向けて皆で写真を撮るときに、いつも何も表情がなかったのが、ダブルピースをしたなどの変化があったというのを、先生方が非常にうれしそうに語ってくださいました。

ただ、この変化が、ずっとこのまま続いていったら良かったのですが、ワークショップがいったん終了して数カ月、間が空いていたときに、何があったのか分からないのですが、先生方がおっしゃるには、また壁が高くなったようで、マスクが外せない状態になったそうです。今年度新たに始めた演劇ワークショップには、彼女は自分の意思で参加していません。何があったのか残念ではあるのですが、ほんの小さな変化ではありますが、一時はこのようなことが起こったりもしています。

これが何だといわれたら、何でしょう、となるのですが、数値には表れないものです。例えば、彼女がまた学校に行けるようになりました、というハッピーエンドのお話ができたら良かったのですが、そうではありません。そうではないけれども、一時期かもしれないけれども、彼女がもし何か生きづらい思いを抱えていたとしたら、それがふっと溶けるような瞬間がその時期はあったというところに、私はやったことの意義があったのではないかと考えています。

そのことをフリースクールの先生方も認めてくださり、短い期間に固めてやるのではなく、年間を通して計画的にやっていったら、またいろいろな変化が見られるような可能性もあるのではないかとということで、継続という決断をしてくくださいました。先生御自身たちで、フリースクールで資金調達までも考えて継続するというような決断をしてくださったのは、このAさんの変化（かすかな変化かもしれませんが、もしかしたら大きな変化かもしれないこと）が起こったからではないかと考えています。

### ○案浦

ありがとうございました。「生きづらさが溶ける瞬間がある」というところが非常に重たい言葉だったと思います。堀さんは、いかがでしょうか。



○堀

演劇のワークショップの件で、このようなエピソードがありました。このワークショップは、最初1校で始めて、今年度12校になっています。ここまで予算を広げるためには、衛さんが取ってくださった、文化庁の事業のおかげもあって、半額補助をいただいています。

それでも、やはり県と財政協議をしなければなりません。この事業が始まったときに、財政は何を言ったかという「3年やったら、その後は学校の先生でやってね」と、そういう言い方をしました。僕はカチンと来て、そのときはまだ担当でしたが、財政課に行って「それは簡単に言えば、プロのピアニストに3年間弾かせて、4年目から先生に弾かせたら、と言っているのと一緒だよ」と言いました。

ワークショップを経験した教員は、文学座の演出家、役者の方々の人を見る力、その素晴らしさに感動しています。演出家の西川さんも「演出をやるときには、そこで動いている人たちだけではなく、舞台上の隅にいる人もしっかり見るのだ」という話をされているのですが、それが見事に、子供たちにきちんと移るのです。

僕は、教育の一番の理想は、特別支援教育で行っているように一人一人個別の支援計画を持って、一人一人に当たることだと思いますが、そのようなことは財政上できるわけがないので、どうしても子供たちをある一定の枠の中に入れて、統一された教育課程の中で教育するしかないとは思っています。

でも、やはり子供たち一人一人に当たる姿勢で接する場があってもいいのではないかと、それがこのワークショップではないのかと、いつも思っています。ワークショップに参加する演劇人の方たちは、私たち教員にも非常にインパクトを与えてくれました。私は、このワークショップは、子供たちのためであると思っていますが、心の中で半分は、教員がこれで育ってほしい、と思っています。

先ほど衛さんが、依存する人ができることという言葉が言われましたが、まさにそうだと思います。教室で孤立している子供たちというのは、ただそれに気付いていないだけです。それを気付かせるのが、このワークショップです。いろいろ日常とは違う動きをする中で、あの子もそうなのだ、というように気付ける瞬間があります。クラスの中では割と何でもきちんとやる子だけでも、このような失敗もするのだ、そうした場面、場面を見ること、それが私は心が開くというか、心を開く瞬間をお互い同士が共有できる、そのようなことではないのかと思っています。それを心の居場所ができるなど、そのように表現する方もいると思います。

今、学校現場では、いじめの問題など、さまざまな問題があります。文科省も、スクールカウンセラーを増員するなどということをやりますが、そうしたことは起こってからの対処だと思います。衛さんや文学座の西川さんたちと話をしているとき「僕たちがやっているのは予防的なもの」という言葉がよく出ます。問題が起こってからスクールカウンセラーに行っていて、確かに、学校現場は助かります。ですが、問題が起

こらないに越したことはありません。

「文学座の一流演劇人だとしても、岐阜県の片田舎にある普通の学校に行って、たった年3回で何が起こせるのか」とよく言われました。実際に目の前で起こるとわかります。子供たちに何かを通じ、そして私たち教員にもつながってくるのが感じられます。まさに、芸術と教育のコラボによって、自然につながったものだということに思っております。

### ○案浦

大変貴重なお話ありがとうございました。文学座の方が学校に入られるときに、文学座はどういうところで、どういう人なのかということは教えない、というお話をされたかと思います。本当に人と人とのガチンコ勝負と申しましょうか、底が浅ければ、たとえ高校生でも分かってしまうし、反対に素晴らしいことは、きっと高校生でも分かるということであらためて感じました。

さて、ディスカッションのまとめとして、公共機関や行政が多くの関係者の理解を得ながら、芸術文化の役割を今後どのように果たしていくか、ということまで話をしたかったところですが、残念ながら時間となりました。

衛先生からは、SROI などを用いて、文化芸術についてどのようなアウトカムが期待できるのか、といった話がありました。衛先生はホームページのコラムなどで、そういったお話について記載をされているとも聞いております。(「館長の部屋／可児市文化創造センター」<https://www.kpac.or.jp/kantyou/>)

また、事前に小松教育長からは、例えば芸術文化と学校をつなぐようなコーディネーターをする、あるいは整合するトランスレーターのような役割が必要ではないかということも聞いておりました。ディスカッションの中で、NPO などとの連携の在り方についてのお話もあったかと思います。こうしたことも、これからの課題と思っております。

会場にお越しの皆様におかれましては、ぜひ、パネリストの方々の活動や研究の成果につきまして、書籍やインターネットなどで御覧いただきたいと思っております。本日は、ありがとうございました。

# 埼玉県芸術文化祭開催要綱等

## 埼玉県芸術文化祭開催要綱

(平成 2 年 4 月 23 日 知事決裁)  
(平成 5 年 2 月 22 日 一部改正)  
(平成 7 年 2 月 3 日 一部改正)  
(平成 12 年 2 月 15 日 一部改正)  
(平成 13 年 2 月 13 日 一部改正)  
(平成 21 年 4 月 1 日 一部改正)  
(平成 24 年 4 月 24 日 一部改正)

### 1 総 則

埼玉県芸術文化祭（以下「芸術文化祭」という。）を毎年開催し、運営するため、この要綱を定める。

### 2 趣 旨

芸術文化祭は、「第 4 回国民文化祭さいたま 8 9」の成果を継承するとともに、その創造的な気運を一段と発展させるため、多くの県民に発表の場を提供すること等により、県民の芸術文化活動への参加の意欲を喚起し、地域文化の振興に寄与することを目的とする。

### 3 主 催

埼玉県、埼玉県教育委員会、  
開催地市町村、開催地市町村教育委員会、  
関係芸術文化団体等

### 4 芸術文化祭の主管組織等

- (1) 芸術文化祭の開催のために必要な企画を行い及びこれを実施するため、埼玉県芸術文化祭実行委員会（以下「実行委員会」という。）を組織する。
- (2) 県実行委員会の組織、運営等については、別に定める。

### 5 事業内容

芸術文化祭の事業は、開催事業及び協賛事業とする。

#### (1) 開催事業

多彩な芸術文化活動の発表により、新しい芸術文化の方向を示す創造力にあふれ、本県芸術文化の振興に役立つ事業で、実行委員会が開催するもの

#### (2) 協賛事業

開催期間中に、芸術文化祭の趣旨に賛同して行われる各種芸術文化事業で、実行委員会が承認したもの

### 6 開催期間

4 月から翌年 3 月にかけて開催する。

### 7 開催地

開催地は、県内各市町村とする。

### 8 補 則

この開催要綱に定めるもののほか、芸術文化祭を開催し、運営するために必要な事項は、埼玉県教育委員会教育長が定める。

## 埼玉県芸術文化祭実行委員会会則

### 第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 本会は、埼玉県芸術文化祭実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(事務所)

第 2 条 実行委員会の事務所をさいたま市浦和区高砂 3 丁目 1 5 番 1 号埼玉県教育局市町村支援部文化資源課内に置く。

(目的)

第 3 条 実行委員会は、埼玉県芸術文化祭（以下「芸術文化祭」という。）を開催することにより、広く県民の文化活動への参加意欲を喚起し、地域文化の振興に寄与することを目的とする。

(事業)

第 4 条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 芸術文化祭の運営に必要な企画及び実施に関すること。
- (2) 開催事業に関すること。
- (3) 協賛事業に関すること。
- (4) その他芸術文化祭の実施に関し必要な事項に関すること。

### 第 2 章 組 織

(組織)

第 5 条 実行委員会は、県、県教育委員会、開催地市町村、県域芸術文化団体及び関係機関・団体の役職員等並びに学識経験者のうちから、会長が委嘱する実行委員（以下「委員」という。）をもって組織する。

(役員)

第 6 条 実行委員会に、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
  - (2) 副会長 若干名
  - (3) 監 事 3 名以内
- 2 会長は、埼玉県知事をもって充てる。  
3 副会長は、委員の中から会長が委嘱する。  
4 監事は、会長が委嘱する。ただし、委員と兼ねることはできない。

(役員の仕事)

第 7 条 会長は、実行委員会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、会長があらかじめ定めた順序により、その職務を代理する。

3 監事は、会計その他の事務を監査する。

(顧問及び参与)

第 8 条 実行委員会に顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、重要事項について会長の諮問に応じ、参与は、重要な会務に携わる。

(任期)

第9条 役員、委員、顧問及び参与の任期は当該年度をもって終わる。ただし、再任は妨げない。

### 第3章 実行委員会

(構成)

第10条 実行委員会の会議は、会長、副会長及び委員をもって構成する。

(招集)

第11条 会議は、会長が招集する。

(議長)

第12条 会議の議長は、会長がこれにあたる。

(議決事項)

第13条 会議は、次の事項を議決する。

(1) 芸術文化祭の開催及び総合的な運営に関する事項

(2) 会則に関する事項

(3) 事業計画及び事業報告に関する事項

(4) 予算及び決算に関する事項

(5) その他重要な事項

(議決)

第14条 会議の議決は、出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長の決すところによる。

(会長の専決処分)

第15条 会長は、緊急を要する事項について、専決処分をすることができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の会議において報告しなければならない。

(会議の公開)

第16条 会議は公開とする。ただし、出席した委員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

(会議録)

第17条 会長は、次に掲げる事項を記載した会議録を作成するものとする。

(1) 会議の日時及び場所

(2) 出席及び欠席した委員の氏名

(3) 議決事項

(4) 表決における賛否

(5) その他必要な事項

2 会議録には、会長及び出席した委員のうちから、会長が指名した2名の委員が署名するものとする。

### 第4章 運営委員会

(運営委員会)

第18条 実行委員会は、開催事業に係る運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置くことができる。

2 運営委員会は、会長が委嘱する運営委員をもって構成する。

3 運営委員会は、具体的な企画及び実施計画を策定する。

### 第5章 事務局

(事務局)

第19条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

### 第6章 会計

(経費)

第20条 実行委員会の経費は、次に掲げるものをもって充てる。

(1) 補助金

(2) その他の収入

(会計期間)

第21条 実行委員会の会計期間は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 実行委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

### 第7章 補則

(委任)

第22条 この会則に定めのあるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この会則は、平成2年5月8日から施行する。

附則

この会則は、平成4年4月22日から施行する。

附則

この会則は、平成5年3月10日から施行する。

附則

この会則は、平成7年2月20日から施行する。

附則

この会則は、平成13年4月16日から施行する。

附則

この会則は、平成15年4月16日から施行する。

附則

この会則は、平成17年4月18日から施行する。

附則

この会則は、平成18年4月17日から施行する。

附則

この会則は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成30年4月1日から施行する。

## 埼玉県芸術文化祭協賛事業実施要項

### 1 趣旨

埼玉県芸術文化祭実行委員会（以下「実行委員会」という。）は、埼玉県芸術文化祭（以下「芸術文化祭」という。）の開催期間中に、芸術文化祭の趣旨に賛同し、その目的に沿って行われる各種芸術文化事業のうち、実行委員会が承認したものを協賛事業とします。

### 2 芸術文化祭の目的

芸術文化祭は、「第4回国民文化祭さいたま89」の成果を継承するとともに、その創造的な気運を一段と発展させるため、多くの県民に発表の場を提供すること等により、県民の芸術文化活動への参加の意欲を喚起し、地域文化の振興に寄与することを目的としています。

### 3 対象期間等

4月から12月までの間に、県内で開催される事業とします。

### 4 協賛事業の条件

芸術文化祭協賛事業の条件は、次のとおりとします。

#### (1) 主催者について

主催者は、次の各号のいずれかに該当するものとします。

ア 国・県及び市町村（独立行政法人等を含む。）

イ 企業

ウ 団体

エ 学校

オ 公益法人（宗教法人を除く。）

カ 新聞、ラジオ、テレビ等の報道機関

キ その他、上記各号に準ずると実行委員会で認めるもの

#### (2) 事業内容について

事業の内容が、次の各号に合うものとします。

ア 事業の内容が芸術文化祭の趣旨に沿うもの

イ 事業が一般の人に公開されるもの

ウ 政治的・宗教的目的を有しないもの

エ 営利を主たる目的としないもの

オ 事業の実施に当たっては、事故防止対策、公衆衛生対策等に十分な措置が講ぜられているもの

### 5 事業経費

事業経費は、主催者の負担とします。

### 6 協賛事業の事務手続

主催者は、当該事業が実施される期日の1か月前までに、「《当該年度の事業名称》協賛事業参加申込書」（様式第1号）を事業内容の分かるものを添付して提出してください。

### 7 協賛事業の決定

協賛事業の決定については、実行委員会会長が当該事業について、「協賛事業の条件」に基づいて決定し、承認するときは「《当該年度の事業名称》協賛事業承認通知書」（様式第2号）により、承認しないときは「《当該年度の事業名称》協賛事業不承認通知書」（様式第3号）により主催者にお知らせします。

### 8 事業の変更等

実行委員会の承認した事業について、事業の目的、内容等に変更が生じたとき及び事業が中止となったときは、速やかにその理由等を報告するものとします。

### 9 承認の取消し

実行委員会の承認した事業が当初の趣旨に反するなど、実行委員会が協賛事業として承認することが不適当であると認めるに至ったときは、承認を取り消すことがあります。

### 10 賞状等の交付

主催者は、実行委員会会長が当該事業を協賛事業として決定した場合、コンクール形式のものについて賞状等の交付を申請することができます。

なお、承認できる賞状等の種類、枚数についてはご希望に添えない場合もあります。

### 11 実施報告

主催者は当該事業が終了したのち、速やかに「《当該年度の事業名称》協賛事業実施報告書」（様式第4号）を提出してください。

#### 附 則

この要項は、平成2年6月7日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成4年4月1日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成5年6月18日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成7年2月20日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成12年2月15日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成13年4月16日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成15年4月1日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成15年10月1日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成16年4月19日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成19年4月17日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成21年4月1日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成22年1月4日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成30年2月21日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成30年10月1日から適用します。

#### 附 則

この要項は、平成31年1月31日から適用します。

注 上記の協賛事業の実施要項中、3の協賛事業の条件のうち、(2)のイ「事業が一般の人に公開されるもの」には、企業、学校等が社員や児童生徒及びその家族等を対象として行う文化事業も含まれます。

# 埼玉県芸術文化祭実行委員会委員等 名簿

(令和元年8月31日現在)

## 実行委員会

会 長	大 野 元 裕	埼玉県知事
副 会 長	齋 藤 馨	(一社)埼玉県文化団体連合会会長
副 会 長	松 岡 滋	埼玉県美術家協会会長
副 会 長	小 松 弥 生	埼玉県教育委員会教育長
委 員	奥 本 千 絵	NHKさいたま放送局長
委 員	川 原 泰 博	(株)テレビ埼玉代表取締役社長
委 員	野 原 晃	熊谷市教育委員会教育長
委 員	久 米 正 美	ときがわ町教育委員会教育長
委 員	笠 原 浩	小鹿野町教育委員会教育長
委 員	飯 田 敦	埼玉県高等学校文化連盟会長
委 員	松 木 晴 信	(一社)埼玉県文化団体連合会副会長
委 員	齋 藤 正 司	楽遊倶楽部「プレゴ」代表
委 員	矢 島 謙 司	埼玉県県民生活部副部長
監 事	金 子 貞 雄	(一社)埼玉県文化団体連合会副会長
監 事	島 村 克 己	埼玉県教育局教育総務部財務課長
県 関 係 課	浅見 健二郎	埼玉県県民生活部文化振興課長
事 務 局 長	関 口 睦	埼玉県教育局市町村支援部長
事 務 局 次 長	案 浦 久 仁 子	埼玉県教育局市町村支援部文化資源課長

## 企画委員会

委 員 長	松 木 晴 信	(一社)埼玉県文化団体連合会副会長
副 委 員 長	齋 藤 正 司	楽遊倶楽部「プレゴ」代表
委 員	上 原 尚 美	埼玉県舞踊協会副会長
委 員	小 野 瀬 照 夫	埼玉県合唱連盟理事長
委 員	武 藤 定 明	特定非営利活動法人子ども文化ステーション代表理事
委 員	清 水 和 鳳	埼玉県三曲協会副会長
委 員	鈴 木 健 史	(公財)埼玉県国際交流協会事務局長
委 員	山 下 祐 樹	熊谷市教育委員会社会教育課主任
委 員	小 山 直 紀	埼玉県県民生活部文化振興課主幹

# 埼玉県芸術文化祭 2019 参加者数一覧

	(人)		
	出演・出品 指導者数 (A)	観覧・ 体験者数 (B)	参加者数 (A+B)
参加者数総数	550,231	564,558	1,114,789

	出演・出品 指導者数	観覧・ 体験者数	参加者数	備考
1. 開催事業 (beyond2020承認事業)	475,976	142,963	618,939	
①第69回埼玉県美術展覧会	3,201	28,726	31,927	
②芸術文化ふれあい事業	204	2,769	2,973	実施48件
③地域文化事業(計)	472,228	103,802	576,030	計51事業
地域文化事業(市町村)	9,232	64,091	73,323	19事業 (18市町)
地域文化事業(文化団体)	462,996	39,711	502,707	31事業
④芸術文化ふれあい交流フェア	343	7,666	8,009	出演27団体
2. 協賛事業	74,255	421,595	495,850	承認100事業
beyond2020承認事業	18,371	548	214,639	承認43事業

開催事業（内訳）

	事業名	開催地	開催日	開催会場	出演団体数	出品者数	観客数	参加者数
県展	第69回埼玉県美術展覧会	さいたま市	5月28日(火)～6月19日(水)	県立近代美術館	—	3,201	28,726	31,927
		小計			—	3,201	28,726	31,927

	事業名	開催地	開催日	開催会場	出演団体数	出品(指導)者数	体験・見学者	参加者数
芸術文化ふれあい事業	1 箏の鑑賞会	川越市	5月21日(火)	芳野保育園	1	1	92	93
	2 ゆかたの着装とマナー	春日部市	5月23日(木)	松栄学園高等学校	1	5	13	18
	3 百人一首かるた	川口市	6月14日(金)	川口市立芝樋ノ爪小学校	1	2	23	25
	4 楽しい合唱、美しい響（ハーモニー）	川口市	6月14日(金)	川口市立芝樋ノ爪小学校	1	1	26	27
	5 ベルー文化を知ろう！（舞踊、あそびなど）	行田市	6月25日(火)	行田市立北小学校放課後子ども教室地域実行委員会	1	6	70	76
	6 ゆかたの着装とマナー	鳩山町	6月27日(木)	県立鳩山高等学校	1	6	28	34
	7 箏の鑑賞会	越谷市	7月1日(月)	埼玉東萌保育園	1	1	203	204
	8 折り紙	行田市	7月11日(木)	行田市立太田東小学校放課後子ども教室地域実行委員会	1	3	28	31
	9 折り紙	加須市	7月29日(月)	加須市田ヶ谷くすの木学童	1	3	30	33
	10 百人一首かるた	久喜市	8月5日(月)	北斗キッズクラブ	1	2	24	26
	11 折り紙	加須市	8月9日(金)	加須南小学校学童室	1	4	49	53
	12 ベルー文化を知ろう！（舞踊、あそびなど）	川越市	8月19日(月)	音羽の森第二保育園	1	6	55	61
	13 折り紙	川越市	8月19日(月)	高階西学童保育室	1	4	58	62
	14 和太鼓の演奏	加須市	8月21日(水)	高柳けやしき学童クラブ	1	16	31	47
	15 ベルー文化を知ろう！（舞踊、あそびなど）	川越市	8月22日(木)	音羽の森保育園	1	6	98	104
	16 インドネシア民話を紙芝居で	川越市	8月27日(火)	川越西学童保育室	1	2	48	50
	17 ブラジルの伝統文化「カポエイラ（ユネスコ無形文化遺産）」をやってみよう！	さいたま市	9月7日(土)	さいたま子ども食堂	1	17	38	55
	18 ベルー文化を知ろう！（舞踊、あそびなど）	行田市	9月10日(火)	行田市立南河原小学校放課後子ども教室地域実行委員会	1	6	30	36
	19 和太鼓の演奏	松伏町	9月19日(木)	社会福祉法人 ゆたか会 ゆたか保育園	1	5	173	178
	20 三曲（箏、三絃、尺八）のふれあい鑑賞会	熊谷市	9月26日(木)	熊谷市立男沼小学校	1	1	81	82
	21 やさしい日本舞踊	戸田市	10月7日(月)	新曾小学校放課後子ども教室（戸田市こども青少年部児童青少年課）	1	3	48	51
	22 折り紙	蕨市	10月16日(水)	蕨市立北町公民館	1	3	26	29
	23 折り紙	三芳町	10月16日(水)	社会福祉法人 杏樹会 あずさ保育園	1	4	80	84
	24 ベルー文化を知ろう！（舞踊、あそびなど）	吉川市	10月19日(土)	三輪野江学童保育室	1	5	45	50
	25 クイズ穴埋め短歌	行田市	10月21日(月)	行田市立南小学校放課後子ども教室地域実行委員会	1	1	46	47
	26 和太鼓の演奏	さいたま市	10月29日(火)	さいたま市立宮原中学校	1	5	12	17
	27 楽しい合唱、美しい響（ハーモニー）	越谷市	10月31日(木)	越谷市立荻島小学校	1	1	87	88
	28 折り紙	行田市	11月11日(月)	行田市立太田西小学校放課後子ども教室地域実行委員会	1	2	50	52
	29 動けるからだ・表現を楽しむ（モダンダンス・創作ダンス）	行田市	11月11日(月)	行田市立東小学校放課後子ども教室地域実行委員会	1	3	48	51
	30 ハワイアン フラ（フラダンス）	さいたま市	11月16日(土)	さいたま子ども食堂	1	10	63	73
	31 短歌	さいたま市	11月17日(日)	さいたま市立大宮図書館	1	1	17	18
	32 トイピアノふれあい体験	三芳町	11月18日(月)	学校法人 多摩川学園 こすず幼稚園	1	1	135	136
	33 箏・三絃（三味線）の鑑賞会	入間市	11月25日(月)	入間市立東金子小学校	1	3	72	75
	34 楽しい紙芝居～つくってみよう、演じてみよう～	加須市	11月30日(土)	加須市立加須幼稚園	1	3	65	68
	35 和太鼓の演奏	さいたま市	11月30日(土)	さいたま市立大宮国際中等教育学校	1	12	22	34
	36 箏の鑑賞会	新座市	12月3日(火)	音羽の森新座保育園	1	1	18	19
	37 百人一首かるた	行田市	12月9日(月)	行田市立南小学校放課後子ども教室地域実行委員会	1	1	49	50
	38 百人一首かるた	熊谷市	12月14日(土)	熊谷市スポーツ・文化村くまびあ	1	3	7	10
	39 折り紙	行田市	12月16日(月)	行田市立埼玉小学校放課後子ども教室地域実行委員会	1	3	36	39
	40 折り紙	加須市	12月25日(水)	北川迎学童保育の会 げんきクラブ	1	3	49	52
	41 ピアノ、歌、管楽器、弦楽器などの鑑賞	白岡市	1月16日(木)	しらおか虹保育園	1	9	125	134
	42 和太鼓の演奏	入間市	1月19日(日)	入間市児童センター	1	15	33	48
	43 箏の鑑賞会	行田市	1月23日(木)	行田市立太田東小学校放課後子ども教室地域実行委員会	1	2	27	29
	44 箏の鑑賞会	蕨市	1月29日(水)	蕨市立北町公民館	1	2	30	32
	45 箏の演奏	加須市	2月6日(木)	加須市立加須北中学校	1	1	41	42
	46 動けるからだ・表現を楽しむ（モダンダンス・創作ダンス）	行田市	2月10日(月)	行田市立南小学校放課後子ども教室地域実行委員会	1	2	46	48
	47 合唱、ピアノ、歌、リコーダーなど	川口市	2月17日(月)	学校法人 南陵学園 旭幼幼稚園	1	4	248	252
	48 合唱、ピアノ、歌、リコーダーなど	深谷市	2月20日(木)	深谷市立上柴西幼稚園	1	4	46	50
	小計				48	204	2,769	2,973

	事業名	開催地	開催日	開催会場	出演団体数	出演(指導)者数	体験・見学者	参加者数
フェア	芸術文化ふれあい交流フェア (古典の日記念事業「ふれあい短歌賞」応募者704組含む)	さいたま市	11月24日(日)	ソニックシティ展示場、イベント広場、鐘塚公園	27	343	7,666	8,009
		小計			27	343	7,666	8,009

事業名		開催地	開催日	開催会場	出演団体数	出演(指導)者数	体験・見学者	参加者数	
地域文化事業(市町事業)	1	第52回上里町文化祭	上里町	9月5日(木)~11月28日(木)	上里町役場 他	31	-	2,546	2,546
	2	第30回こしがや薪能	越谷市	9月8日(日)	越谷市日本文化伝承の館こしがや能楽堂	1	21	261	282
	3	東松山市文化祭	東松山市	9月15日(日)~2月9日(日)	東松山市松山市民活動センター 他	13	605	3,983	4,588
	4	第68回川越市美術展覧会	川越市	9月25日(水)~29日(日) 10月2日(水)~6日(日)	川越市立美術館	1	633	4,544	5,177
	5	高田博厚展2019	東松山市	10月4日(金)~11月4日(月・祝)	東松山市総合会館	-	-	1,002	1,002
	6	第24回美里町遺跡の森ピアノコンクール	美里町	10月14日(月・祝)	美里町遺跡の森館ホール	-	41	100	141
	7	第30回人形げきと昔話のつどい	蓮田市	10月19日(土)~12月1日(日)	蓮田市図書館 他	9	66	357	423
	8	第16回坂戸市芸術文化祭	坂戸市	10月20日(日)~12月14日(土)	坂戸市文化会館 他	19	858	2,885	3,743
	9	第27回ときがわもみじ太鼓まつり	ときがわ町	10月20日(日)	ときがわ町玉川トレーニングセンター	7	103	600	703
	10	フレサよしみミュージック&フラワーフェスタ	吉見町	10月22日(火)~11月16日(土)	吉見町民会館(フレサよしみ)芝生広場他	15	720	8,550	9,270
	11	第58回朝霞市文化祭	朝霞市	10月27日(日)~12月15日(日)	朝霞市民会館(ゆめばれす)他	90	755	12,366	13,121
	12	市制施行70周年記念事業第71回行田市文化祭	行田市	10月31日(木)~11月23日(土)	行田市産業文化会館 他	21	762	6,534	7,296
	13	第41回滑川町文化祭	滑川町	11月1日(金)~3日(日・祝)	滑川町コミュニティセンター	37	1,728	2,073	3,801
	14	第56回富士見市民文化祭	富士見市	11月2日(土)~17日(日)	キラリ☆ふじみ、鶴瀬西交流センター	75	1,273	5,393	6,666
	15	「『音楽の街・久喜市』吹奏楽フェスティバル」	久喜市	11月10日(日)	久喜総合文化会館	17	590	2,698	3,288
	16	第30回さやま大茶会	狭山市	11月10日(日)	県営狭山稲荷山公園	16	124	6,215	6,339
	17	歌舞伎・郷土芸能祭(第49回小鹿野町郷土芸能祭)	小鹿野町	11月16日(土)、11月17日(日)	小鹿野文化センター	22	406	1,000	1,406
	18	第12回地域伝統芸能今昔物語	熊谷市	11月23日(土・祝)	熊谷文化創造館さくらめいと「太陽のホール」	13	530	2,650	3,180
	19	第18回竹間沢車人形公演	三芳町	12月8日(日)	コビスみよし(三芳町文化会館)	1	17	334	351
地域文化事業(文化団体事業)	1	第51回交通安全祈願蘭生書道展	川口市	8月30日(金)、31日(土)	川口総合文化センターリリア	1	1,838	2,978	4,816
	2	第33回埼玉創元展	さいたま市	9月3日(火)~8日(日)	県立近代美術館	1	85	1,200	1,285
	3	第63回埼玉書道展	さいたま市	9月12日(木)~15日(日)	県立近代美術館	1	788	1,546	2,334
	4	第28回埼玉県百人一首大会	戸田市	9月22日(日)	戸田市スポーツセンター	1	269	1,400	1,669
	5	第23回熊谷市民短歌大会と作品(色紙短冊)展	熊谷市	9月25日(水)~29日(日)	熊谷市立市民ホール	1	135	500	635
	6	第49回飯能市写真連盟展	飯能市	9月25日(水)~10月1日(火)	飯能市市民活動センター	12	108	508	616
	7	おけがわ市民芸術文化祭2019	桶川市	9月28日(土)~12月10日(火)	桶川市民ホール 他	42	287	3,700	3,987
	8	第19回ちちぶ民謡・民舞の祭典	秩父市	9月28日(土)	秩父市福祉女性会館ホール	4	68	50	118
	9	秋の茶会	さいたま市	9月29日(日)	武蔵一の宮 大宮氷川神社	3	3	400	403
	10	折り紙夢工房作品展	川口市	10月2日(水)~4日(金)	川口総合文化センターリリア	7	140	361	501
	11	第39回武蔵野書展	川越市	10月4日(金)~7日(月)	ウエスタ川越	19	240	1,800	2,040
	12	第52回第一美術協会埼玉支部展	さいたま市	10月8日(火)~11日(金)	県立近代美術館	1	106	861	967
	13	熊谷市文化祭 第69回公募洗風会書道展	熊谷市	10月12日(土)~14日(月・祝)	熊谷市中央公民館	1	122	200	322
	14	第37回邦楽(箏、三絃、尺八)のつどい	川越市	10月13日(日)	川越南文化会館	13	60	300	360
	15	アミーゴ秋まつりvol.12 いるまクラフトフェア	入間市	10月13日(日)~14日(月・祝) ※台風19号の影響により中止		-	-	-	0
	16	さきたま連句大会	川口市	10月14日(月・祝)	そごう川口店	14	42	5	47
	17	第73回秩父交友会秋季展	秩父市	10月17日(木)~21日(月)	秩父地場産センター	1	11	301	312
	18	第40回太平洋埼玉展	さいたま市	10月22日(火・祝)~27日(日)	県立近代美術館	1	64	1,105	1,169
	19	第29回全国平成水墨画展	さいたま市	10月23日(水)~27日(日)	埼玉会館	1	97	673	770
	20	第27回埼玉読売写真クラブ総合写真展	さいたま市	11月1日(金)~6日(水)	ブラザノース	1	92	712	804
21	第35回上尾市文化芸術祭	上尾市	11月2日(土)~4日(月・祝)	上尾市コミュニティセンター	8	510	3,100	3,610	
22	第13回こどもライブフェスタ2019	さいたま市他	11月3日(日)~30日(土)	ブラザウエスト 他	48	251	6,125	6,376	
23	第12回熊谷ひばりピアノコンクール	熊谷市	11月4日(月・祝)	熊谷文化創造館さくらめいと「太陽のホール」	1	64	300	364	
24	第45回埼玉県西部地区合唱祭	坂戸市	11月23日(土・祝)	坂戸市文化会館「ふれあ」	41	800	300	1,100	
25	第27回埼玉県三曲協会定期演奏会	桶川市	11月24日(日)	桶川市民ホール	19	210	600	810	
26	第54回「郷土を描く児童生徒美術展」	本庄市	11月30日(土)、12月1日(日)	本庄市立本庄東小学校	1,143	455,239	3,000	458,239	
27	新創 彩西美術展'19	坂戸市	12月3日(火)~8日(日)	坂戸市文化会館「ふれあ」	1	61	906	967	
28	第62回埼玉県北美術展	熊谷市	12月5日(木)~8日(日)	熊谷市スポーツ文化村「くまびあ」	1	787	4,008	4,795	
29	第31回サンシティ市民合唱団定期演奏会「忘れられた少年」	越谷市	12月8日(日)	サンシティ越谷市民ホール	1	70	600	670	
30	第53回全日本書道芸術展	さいたま市	12月10日(火)~15日(日)	県立近代美術館	1	249	471	720	
31	オペラ彩第30回定期公演 オペラ「ナブッコ」	和光市	12月21日(土)、22日(日)	和光市民文化センター	10	200	1,701	1,901	
小 計					1,787	472,228	103,802	576,030	
開催事業合計					1,862	475,976	142,963	618,939	

# 出演・協力団体（者）一覧

(敬称略)

## 【地域文化事業】市町事業

### 【第52回上里町文化祭】(上里町)

- 上里写真クラブ ●書道研究葵心会 ●如月短歌会 ●雅友華道会 ●上里東押華絵愛好会
- 上里東パソコンクラブ ●神保原絵画自由クラブ ●桂田アッセンブルト ●上里彩クラブ
- 陽雲の会 ●神保原水彩画教室 ●キルトサークル・ポピー ●上里町歴史古美術研究会
- 琴美月 ●琴響会 ●上里吟詠会 ●合唱団かみさと ●上里東ハーモニクラブ ●秀麗会
- 扇華会 ●上里町民舞連合会 ●モアニアラ・フラサークル ●上里東カラオケ愛好会
- 七本木カラオケ ●ひまわりの会 ●健康いちばん笑いヨガクラブ

### 【第30回こしがや薪能】(越谷市)

- 越谷市文化連盟

### 【東松山市文化祭・高田博厚展 2019】(東松山市)

- 東松山市美術協会 ●東松山囲碁クラブ ●東松山市将棋連盟 ●東松山新柳会
- 東松山茶華道連盟 ●東松山市民劇場 ●紅陽社 ●東松山市民コーラス
- 東松山吹奏楽連盟 ●比企ビデオクラブ ●東松山市民ギター ●東松山市民謡民舞連盟
- 東松山市社交ダンスクラブ ●東松山市邦楽三曲会 ●東松山アマチュア無線クラブ
- 陶芸クラブ東松山 ●比企交響楽団 ●比企現代写真研究会 ●二胡ユニット「優美」
- ナレオ・メプア

### 【第68回川越市美術展覧会】(川越市)

- 川越美術協会

### 【第30回人形げきと昔話のつどい】(蓮田市)

- 子どもの本を読む会 ●かたつむり人形劇団 ●はすっ子読書連絡会 ●おおば文庫
- ひよっこ人形劇グループ ●蓮田おはなしの会 ●人形劇団さくらんぼ ●朗読花びらの会
- 三十冊文庫 ●めんどり文庫 ●民話らいぶらりい

### 【第27回ときがわもみじ太鼓まつり】(ときがわ町)

- 一ト市祭り囃子保存会 ●玉川陣屋太鼓 ●和太鼓鑿 翔華 ～蓮～ ●武蔵あばれ太鼓
- 小江戸川越 和太鼓 響 ●北本宿囃子連 ●駒王太鼓愛好会

### 【第16回坂戸市芸術文化祭】(坂戸市)

- 坂戸美術協会 ●坂戸美術工芸クラブ ●坂戸市三曲会 ●坂戸いけばな協会
- 坂戸市書道連盟 ●坂戸音楽連盟 ●坂戸写真連盟 ●坂戸文化芸能連盟 ●坂戸茶道連盟
- 坂戸第九を歌う会 ●年中行事語り部の会「にっさい」 ●坂戸市吹奏楽連盟

---

### 【フレサよしみミュージック&フラワーフェスタ】(吉見町)

---

- 吉見町立吉見中学校 ●滑川町立滑川中学校 ●東京農業大学第三高等学校
- 立正大学 ●東松山市ウインドアンサンブル ●フレサよしみウインドオーケストラ

---

### 【第58回朝霞市文化祭】(朝霞市)

---

- 朝霞市文化協会

---

### 【市制施行70周年記念 第71回行田市文化祭】(行田市)

---

- 行田絵手紙あおい会 ●行田フラワーデザイン協会 ●行田美幸会 ●楽書 子龍行田教室
- 行田市俳句連盟 ●行田美術会 ●行田市書道人連盟 ●行田市写真連盟
- 美布の会 ●行田市工芸協会カリタスS41 ●行田山草会 ●行田市華道会 ●行田短歌連盟
- 行田市茶道会 ●さきたま盆栽会 ●行田市菊花連絡協議会 ●行田市碁楽会
- 行田市将棋連盟 ●行田市合唱連盟 ●行田演奏家連盟 ●行田吹奏楽連盟

---

### 【第56回富士見市民文化祭】(富士見市)

---

- 富士見市文化協会 ●富士見市美術協会 ●富士見市音楽連盟 ●富士見市民謡連盟

---

### 【「音楽の街・久喜市」吹奏楽フェスティバル】(久喜市)

---

- 久喜市立久喜中学校 ●久喜市立久喜南中学校 ●久喜市立久喜東中学校
- 久喜市立太東中学校 ●久喜市立菖蒲中学校 ●久喜市立菖蒲南中学校
- 久喜市立栗橋東中学校 ●久喜市立鷺宮中学校 ●久喜市立鷺宮東中学校
- 久喜市立鷺宮西中学校 ●埼玉県立久喜高等学校 ●埼玉県立久喜北陽高等学校
- 埼玉県立鷺宮高等学校 ●久喜シンフォニック・ウインズ ●花咲徳栄高等学校
- 埼玉県立不動岡高等学校 ●文教大学

---

### 【第30回さやま大茶会】(狭山市)

---

- 狭山市茶道連盟 ●狭山市俳句連盟 ●狭山市いけばな連盟 ●狭山市文化団体連合会
- 狭山市国際交流協会

---

### 【歌舞伎・郷土芸能祭(第49回小鹿野町郷土芸能祭)】(小鹿野町)

---

- 小鹿野歌舞伎保存会 ●小鹿野歌舞伎保存会十六部会 ●小鹿野歌舞伎保存会津谷木部会
- 小鹿野歌舞伎保存会小鹿野部会 ●小鹿野歌舞伎保存会上飯田部会 ●小鹿野子ども歌舞伎
- 奈倉女歌舞伎の会 ●歌舞伎サークルうぶ ●小森祭りと文化を守る会 ●小鹿野中学校
- 十六神楽保存会 ●柏沢神楽保存会 ●小鹿野町立両神小学校 ●小鹿野太鼓連合
- 小鹿野保育所 ●新原太鼓連 ●栗尾太鼓会 ●柴崎社中 ●春日郷囃会
- 上町波歌囃子会 ●宮若会 ●鹿桜会松井田 ●大塩野囃子会 ●両神間庭囃子会
- 小鹿野囃子保存会 ●小鹿野まつり音頭愛好会 ●サン・レディスおがの
- 交通安全母の会

---

## 【第12回地域伝統芸能今昔物語】(熊谷市)

---

- 熊谷市文化財保護審議会 ●熊谷市文化連合 ●箏曲雅会 ●大里いなほ会
- 妻沼幼稚園 ●むさし江南音頭保存会 ●上川原神道香取流棒術保存会 ●池上獅子舞保存会
- 東別府祭ばやし保存会 ●手島楽友会 ●相上神楽保存会 ●間々田万作おどり保存会
- 熊谷山車屋台祭研究会 ●彩鼓連

## 【第18回竹間沢車人形公演】(三芳町)

---

- 竹間沢車人形保存会

## 【芸術文化ふれあい事業】

- さくら会 ●(公社)全日本きものコンサルタント協会埼玉支部 ●埼玉県かるた協会
- 埼玉県合唱連盟 ●Fiesta Latina ●折り紙夢工房 ●埼玉県太鼓連盟
- さいたま子ども文化研究所 ●Capoeira Araiye SAITAMA ●埼玉県三曲協会
- 三穂の会 ●熊谷短歌会 ●埼玉県舞踊協会 ●Na Mea Hula '0 Kamaleihulumamo
- 埼玉県歌人会 ●sound office 音旅舎 ●埼玉県箏曲生田会
- (一社)全日本ピアノ指導者協会 Saitama 虹ステーション
- (一社)全日本ピアノ指導者協会 久喜イリスステーション

## 【芸術文化ふれあい交流フェア】

- 特定非営利活動法人子ども文化ステーション ●埼玉県歌人会 ●埼玉県三曲協会
- Fiesta Latina(フィエスタ ラティナ) ●マトリョーシカ ●埼玉県茶道協会 ●折り紙夢工房
- 細川紙技術者協会 ●小川町教育委員会 ●東秩父村教育委員会
- 埼玉県障害者アートネットワーク T A M A P ± 0 ●埼玉県かるた協会
- 埼玉県美術家協会 ●特定非営利活動法人入間市文化創造ネットワーク ●埼玉県舞踊協会
- 県立伊奈学園総合高等学校音楽部 ●県立浦和高等学校グリークラブ
- 県立オリンピック・パラリンピック課 ●県立歴史と民俗の博物館
- 県立さきたま史跡の博物館 ●県立近代美術館 ●県立自然の博物館
- 埼玉工業大学フレアバーテンディング部 ●目白大学吹奏楽部 ●立正大学グリークラブ
- ものづくり大学 軽音楽部 ●東京家政大学児童演劇研究会 Entertainment Willers

## 後援・協賛団体

埼玉県芸術文化祭 2019 の開催にあたっては、下記の企業、団体に御協力いただきました。

### 後援

朝日新聞さいたま総局  
共同通信社さいたま支局  
**埼玉新聞社**  
産経新聞さいたま総局  
時事通信社さいたま支局  
東京新聞さいたま支局  
毎日新聞さいたま支局  
読売新聞さいたま支局  
**NHK** さいたま放送局  
**テレ玉**  
FM NACK 5  
J R東日本 大宮支社

### 協賛

(株) しまむら  
(公財) 日本教育公務員弘済会埼玉支部  
青木信用金庫  
イオン (株)  
川口信用金庫  
こくみん共済 coop<全労済>埼玉推進本部  
(一社) 埼玉県経営者協会  
埼玉縣信用金庫  
埼玉りそな銀行  
中央労働金庫 埼玉県本部  
東和銀行  
(株) ハイデイ日高  
飯能信用金庫  
武蔵野銀行  
(株) サイサン  
埼玉県牛乳普及協会  
埼玉県中小企業団体中央会  
全国共済農業協同組合連合会 埼玉県本部  
武州ガス (株)

